

318  
296

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始

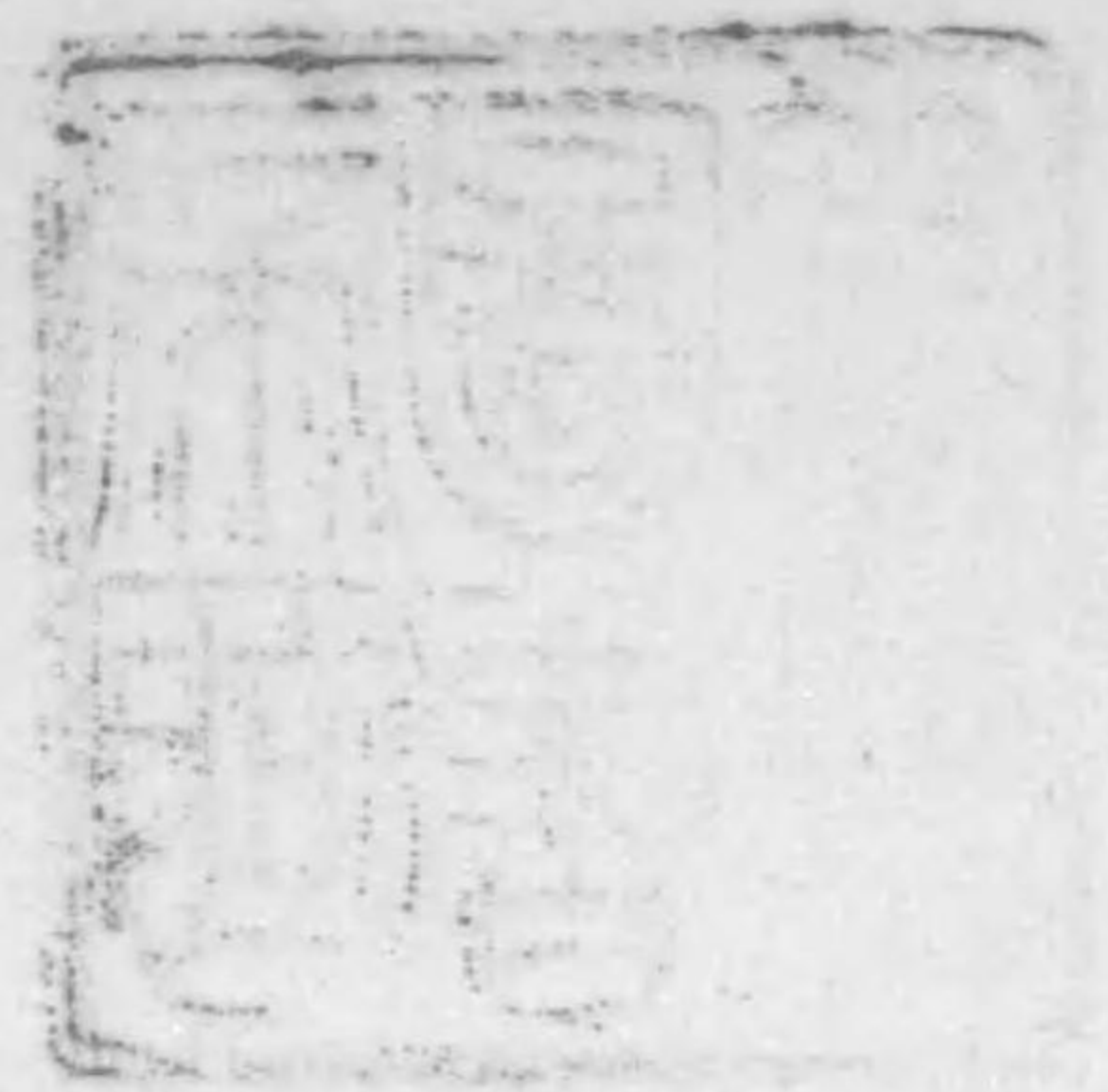


步兵戰鬥

陸軍少將 鈴木莊六校閱  
陸軍步兵少佐 久木村十郎次講述

持久防禦ノ部

東京 千城堂發行



# 歩兵戦闘 持久防禦ノ部

## 目次

想定.....	一頁
退却スル軍ノ側面ヲ安全ナラシムヘキ支隊ノ行動ニ關スル決心問題.....	一頁
決心ノ編ミ出シ及記述ニ關スル説明.....	三頁
理由ノ原案大體ノ組成.....	五頁
防禦ナル戦闘方式ニ關スル説明.....	一八頁
シツクファイト及バルクノ防禦ニ關スル説——東條中將ノ防禦ニ關スル説——歩兵操典第二部第四ニ關スル東條中將ノ所見——決心ヲナスニ當リ敵情ト任務トノ關係	一六頁
陣地決定ニ關スル説明.....	三六頁

大正  
5. 3. 1  
内交

戰略的見地ヨリ得タル地區内ニ於テ戰術上有利ナル陣地探究ノ必要——戰略的見地ヨリ得タル地區内ニ適當ナル陣地ヲ發見セサル時ノ處置

歩々防戦ニ關スル説明……………四三

某著書記述ヲ基礎トシテノ歩々防戦利害ノ研究——篠山附近秋季演習並金州ノ夜襲後ニ於ケル退却——歩々防戦ヲナスヘキ場合ノ注意

敵ニ接近シタル場合ニ於ケル騎兵中隊ノ搜索要領……………六〇

攻防ノ選擇——各國要務令ノ騎兵搜索ニ對スル要求ノ研究——兵力ノ集結行進路ノ決定——側背ノ顧慮並斥候ノ派遣——前進目標

騎兵ノ支援歩兵小隊行動ノ研究……………七七

陣地占領準備ノ爲支隊長ノ處置……………八二

伊勢支隊津南方高地附近ニ於ケル陣地占領要圖ニ關スル總

評……………八四

判斷セル敵主攻點ニ於ケル地區區分ト第一線兵力——專守的持久防禦ニ於ケル砲兵陣地ニ對ス

ル要求——一時的持久防禦ト專守的持久防禦ニ於ケル砲兵陣地性能ノ差異——歩砲同線ノ害ヲ避クル手段——迂回ニ對スル顧慮——配備ノ濃淡——守兵ナキ偽工事ノ價值

防禦配備原案ニ關スル説明……………九七

攻撃重點判斷——陣地ノ工事ト配備——陣地一般ノ線形——陣地翼ノ形成——敵ノ包圍防止——地區ノ區分ニ關スル注意——工事ノ集團——前進陣地ノ占領法——局地ノ不利ヲ補フ手段

陣地占領命令……………一三四

陣地占領命令ニ關スル總評及説明……………一四〇

標題ニ就テ——敵情——射擊正面及守備地區ノ境界行李輜重ニ與フル命令ノ傳達法——前進陣地ト陣地占領掩護部隊ノ區別——陣地占領掩護部隊ノ編組——前進陣地ニ砲兵配屬ノ利害——陣地占領掩護ノ爲ノ歩兵ノ兵力——前方ニアル部隊ノ退却時機ノ指示

歩兵聯隊ノ陣地占領命令……………一六七

歩兵聯隊ノ陣地占領命令ニ關スル説明……………一七一

陣地占領命令受領後歩兵大隊長ノ處置……………一七四

歩兵大隊長ノ陣地偵察ノ着意事項……………一七五

步兵大隊長ノ陣地偵察ニ關スル注意……………一七六

陣地構築ノ爲ノ步兵大隊長ノ命令……………一八一

步兵大隊長工事指揮ニ關スル説明……………一八三

中隊ニ對シ工事任務ヲ命令スルノ要領——各中隊工事完成時間ノ齊一ヲ計ル手段

步兵中隊長工事準備ニ關スル處置……………一八八

步兵中隊長散兵壕經始要領……………一九四

經始終了後作業手配置ニ至ル間歩兵中隊長ノ處置……………一九五

敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合前進陣地ニアル歩兵大隊長ノ處置……………二〇〇

前進陣地ノ撤退……………二〇三

持久防禦ニ於ケル豫備隊ノ使用法……………二〇九

# 歩兵戰鬥持久防禦ノ部目次終

## 歩兵戰鬥持久防禦ノ部

### 所要地圖

二十萬分一  
三萬分一

名古屋 山田  
津市 久居町  
寺村 相可村  
矢野村 高岡村  
田丸町 大湍村  
伊勢 松阪

想定



湖東平野ニ於テ敵ト相對セシ北軍ハ一時決戰ヲ避ケ中山道、東海道ノ兩道ニヨリ名古屋屋平地ニ向テ退却ヲ開始セントス

北軍司令官ハ敵ノ一兵團鳥羽方面ニ現出シタルヲ知リ一支隊(伊勢支隊ト稱シ)歩兵第一旅團、騎兵第一中隊、野砲兵第一大隊、工兵第一中隊、衛生隊半部其他輜重若干ヨリ成ルヲ編成シ之ヲ津方面ニ差遣ス該支隊ノ任務ハ速ニ中部伊勢ニ前進シ鳥羽方面ノ敵ニ對シ軍ノ側面ヲ安全ナラシムルニアリ

二 伊勢支隊ハ水口ヲ經テ前進シ十二月一日關町及其附近ニ宿營ス

同夜午後八時迄ニ支隊長ノ得タル諸情報ヲ綜合スレハ左ノ如シ

一 鳥羽方面ノ敵ハ昨三十一日以來續々山田ニ進入シ該地ニハ本  
一日正午已ニ歩兵約一聯隊竝若干ノ他兵種アリ又下有爾附近ノ  
高地ニモ一部隊出現シ工事ヲナシアリシモノノ如ク敵ノ騎兵部  
隊ハ本夕櫛田附近ニ達シ宿營セルモノノ如シ

二 支隊ニ屬スル騎兵中隊ノ主力ハ本夕漸ク津附近ニ達シ宿營セ  
リ

三 東海道ヲ退却中ナル軍主縱隊ノ最後尾ハ明後三日夕鈴鹿峠ヲ  
越ヘ得ルノ豫定ナリ

四 津以南ニ於ケル諸河流ハ概シテ參宮道以東ハ徒涉ヲ許ササル  
モ該道以西ハ之ヲ許シ又中部伊勢一帶ノ森林ハ展望ト射撃ニ防

害ヲ與ヘサルモノノ如シ

### 第一問題

十二月一日午後八時ニ於ケル伊勢支隊長ノ決心

#### 注 意

- 一 支隊ノ後方諸補給ニ關シテハ顧慮ヲ要セス
- 二 圖上ニアル鐵道、電線ハ利用スルヲ得ス
- 三 歩兵聯隊ノ隊號ハ第一、第二聯隊トス

#### 原 案

### 決 心

支隊ハ津南方高地附近ヲ占領シ敵ヲ拒止スル爲明二日垂水、本村洗瀬

ノ線ニ向ヒ前進セントス

#### 理 由

- 一 支隊ハ任務遂行上不得已ニ出ツルカ若クハ勝利ヲ確實ニ判定シ得ルノ好機アルニアラサレハ進ンテ決戦ヲ敢テスルノ要ナシ
- 二 鳥羽方面ノ敵ハ其軍主力ト全ク方面ヲ異ニスルモノナルヲ以テ多分若干獨立作戰シ得ルノ能力アルモノナルヘシ從テ支隊カ此敵ニ對シ攻勢ヲ採ルモ果シテ勝算アリヤ否ヤ疑ハシ假令支隊カ此敵ヲ破リ得ルトスルモ今ヤ軍ハ名古屋平地ニ於テスル新企圖ニ向テ退却中ナルヲ以テ支隊勝利ノ効果ハ單ニ敵ノ一部ヲ擊破シ得タルニ止マリ軍ノ作戰ニ大ナル影響ヲ及ホスコトナシ況ンヤ支隊ノ攻勢前進ニ當リ萬一敵カ下有爾又ハ櫛田附近ノ陣地ニ據ルカ如キアラハ距離ノ關係

上攻撃ハ明後三日ニ非レハ遂行シ能ハスシテ支隊ハ却テ敵ニ繫留セラレ軍ノ直後ニ踵續スヘキ敵ノ爲ニ背後ヲ斷タルルノ危険ニ瀕スルニ於テオヤ故ニ支隊ハ可成速ニ陣地ヲ占メ萬全ノ策ニ出ツルヲ可トス

三 支隊ハ歩々抵抗ノ餘地ヲ得ンカ爲可成廣ク中部伊勢ヲ領有スルヲ可トスルカ如キモ前項記述ノ如ク愈々南進スルニ從ヒ軍主縱隊トノ連繫ヲ困難ニシ且背後ヲ斷タルルノ顧慮愈々大ナルモノアルト雲出川以南ニハ右不利ヲ犯シテモ尙ホ占領スルノ値アル陣地ナキヲ以テ支隊ハ東海道ヲ遠ク距ルルコトナク寧ロ一陣地ヲ占メ之ヲ堅固ニスルヲ可トス然レトモ安濃川河谷以北ノ地區ハ之ヲ確有セサルヘカラス何トナレハ該河谷及其以北ノ地區ニハ掠本及關附近ニ通スル良路アリテ敵ノ利用ヲ制スルノ必要アレハナリ

安濃川河谷領有ノ爲ニハ少クモ津北方ノ高地然ラサレハ津南方高地

附近ヲ占領セサルヘカラス然ルニ前者ハ正南ニ對スル陣地正面缺乏スルト射界狭小ナル爲到底用ユルニ足ラス

津南方ニ於テハ久居附近ヨリ島貫池田附近ニ亘ル臺上竝垂水西方一帯ノ高地線ノ二陣地ヲ得ヘシ前者ハ射界廣濶ノ利アルモ正面甚々廣ク右翼ノ堅固ヲ缺クヲ以テ唯一時的ノ持久陣地ニ適シ數日間敵ヲ支持セントスル爲ニハ値少シ垂水西方高地線モ尙ホ正面廣大ノ不利ヲ免レスト雖前者ニ比スレハ比較的狭小ニシテ而モ高地ニ據點ヲ編成シテ右翼ノ限界ヲ成形シ又稍堅固ナルヲ以テ探ルニ足ルヘシ而シテ有利ナル野砲兵陣地ナキハ此陣地ノ不利トスル處ナルモ配備及施設ニヨリテ若干補フヲ得ヘキヲ以テ之ヲ忍ハサルヘカラス

四 前日以來山田ニ進入セル敵ノ状態ヨリ考フレバ目下山田ニアル敵ハ支隊ノ豫期行動ニ影響ヲ及ホスニ足ルモノニハ非ルヘキモ此際支



八  
隊ヲ繫留シテ之ヲ窮地ニ陷レントスルハ敵ノ希望スル處ナルヘク縱令劣勢ナルモ之ヲ提ケテ前進シ來ルコトナシトセス然ルトキハ支隊明日垂水附近ノ陣地占領ノ爲ニ或ハ遭遇戰ヲ惹起スルノ恐ナシトセス支隊ハ素ヨリ進ミテ決戰ヲ求ムルノ企圖ナシト雖萬一斯ル敵情ニ際會セハ別ニ新ニ支隊ニ對シ不利ナル狀況現出セサル限り安濃川河谷領有ノ必要上之ヲ辭スルヲ許サス故ニ支隊明日ノ前進ニ際シテハ之ニ備フル處ナカラサルヘカラス

### 處置

- 一 騎兵中隊ノ主力ハ依然山田方向ヲ搜索セシム
- 二 步兵第一聯隊(第三大隊缺)騎兵半小隊、砲兵一中隊、工兵中隊ヲ前衛トシ椋本及津ヲ經テ垂水ニ向テ前進セシム但シ拂曉迄ニ步兵一小隊ヲ

津ニ前進シ騎兵ヲ支援セシム

- 三 步兵第二聯隊ノ半大隊、騎兵一分隊ヲ右側衛トシ前衛ノ後尾ニ續行シ椋本ヨリ安濃川河谷、川西、新町(津西端)半田ヲ經テ本村洗瀬ニ向ヒ前進セシム
- 四 爾餘ハ本隊トナリ騎兵一分隊、旅團司令部、步兵第一聯隊第三大隊、野砲兵大隊ノ主力、步兵第二聯隊主力及衛生隊ノ序列ヲ以テ前衛ノ後方千米ニ續行ス
- 五 大行李及輜重中野戰病院一個及步砲彈藥半縱列ハ大部田ニ向ヒ爾餘ノ輜重ハ龜山及平野ヲ經テ神戸ニ向ヒ前進セシム
- 六 軍司令官ニ敵情並支隊ノ明日ニ於ケル行動ヲ報告ス

### 決心ノ編ミ出シ竝記述ニ關スル説明

決心ナルモノハ如何ナル順序ヲ編ミ出スヘキカ將タ理由ヲ考フルニハ如何ナル風ニ組ミ立テテカカルカト云フ事ハ能ク初學者ノ苦ム處テアル夫レテアルカラ若干蛇足テハアルカ之ヲ説明シテ見ヨウ抑、決心ナルモノハ處置ノ基礎テアツテ苟モ作戰上ノ仕事ニカカツタナラハ其場處カ戰場外テアロウカ戰場内テアロウカ時々刻々變化シ又ハ生起スル處ノ諸狀況ニ遭遇スル毎ニ將タ遭遇スル前ニ自分カ爲ソウトスル意思ヲチャントキメテカカラナケレハナラヌ此意志カ即チ決心テアツテ此決心ニ基ツイテ具體的ナイロイロノ處置カ生レ出テ來ルノテアルソレテアルカラ指揮官ト云フモノハ一步足ヲ作戰ト云フ柵内ニ踏ミ入レタカ最後大ナレ小ナレ決心ヲナシ處置ヲ行フト云フ事ハ斷へ間ハナイノテアル戰場テ忙シイ時ニ又心裡状態ノ多少變化ヲ來ス恐アル場合ニ吾人指揮官タルモノハ正當ノ決心ヲナシ之ニ副フタル處置ヲ行

ハナケレハナラナイカラシテ平生ニ於テ之カ組成ニ關シテハ大ニ研究シナケレハナラナイト云フ事ハ今更喋々ヲ要セヌテアロウ決心ト云ヘハ一口テアルカ此決心ナルモノハ論理的ニ推究シタ處ノ理由カラシテ生シテ來ナケレハナラナイ論理的ニ正確ナル基礎ヲナス處ノ理由ノ許ニ出來タ處ノ決心テナケレハ本當ノ決心トハ云ヘナイ即チ夫レハ假定テアルカ若クハ空想カノ何レカテアル從ツテ愈々狀況カ紛糾シタリ又ハ困難ニナルト決心カ動搖シタリ又ハ無暗ニ變化シテ其決心ヲ飽迄遂行スルト云フ堅忍心ト斷行心トカ活動セヌノテアル即チ諸君ハ次ノ事ヲ銘心センユトヲ希望スル

論理的ニ推究シタル確定ナル理由ノ許ニ編ミ出サレタル決心テナケレハ之ニ信賴ヲ置クノ度カ薄ヒ從テ此決心ヲ斷行スルノ勇氣ノ缺乏ヲ來ス以上ノ如クテアルカラシテ如何ニシテ決心ヲ編ミ出スカト云フ事ハ如

何ニシテ理由ヲ組ミ立ツルカト云フ事ニ歸着スルノテアル左ニ理由ノ記述方ニ就テ若干述ヘヨウ

抑、理由ノ記載ヤ又ハ考ヘノ順序ト云フモノハ如何ナル風ニシナケレハナラナイト云フ様ナキマリノアルモノテナイ要スルニ論理ニカナツテ居レハヨロシイノテアル從テ自分カ考ヘテモ能ク頭腦カゴチャゴチャニナラヌ様ニ順序能ク理由成形ノ骨子ヲ排列シテ歸納シテ一條ノ活路ヲ見出セハヨイノテアル

從來人カ多ク行ツテ居ルモノヲ強イテ方式的ニ分ツト大概左ノ三ツニ分レテ居ル様テアル(説明ハ理由ノ記載要領ニ關シテ専ラ述ヘル考ヘテアル即チ已ニ記載換言スレハ己レノ意志ヲ他人ニ充分ニ明瞭ニ移ス事カ出來ルト云フ事ノ要領ハ此意志ヲ自己ノ頭腦ノ中テ組ミ立テル事ト同シテアルカラテアル)

一 敵情、任務、地形ヲ各項ニ分チテ別々ニ記スルモノ

二 前者ノ如ク敵情、任務、地形ト別々ニ判然ト區別スル事ナク、彼是混同シテ必要ナルモノヲ先キニシ項ヲ分チテ記スルモノ

三 項ヲ別ニ分ツコトナク一連ニ書キ下シニスルモノ

右ノ内一ト三トハ簡單ナル狀況テハ最モ宛テ筈メ易イ方法テアル然レトモ複雑ナル狀況ニナルトカ又ハ入込ミテ深ク議論ヲ要スル理由テハナカナカ思想カ纏マリ悪クカツタリ從テ文章ノ構成カ六カシカツタリ又ハ續カナカツタリシテ自分ノ意思ヲ十分ニ發表スルコトカ困難ナモノテアル特ニ三ノ方法ハ簡單テナイモノノ他ハ雜然トシテ一事一事ノ議論ヲ頭ノ中ニ疊ミ込ムノハ難ツカシク又讀ムモノカ分リ易クナイノテアル

又一ノ方法即チ強テ敵情、任務、地形ト云フ風ニ項ヲキツパリ分ケ様トシ

テモ例へハ斷片的ノ理由文章ハ書キ易イノテアルカ難カシイ狀況ニナルト云フトナカナカウマク行カナイ例へハ地形ノ事ノ判斷ヲ專ラ記ソウトシテモ之ニ敵情ノ事モ言ハナケレハ其地形判斷ヲ十分ニ生カス事カ出來ナカツタリ又敵情ハカリノ判斷ヲセヨウトシテモ地形カ喰イツイテ居ルカラシテ敵情判斷中ニ地形ノ事ノ判斷モ加ヘナケレハナラヌト云フ様ニナルノテ複雑ナル狀況又ハ判斷ノ種類ニヨリテハ敵情任務地形ト判然區別シテ文章ヲ構成シ之ヲ工合能ク綜合歸納シテ決論即チ判決文ヲ生ミ出シ難イモノテアル

二ノ方法ハ何レノ場合テモ適用ハ出來ルノテアルカ扱テ此ノ方法ニヨルノハ如何ナル事柄ヲ先キニシテ如何ナル序列ニ並ヘ又如何ナル所ニ關連ヲ持タシテ文章前後ノ關係ヲ能クシ遂ニ希望スヘキ判決文ニ歸納セシムルカト云フ工風ヲ凝ラスコトカ難カシイノテ之ハ經驗ヲ十分ニ

積ムト比較的ニ容易ニ出來ルカ初學者ニハ誠ニ困難ヲ感スル所テアル余カ從來ノ經驗ニヨルト此二ノ方法ハ次ノ如キ順序ニシタナラハ多クノ場合ニ思案ノ紛糾ヲ免レテ纏結シタ理由ヲ早ク編ミ出シ易イ様テアル  
イ 先ツ初メニ任務上カラ主トシテ判斷ヲ下シテ我任務ヲ達スル爲ノ理想ノ到達點ヲ定メル勿論此任務判斷ニ關係シテ地形ヤ敵情カ必要テアツタナラハ是非任務ニ關聯シテ言ハナケレハナラヌ事丈ケノ地形敵情判斷ノ一部ヲ附ケ加ヘルノテアル

ロ 次ニ敵情ヲ判斷シテ此敵情カ果シテ嚮キニ任務判斷ニ於テ定メテ置イタ理想點ニ迄我ヲ到達セシムル事カ出來ルヤ否ヤト云フ事ヲ判斷シ到底出來ナイトナレハ如何ナル程度迄我ノ希望——理想到達點ヲ變更シ又斟酌シナケレハナラヌカ又ハ嚮キニ任務上ノ判斷ヲ定メテ置イタ理想到達點ヲ敵情ノ爲ニ更ニ向上スルコトカ出來

ハセナイカ出來ルトスレハ何レノ程度迄出來ルカト云フ事ヲ判斷スルノテアル

此敵情ヲ主トシテ判斷スル場合ニ於テモ必要テアツタナラハ地形ヤ任務ノ一部ノ判斷ヲモ附加セナケレハナラヌ

ハ 次ニ主トシテ地形ニ關スルコトヲ判斷スルノテアルカ此際ニハ地形ヲ有利ニ利用シテ嚮キニ「ロ」ノ判斷ヲ變更シ又ハ斟酌シタ處ノ任務上ノ理想到達點ヲ又何レノ程度ニ迄變化セシメネハナラヌカ又「ロ」ノ處ノ判斷ヲ定メテ置イタ到達點ヲ保持スルコトハ出來ナイカトウカト云フ事ヲ決定スルノテアル此場合ニモ「イ」「ロ」ト同シク他ノ敵情ヤ任務ノ地形ト關係シタ判斷ノ一部ヲ加フルコトハ必要テアル

右ノ組立法ヲ約言スレハ先ツ任務ヲ基礎トシテ其到達點ヲ定メ次テ敵

情、地形ニヨリテ出來得ル丈ヶ上記到達點ヲ保持スルカ若クハ向上スルカヲ努メ若シ出來サレハ如何ナル程度ニテ満足セサルヘカラサルカヲ決定スルノテアル

以上述ヘタル理由ノ組立要領ハ決シテ法則トカ原則トカ云フモノテナイ唯經驗上カラ比較的出來易イト思フタ事ヲ述ヘタニ過キヌノテアル而シテ之ハ其時ノ問題ノ種類ト狀況トニヨツテ決シテ千遍一律ニ行クモノテナイカラシテ多クノ研究ト經驗トニヨリテ會得ヲ要スヘキ事テアルノテアル序テアルカラシテ余ノ示シタ原案カ大體如何ナル組成ナルカヲ示ソウ

### 原案大法ノ組成

第一項 任務ヲ主トシテ判斷シ支隊トシテノ希望點ハ進テ決戰ヲ求ム

ル必要ナキヲ論ス

- 第二項 主トシテ敵情ヲ判斷シ之ニ若干必要ナル地形判斷ヲ加ヘ陣地ヲ占領スルノ可ナルヲ判斷ス
- 第三項 主トシテ地形ヲ判斷シ津南方高地附近ノ陣地ヲ可トスル旨ヲ述ヘタリ
- 第四項 敵情ヲ主トシテ判斷シ時宜ニヨリ遭遇戰ヲナスモ可ナル覺悟ヲ以テ前進スルノ必要ヲ判決ス

### 防禦ナル戰鬪方式ニ關スル說明

余カ原案ニ於テ防禦ノ決心ヲ取ツタニ就テ若干防禦ノ方式ヲ採ルコトニ關シテノ原理ヲ研究シヨウ此等ハ難ツカシイ哲理ニ入ラナケレハ分ラヌノテアツテ吾々カ易々ト解シ得ヘキ處テハナイカ余ハ唯々操典ノ

文句ヲ或程度迄深ク研究スル必要上之ヲ試ミルノテアル

我步兵操典第二部(以下此第二部ナル字句ヲ省ク若シ第一部中ノ事項ヲ引用スル必要アル時ニ限り第一部ノ旨記ス)第二十五ニ次ノ如ク教示シテ居ル

凡ソ攻撃ハ勝利ヲ得ヘキ唯一ノ手段ナリ故ニ指揮官ハ狀況已ムヲ得サルトキノ他常ニ攻撃ヲ決行スヘシ

凡ソ戰鬪ニ於テ勝利ヲ企望セラレナイ戰鬪ト云フモノハ恐クアルマイ而シテ此勝利ヲ得ルニハ唯々攻撃ナル戰鬪カ捷徑テアルト云フタナラハ戰鬪ニ於テ防禦ト云フ形式ヲ採ル者ハアルマイ様ニ思ハルルノテアル一寸右操典ノ文句ヲ簡單ニ考エルト如斯論法ニナツテ來ル様ニ感セラレルノテアル果シテソウテアルヤ否ヤ若干研究ヲ試ミヨウ

ジツクフイートハ防禦ニ關シ次ノ如ク言フテ居ル

防禦ノ決心ヲナスモノハ通常其當時攻撃ノ爲兵力微弱ナルカ又ハ微弱ナリト感スルモノノミナルヘシ優勢ナル者ト雖亦敵ノ攻撃動作冒險ナリト認ムル時ハ故サラニ之ヲ行ハシムルコトナキニシモ非ルモ是レ常ニ稀ニ生スル場合トス故ニ防勢ノ位置ニ立ツモノハ多クハ劣勢ノ者ナリ

バルク又曰ク

野戰ニ於テハ防禦ハ内容ト數トニ微弱ナルモノカ先ツ増援隊ノ接近ヲ容易ニセンカ爲猶豫ヲ得ント欲シ或ハ準備シタル防禦陣地ニ於テ決戰ヲ求メンカ爲ニ取ルヘキ交戦法ナリ

以上兩氏ノ言フ處言句ハ多少異ツテ居ルカ要スルニ防勢ノ位置ニ立ツモノハ多クハ劣勢ノモノナリト一言ニ綜合スルコトカ出來ルノテアル果シテ然ラハ吾人ハ操典總則ニ示シテアル處ト前記第二十五ニ示シ

テアル處ノ

一 勝敗ノ數ハ必スシモ兵力ノ多寡ニヨラス精練ニシテ且攻撃精神ニ富メル軍隊ハ毎ニ寡ヲ以テ衆ヲ破ルコトヲ得ルモノナリ

二 凡ソ攻撃ハ勝利ヲ收ムル唯一ノ手段ナリ……狀況止ムヲ得サルトキノ他常ニ攻撃ヲ決行スヘシ

ト對照シテ以上兩氏ノ説ク處ヲ了トスル事カ出來ルテアラウカ  
防勢ヲ採ル者ハ多クハ劣勢ナル者テアルト云フ事ニ次テ劣勢ナルモノハ多クハ防勢ヲ取ルト云フ反言ハ勿論出來ナイカ或程度迄ハ此反言カ利用セラルルテアロウジツクフイート氏ノ如キハ此反論ヲ認メテ居ルト云フ事ハ彼カ帥兵術必携ニ於テ防者ハ劣勢者トナシ兵力ノ不足ヲ陣地ノ地形ニ據リ攻者ノ優勢ト權衡ヲ保ツト云フ事ヲクドクドシク述ヘテ居ル處ヲ見ルト分ルノテアル

指揮官カ決心ヲナス場合ニ於テ攻撃シタ者テアコウカ防禦シタモノテ  
 アロウカト云フ事ハ非常ニ苦シイモノテアル決シテ輕々ニ決定スルコ  
 トハ出來ヌ場合ガ多イ此等ハ敵情ノ不明ト云フコトモ主ナル原因テア  
 ロウカ縱令敵情カ明テアツテモソウ容易ニハ行カヌ乍併今ジツクフイ  
 ト等ノ云フ通り自分カ劣勢テアルカ又ハ劣勢ト感シタナラハ防禦ニ立  
 ツト云フ事ヲ基礎トシタナラハソソナニ苦シマナクテモヨイコトニナ  
 ルノテアル兎ニ角心配テ自分ノ方カ劣勢テアリハセヌカト思フタナラ  
 ハ防禦ヲスレハヨイト云フコトニナリ極メテ平易ニ決心カ出來ルノテ  
 アル斯様ナ事ニナレハ戰術モ極メテ簡單ナモノテ恰モ代數的ニ研究カ  
 出來テ吾々モ大ニ便利ヲ感スルノタカ陸軍大學ノ戰術講堂テハ果シテ  
 斯ル簡單ナル代數方程式ヲ解ク事ヲ教ユルノテアロウカ  
 以上ノ如ク議論否愚論カモ知レナイカ推究シテ來ルト次ノ様ナ疑問カ

自然ニ諸君ノ頭ニ浮ハネハナラナイ

ジツクフイトヤバルクノ言フ處ハ果シテ劣勢デアルト防禦ヲ取り又  
 内容ト數トニ於テ微弱ナルモノカ防禦ト云フ戰鬪方式ヲ取ルヘキモ  
 ノテアルト云フ原則ヲ教ヘタノテアロウカ

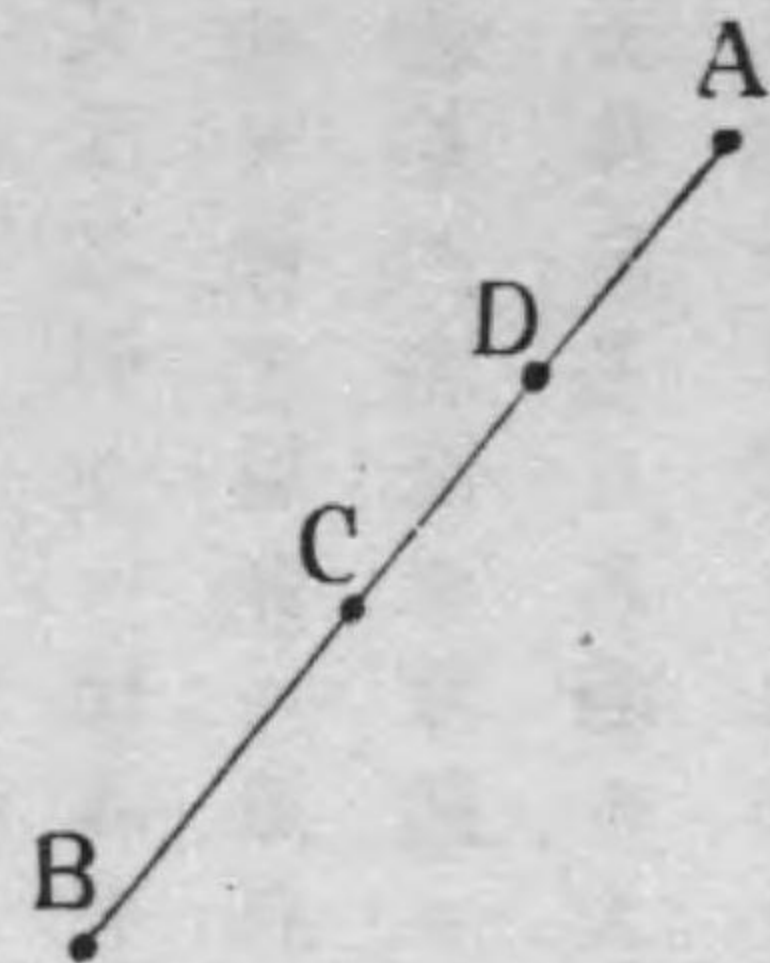
サアソウナツテ來ルト又一方我歩兵操典ニ衝突シテ來ル様ニ感シラレ  
 ルノテアル而モジツクフイトトカバルクトカ云フ人々ハ獨逸ノ有數ノ  
 兵學家テアルカ其等ノ人ノ意見ト我操典トハ差異カアルノテアロウカ  
 吾人ハ一時霧中ニ徨フノ感カスルテアロウ余ハ諸君ニ一條ノ光明ヲ與  
 ヘタイト思フノテアル此光明ハ他テハナイ故東條中將カ著ハサレタ戰  
 術麓ノ塵中ニアル一節テアルカ余ハ之ヲ以テ諸君ノ迷ヲ覺マス處ノ指  
 針ニ借用シタイ即チ左ノ如クテアル

世間兵家ニ由ツテハ往々防禦ハ敵ノ優勢ナルカ爲ニ已ムヲ得スシテ



取ル所ノ戰鬪手段テアルトノ説ヲナスモノカアルカアル大公ノ如キ  
モ亦明ニソウ言フテ居ル思フニ優勢トハ兵數ノ我レニ比シテ多キヲ  
指スモノテアロウ又其所謂防禦トハ本書ニ云フ防勢的攻撃(東條中將  
ハ一般ニ攻勢防禦ト稱スル戰法ヲ防勢的攻撃ト命名シ居レリ)ヲモ含  
ムノテアツテ要スルニ茲ニ防禦ト云フテ居ルノハ最初停止シテ敵ノ  
來ルヲ待ち開戦スルコトノ總稱テアル

乍併此説ハ聊カ道理ヲ盡シテ居ラヌヨウニ思ハレル抑、攻撃ハ軍隊カ任  
務ヲ達スル必要カラ爲スモノテアツテ詳言スレハ眼前ニ横ハル敵ヲ  
擊攘セネハ任務ヲ遂ケ能ハヌ所カラ爲スモノテアル已ニ攻撃カ此必  
要カラ來タ者トスル以上ハ是非共敵ヲ擊攘セネハ遂ケ能ハヌ様ナ任  
務ヲ有スル軍隊ハ假令敵カ優勢テアツテモ攻撃ヲナサネハナラヌモ  
ノテアツテ此場合ニ於テ前面ニ横ハル敵ノ優勢ナルヲ理由トシ已ム



ムヲ得ヌモノト認メ自己モ停止シテ敵ノ來ルヲ待ツカ如キコトノア  
ルヘキモノテナイ例ヘハ左圖ニ於テA點ヲ占領スヘキ任務ヲ有スル  
一ノ軍隊カB點カラ出發シテ前進シ其途中C點ニ到ツタ時明ニ我ヨ  
リモ優勢ナル敵カ前面D點ニ陣地ヲ占メア  
ルトスレハ如何ニスルヤ此場合ニ於テ若シ  
敵カ優勢ナルノ故ヲ以テ已ムヲ得ストシテ  
C點ニ止マリ敵ヲ待ツ時ハ怖ラク百年河清  
ヲ待ツノ類テアツテ任務ヲ盡クシ得ヘキ期  
ハ來ヌノテアル即チ此時ニ當ツテ戰略的機  
動ニヨリ敵ヲ退却セシムルナドノ手段ヲ採ル事ハ別論トシ苟モ戰鬪  
手段ニヨリ此敵ヲ擊攘セント望マハ假令兵數ニ於テ讓ル處アツテモ  
進ンテ決勝ヲ求メネハナラヌモノテアツテ即チ決勝的意圖ノ戰鬪ヲ

我カラ企ツヨリ他ニ策ハナイモノテアル而シテ斯ル事ハ攻勢ニ依ラ  
 ネハ決シテ求メ得ルモノテナイ又優勢ナル敵ヲ攻撃シタリトテ必ス  
 シモ勝利ヲ期シ得ヌト限ルヘキテナイ……縦シヤ敗戦シテモ軍隊ハ  
 即チ任務ノ爲ニ斃ルルモノト思ハネハナラヌ  
 又反之例ヘハ掩護戦ノ如ク軍隊カ強イテ敵ヲ撃攘セストモ任務ヲ盡  
 クシ得ル場合ニ遭遇シタリトセンカ此場合ニ於テ初メテ彼我ノ兵力  
 優劣ノ比較カ考慮ニ上ラネハナラヌノテアル即チ若シモ敵カ極メテ  
 劣勢テアツテ進ミテ之ヲ攻撃スレハ必ス勝利ヲ得ヘク判断シ得ルト  
 スレハ軍隊ハ此任務ヲ盡クス爲ニツノ方法ヲ有スル譯テアル即チ一  
 ハ止マツテ此敵ヲ防止スルノテアリ他ノ一ハ進ンテ此敵ヲ撃破スル  
 ノテアル而シテ斯ル場合ト何レノ方法ヲ採ルヘキカト言ハハ勿論終  
 末ノ方法ヲ取ルノカヨイノテアツテ……ソノ理由ハ他テモナイ畢竟

攻撃ニヨレハ特別戦闘目的ヲ達成スルト同時ニ一般戦闘目的ヲモ達  
 シ得ルカ故テアル然ルニ又若シモ軍隊カ上述ノ如キ任務即チ強イテ  
 敵ヲ撃攘スルコトヲ要セヌ任務ヲ有スル場合ニ敵カ優勢テアルコト  
 ヲ明ニシタルカ又ハ敵情カ不明テアルトシタナラハ如何テアルカ強  
 イテ必要トセヌ敵ノ撃攘ヲ圖ツテ事ニ由リ危険ニ陥リ尠クモ大ナル  
 犠牲ヲ供スルノ舉ニ出ツヘキモノテアロウカ凡ソ攻撃カ必スシモ戰  
 勝ヲ保證シ得ルモノタラサル以上ハ斯ル舉動ノ任務遂行上危険テア  
 ルコトハ言フ迄モナイ凡ソ軍隊ハ任務ヲ遂行シ得ル以上可成無要ナ  
 ル損害ヲ避ケ將來ノ戦闘ノ爲兵力ノ保存ヲ圖ルヘキモノトスレハ尙  
 更此場合ニ於テ無要ナル攻撃ヲ企ツル事ハ斷シテ非テアツテ即チ止  
 マツテ敵ヲ防止スルノ決心ニ止ムヘキカ至當テアル蓋シ止マツテ敵  
 ヲ待ツ時ハ地形ヲ利用シテ戦闘力ヲ増加シ以テ優勢ナル敵ニモ對抗

シ得ヘク損害ヲモ減シ得ヘク即チ假令優勢ナル敵ニ對シテモ戰敗ノ危険ニ遠サカリ得ヘキカ故テアル但シ此際敵ノ攻撃ニ會シ若シ敵ニ誤謬ノ乘スヘキアツテ攻勢ニ轉スル事ハ此レ一般戰鬥目的ノ要求ニ由ルモノ故之レハ別論テアル

……要スルニ止マツテ敵ヲ待ツカ進ミテ敵ヲ攻撃スヘキカハ軍隊ノ任務ト敵情ト地形トニヨツテ決スヘキモノテアツテ決シテ彼我ノ優劣ノミヲ見テ決心スヘキモノテナイ

以上東條中將ノ説明ニヨツテ諸君ハ嚮キニ述ヘタルクヤジツクフイ  
トノ説カ正鵠ヲ得テ居ナイト云フ様ナ感シカ頭ニ浮ンタロウト思フ一寸以上兩説ヲ對照スルト防禦ト云フ戰鬥方式ヲ採ルノ決心ヲナスノ基礎ヲ一ハ彼我兵力ノ優劣ニ置キ一ハ己レノ任務ニ置イテ議論シアル様ニ考ヘラルル勿論全體ノ綜合ノ結果ハ敵情、任務、地形ノ三者カラ割り

出スノテアルカ抑此防禦ナル形式ヲ産ミ出ス重點ノ存否カーハ兵力問題一ハ任務問題ト云フ事ニ別レル様ニ感シラレル其處テ今試ミニ三百代言的ニ討究ヲ爲ソウ

兵力優劣ヲ重點ニスル處ノ論者ガ次ノ様ナ質問ヲ發シタナラハ任務ヲ重點ニスル處ノ論者ハ如何ニ答フルテアロウカ

任務ノ爲敵ヲ攻撃スヘキ企圖ヲ有スル一聯隊アリ然ルニ今敵カ我ヨリ一大隊多キトキハ如何又一聯隊多キ時ハ如何進ミテ敵カ一師團ナルトキハ如何

此一師團ノ時ニモ尙ホ攻撃スヘシト答フヘキカ

今任務ヲ重點トスルモノガ兵力ヲ重點トシテ論スル者ニ質セン

敵ヲ攻撃スヘキ任務ヲ有スル一聯隊アリ敵一師團ナルトキハ防禦スルナラン之レ可ナリ敵二聯隊ナルトキモ防禦スルナラン之レ尙ホ可

ナリ然ルニ今敵カ一聯隊ト一中隊ナリ依然防禦ニ出ツヘキヤ  
 此一聯隊ト一中隊ノ敵ニ對シテ依然防禦セント答フヘキカ以上ハ試ミ  
 ニ共ニ極端ナル場合ヲ擧ケタモノニシテ素ヨリ愚問タルニ過キス然レ  
 トモ何レニ重點ヲ置クヤヲ論及スル時ハ遂ニ斯ク兩方共ニ成立セナイ  
 事ニナルノテアル

然ラハ吾人ハ次ノ如キ疑問カ起ルテアラウ

任務トカ兵力ノ比較トカ云フモノハ防禦ト云フ戰鬪形式ヲ採ルニ就  
 テ偏重偏輕ノアルヘキ筈ノナイ者テアルカトウカ

我歩兵操典ハ之ヲ許サナイ即チ第四ニ次ノ如ク示シテ居ル

凡ソ戰鬪ニ關スル各級指揮官ノ決心ハ任務、地形及敵情ノ判斷ニ基ク  
 モノナリ然レトモ任務ハ決心ノ基礎ニシテ地形ノ不利敵情ノ不明等  
 ニヨリテ躊躇スヘキモノニ非ス

即チ任務ニ重點ヲ置ク事ヲ示シテ居ル之レハ奈何ナル故テアルカ抑軍  
 隊カ一行動ヲナサントスルノハ何カ其處ニ希望カアルカラテアル其希  
 望換言スレハ任務ヲ達センカ爲ニスル行動テアルカラシテ之レカ基礎  
 トナリテ行カナケレハナラナイ而シテ敵情テアロウカ地形テアロウカ  
 萬難ヲ排シテ其希望ヲ達セナケレハナラナイ乍併人ハ神テハナイ其萬  
 難ヲ排スルノ力ハ自ラ限度カアル(此限度ハ數字的ニ示サルヘキテナイ)  
 此限度ヲ可成擴クシヨウトスルノカ即チ戰術ノ力ヲ要スル所以ノモノ  
 テアルノテアル而シテ此限度ト云フモノハ何テ定マルカト云フト夫レ  
 ハ物質的ノモノモアロウシ又精神的ノ素因モアロウシ複雑ナル素因ヲ  
 綜合纏結シテ或程度迄ハ數理的ニ極限ニ至レハ心理的ニ決定セララル  
 モノテアルノテアル

以上甚タ複雑ナル研究ヲシテ來タノテアルカ要スルニ右ノ様ナ議論ハ

ジツクフイートテアルトカ又ハバルクヤカルル大公テアルトカ云フモノヲ研究ノ便宜上兵力ニ重點ヲ置キテ防禦ノ戰鬪方式ヲ採ル處ノ論者トシテノ事テアルノテアル處カ直ニ以テ此等ノ人ヲ兵力ニ重點ヲ置ク論者トハ思ヘナイ何トナレハ彼等カ言フ處ノ例ヘハ

防者ノ位置ニ立ツモノハ多クハ劣勢ノ者ナリ

ト云フ事ハ假令反言シテ或程度迄劣勢ノ者ハ防者ノ位置ニ立ツモノナリト云フ事カ成立スルトシテモ劣勢テアレハ防禦ヲセヨト云フ原則ヲ教ヘテ居ルノテハナイヨウニモ思ハルル唯ダジツクフイートハ今迄ノ戰史ニ照シテ又ハ人ノ心理状態カラ考ヘテ劣勢ナルモノハ防禦ヲナスニ至ルモノテアルト云フ現實状態ヲ述ヘタト思ハレヌテモナイ又東條中將カ一生懸命ニナツテ反駁シテ居ラルル處ノカルル大公ノ防禦ハ敵ノ優勢ナルカ爲ニ不得已取ル處ノ手段テアル

ノ如キモソウテアル即チ防禦ト云フ戰鬪形式ハ敵カ優勢テアルカ爲ニ多クノ人ガ取り易イ手段テアルト言フニ過キマイト解セラレヌテモナイ之レカ

防禦ハ敵ノ優勢ナルカ爲不得已取ルヘキ手段テアル

ト言フノトハ餘程意味カ差ツテ居ルノテアル若シ後者テアレハ

敵カ優勢テアレハ不得已必ス防禦ヲ取ラナケレハナラナイ者テアルト云フ事ニナルノテアルカ前者ハ其程ノ強キ意味ハ含マレテ居ナイ様ニ思ハルルノテアル

要スルニ吾人ハ今迄ノ戰史ニ迷ハサレ又ハ心理状態ノ爲ニ直ニ彼我兵力ノ優劣ニ重點ヲ置キ任務ヲ放棄スル様ナ事カナク先ツ任務ヲ基礎トシテ立案シ之ニ敵情地形ヲ加味シテ決定セネハナラト云フ事ヲ銘心セナケレハナラナイ

任務ヲ基礎トスルト云フ理由ハ嚮キニ已ニ述ヘタ所テアルカアレ以上ハ余ハ推究カ出來ナイ思フニ我歩兵操典ノ第四ニ示シテアル原則ナルモノハ高尚ナル道德心トカ幾多ノ戰例ト且又已述理由ノ如キ論理的理由等ヲ綜合シタル一ノ標準的原理カラ生レ出テタモノテアルト思ハル

尙參考ノ爲ニ東條中條カ字句ノ解釋ニ就テ説示シテ居ラルル處ヲ紹介シテ置コウ中將曰ク

或兵書ニハ「戰勝ヲ得ルノ道ハ攻撃ニアリ」ト論シテ居ルカ果シテ斯ル論理カ立ツモノナラハ世間ニ防禦戰ノ存スル筈カナイノテアル思フニ「決勝戰ニ於ケル戰勝ハ攻撃ニ依ラサレハ得ヘカラス」トノ論理ハ立ツモノテアルカ其反言「攻撃ニヨレハ戰勝ヲ得ヘシ」トノ論理ハ必スシモ成立ツモノテナイ抑、戰鬪ノ勝敗ハ諸種ノ原因カラ來ルモノテアツ

テ運命モ亦與ツテ支配スルモノテアル夫レ故攻撃シテ勝利ヲ得ル事モアレハ敗ルルコトモアル而シテ防禦ニ於テモソウテアル要スルニ戰術書ノ本分ハ戰勝ノ公算ヲ多カラシムル爲軍隊ノナスヘキ事ヲ教ユルニ過キヌノテアツテ戰術書カ戰勝ヲ保證シテ戰鬪手段ヲ與ヘ得ルノテハナイ夫レ故此兵書ニ説ク所ニ「戰勝ヲ求ムルノ道ハ攻撃ニアリ」ト云フ事ノ間違ヒテアロウ

我歩兵操典第二十五ニ記シテアル處ノ「凡ソ攻撃ハ勝利ヲ得ヘキ唯一ノ手段ナリ」ノ事柄モ之ト同様勝利ヲ求ムヘキ唯一ノ手段ト解スルヲ至當ト思ルルノテアル

又操典第四ノ中ニアル「狀況已ムヲ得サル時ノ他常ニ攻撃ヲ取ルヘシ」ト云フ事ニ就テ東條中將ハ此狀況ト云フ事ヲ任務上ト云フ事ニ説明シテ居ラルル勿論此等ハ任務上ト云フコトカ重ニ含マレテ居ルノテアロウ

乍併其他ノ敵情ヤ地形時期トカ天候トカ云フモノハ含マレテ居ナイテ  
アロウカ東條中將ハ任務上ト云フ事ニ取ツテ兵力ノ優劣ニ關シテ了解  
スルハ非テアルト簡單ニ述ヘテ居ラルルカラシテ其真意カ充分ニ分ラ  
ヌノテアルカ若干研究ノ餘地カアル様ニ思ハルルノテアル

### 防禦陣地決定ニ關スル説明

自分ハ伊勢支隊カ採用スヘキ陣地ハ津南方附近テアルト云フ案ヲ作爲  
シタノテアルカ今此陣地ヲ選定シタ所ノ道中ヲ説キテ一般ニ陣地決定  
ノ要領ヲ諸君ニ紹介シヨウト思フノテアル  
夫レ陣地ヲ決定スルノ方法ハ幾クラモアルテアロウカ最モ簡單ニ出來  
テ又普通ニ多クノ人カ行フテ居ルハ先ツ廣キ關係即チ任務ハ勿論テア  
ルカ友軍又ハ本軍ノ關係トカ又ハ後方線トカ又ハ敵ノ位置若クハ將來ニ

於ケル敵ノ行動トカ廣キ範圍ニ於ケル地形ノ一般關係トカ云フモノ換  
言スレハ戰略的關係カラ其陣地ヲ選定スヘキ一地區ヲ決定シテ次ニ其  
地區内ニ於テ現在行ハントスル防禦戰鬥ノ目的企圖ヲ遂行スルニ好適  
ナル陣地ヲ選ヒ出スノテアル夫レテ今之ヲ余カ行フタ處ノ陣地決定ニ  
宛テ箝メテ説明シヨウ  
伊勢支隊ハ理由ノ第一項ニ述ヘタ様ニ何處カニ陣地ヲ占メテ萬金ノ策  
ニ出ツルカ至當テアルト判斷ハ出來タノテアルカ試ニ地圖ヲ披イテ見  
ルト云フト伊勢支隊カ任務達成ニ利用セラルル様ノ陣地ハ中部伊勢カ  
ラ南部伊勢ニカケテ餘程多クアル例ヘハ余カ選ンタ津附近ノ陣地ヲ初  
メトシテ美濃新川南方ニ於ケル小川ノ西方高地ヤ其南方高地トカ又ハ  
榑田村附近ノ高地ノ様ニ澤山アル即チ支隊カ利用スヘキ區域ハ充分ニ  
廣イ乍併此區域ハ戰略關係ト云フ程ニ非ルモ兎ニ角廣キ意味ノ一般的

關係上カラ之ヲ雲出川以北安濃川河谷ニ至ル間ノ狹キ區域ニ制限シテ  
 仕舞ツタ即チ若シモ支隊カ愈南方ニ陣地ヲ占ムルコトニナレハ東海道  
 ヲ退却スル軍ノ主縱隊ト連繫ヲ失シテ軍ノ直後ニ踵續スヘキ敵兵ノ爲  
 ニ支隊ノ退路ヲ斷タルカラシテ支隊ノ陣地ハ可成北方カヨイノト又  
 北方ニナレハナル程早ク敵ト衝突スルノ顧慮カ比較的少ナイト云フ關  
 係カラ可成北方ト云フ一條件ヲ得タルテアル而シテ是非共安濃川河谷  
 ハ任務達成上領有ヲ要スルト云フ條件ノ下ニ如何ニ北方カヨイト云ツ  
 テモ安濃川河谷以北テハ望マシクナイト云フ風ニ初メ南方ニ於ケル限  
 界ヲ後チ北方ニ於ケル限界ヲ大略定メテ以テ陣地選定區域ヲ狹メタ  
 ノテアル

次ニ此狹マツタ區域内テ能ク地圖特ニ二萬分一トカ五萬分一トカノ大  
 梯尺ノ地圖ヲ檢シテ陣地ヲ探スノテアル現ニ余ハ陣地トシテ津北方及

戰略的關  
 係ヨリ於  
 域中ニ於  
 テ適當ナ  
 ル陣地ヲ  
 發見シ得  
 サルハ如  
 キ時ハ得  
 如キハ得  
 へ

南方ノ高地及久居附近ノ臺縁及臺上ト云フ様ニ四個ヲ舉ケテ其内ニ就  
 テ種々ノ理由ヲ津南方ノ高地附近ヲ最モ支隊ノ防禦目的ヲ達スルニ適  
 ストナシテ之ニ決定シタルテアル要スルニ陣地選定ニ當リテハ如斯廣  
 キ範圍カラ漸次狹キ範圍ニ縮メテ來テ遂ニ一陣地カ現出スルト云フ風  
 ニスルト早ク極マリノ付クモノテアル  
 右ノ様ニ云フタナラハ諸君ノ内ニハ或ハ次ノ様ナ疑問ヲ抱カルルカモ  
 知レナイ

戰略的關係ヨリ定メタル區域中ニ戰術上適當ナル陣地ヲ發見シ得サ  
 ル時ハ如何ニスルヤ  
 陣地ナルモノハ決シテ理想的ナルモノハ發見シ得ナイト云フ事ハ已ニ  
 諸君ノ御承知ノ事テアルカ此レハ工事施設ヤ又ハ配備ニヨツテ補ハナ  
 ケレハナラナイ乍併工事ヤ配備ニヨツテ補フテモトウシテモ其防禦目



的ヲ達成スル事ハ出來ナイトシタナラハトウテアルカ此時ニハ陣地ノ數ニヨルカ又ハ戰鬪法ニヨリテ補ハナケレハナラナイ右ノ事ヲ若干具體的ニ述ヘテ見ヨウ例ヘハ先ツ戰略判斷ニヨリテ或區域カ定マツテ其區域中テ漸ク一ツノ陣地ヲ發見シタカ此レカ到底我ヨリモ優勢ナ敵ヲ二日拒止スルト云フ防禦目的ヲ達成スルノ値カナインウシタナラハ戰略的ニ判斷シタ區域中テ此他ニ惡イ乍ラモ尙數個ノ陣地ヲ強イテ求メテ歩々の防戰ヲ行フテ所要ノ時間ヲ得ル事ヲ努メネハナラヌ乍併此歩々の防戰ヲスル處ノ陣地モ得ラレナイ先キニ漸ク發見シタ陣地一個テハ到底所要ノ時間ヲ得ル事カ出來ナイ即チ陣地カ射界カ少ナカツタリ又ハ障碍物ヲ適當ナ位置ニ有セナカツタリ又ハ兩翼カ堅固テナク敵ノ少シ位ノ迂回ヤ又ハ包繞テ陣地カ直様危殆ナ狀況ニ陥ル様ナ陣地デアツタリシタナラハ如何ニスルカコウナツテハ仕方カナイ戰鬪法ノ選擇

ト云フ事ニナルノテアル即チ決戰ノ企圖ヲ有セナイ軍隊テハアルカ決戰防禦ヲヤツタリ又ハ自ラ攻撃ヲ取ルノテアル又此危險消極企圖ニ對シテナル戰鬪法ヲ行フ前ニ虛報ヲ放チテ敵ヲ躊躇セシムルトカ又ハ一種ノ陽戰法ヲ用フルトカ出來ル丈ケノ手段ヲ講セナケレハナラナイノテアル右ノ様ニ素ト素ト決戰ヲ希望セナイ軍隊カ陣地カ適セナイ爲決戰的行動ヲ採ルト云フ事ハ萬事ヲ盡シタ上又考エタ上トウシテモ持久ノ時間ヲ得ラレナイ止ムヲ得ナイト云フ事カ果シテ正當テ言ヘルカドウカト云フ事ハ慎重ニ吟味セナケレハナラナイト云フコトハ決シテ忘レテハナラヌ

ソコテ茲ニ考エナケレハナラナイコトカ尙一ツアル

抑々戰略的ニ判斷シテ定メタ區域ノ限界線ト云フモノハ元來幾何學的ノ線テナイカラ此限界線ニハ若干移動サシテモヨイ餘裕カアルノデア

ル夫レテアルカラシテ前述ノ如ク一旦定メタル戰略的範圍内テトウシテモ希望ノ陣地カ得ラレヌト云フ様ナ場合ニハ次ノコトヲ顧慮シテ移動シ他ニ陣地ヲ求ムヘキテアル

一旦選ンタ處ノ戰略上必要ノ範圍ヲ若干擴張スルコト

其廣メタ區域ヲ求メタ陣地ノ戰術上ノ利害ヲ比較研究スルコト

而シテ之ハ決シテ數理的ニハ答解ハ出ヌカ前者ノ不利カ大テアレハ範圍ヲ廣ケテ陣地ヲ求メルコトハ止メテ新ニ求メタ陣地ノ戰術上ノ利カ大テアル様テアレハ決行スルト云フ風ニセナケレハナラナイ

例ヘハ本狀況ニ於テ雲出川以北ト云フノハ唯タ可成北方ト云フ條件ノ許ニ定メタ事テアツテ若干南方ニ移動セシメテ絶對的ニイケナイト云フノテハナイ夫レテアルカラシテトウシテモ雲出川以北テ適當ナ陣地カ得ラレヌ場合ハ尙南進シテ小川ノ西方カ又ハ南方ノ高地ニ陣地ヲ選

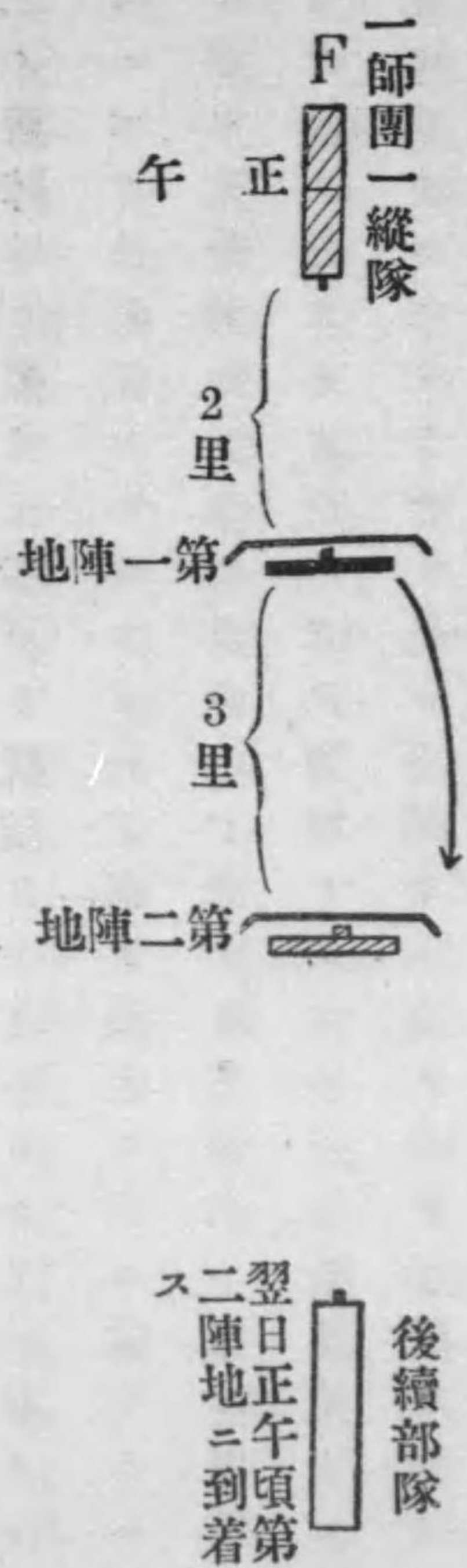
定シ此新陣地ノ利ト雲出川以南ニ範圍ヲ擴ケタ不利トヲ天秤棒ニ懸ケテ見テ若シ陣地ノ利ノ方カ大テアレハ初メテ雲出川南方ニ陣地ヲ決定スル様ナモノテアル諸君ハ陣地ヲ決定スルニ當ツテ單ニ持久ノ目的ニ適スルトナシテ行キナリ之ヲ占メントシ或ハ又可成遠方テ敵ヲ拒止スルカ良イカラトテ遙ニ南方ニ進ミテ陣地ヲ占メテ戰略的關係ヲ毫モ念頭ニ置カナカツタリ或ハ二三陣地ノ比較ヲ論スルノニ戰略戰術ノ兩方面カラ討究スルコトカナク云ハハ漫然ト陣地ヲ定メタ様ナ感シノアルモノカ少クナイ夫レテアルカラシテ實ハクドクドシク右ノ通り説明ヲ加ヘタノテアル

### 歩々防戦ニ關スル説明

伊勢支隊カ如何ニシテ任務ヲ達成スヘキヤト云フ已述ノ決心問題ニ於

テ歩々防戦ト云フ事ヲ餘リ極端ニ良イ様ニ考ヘラレテ居ル諸君カアル様テアルカラシテ或ハ已ニ諸君ハ承知ノ事カ多カロウカ若干此ニ就テ説明ヲ加ヘテ置ク持久防禦ヲナスノニ歩々防戦ヲナスカヨイカ又ハ初メヨリ一陣地ヲ占メテ後生大事ト其陣地ヲ守ルカヨイカト云フ事ハ決シテ比較ノツクモノテナイ要スルニ陣地選定ノ條テ説明シタ様ニ陣地トシテ戰略上判斷シ得タル地區内テ一陣地テアロウカ數陣地テアロウカ其時ノ防禦目的ヲ達成スルニ庶幾シト云フ方ヲ採取スルノテアル例ヘハ本狀況ニ於テ伊勢支隊ハ深ク南進シテモヨロシイト云フコトト雲出川以北ニ四日頃迄敵ヲ支ユルニ足ル陣地カナイト云フ様ナ狀況テアレハ進ンテ數陣地ニ據リ歩々防戦ニ出ツルモヨカロウ又伊勢支隊カ戰略上雲出川以南ニ進ムハ宜シクナイ而モ該河以北ニハ四日位迄ハ決戦ヲセスニ敵ヲ支ヘ得ル陣地カアルト云フ様ナ狀況テアレハ強イテ戰略

上ノ不利ヲモ犯シテ敵陣地ヲ取ルノ必要ハナカロウ或著書ニヨルト前後陣地ヲ占領スル着眼トシテ次ノ様ナ幾何學的説明ヲ加ヘタモノカアル數陣地ヲ占ムルヲ有利トスル場合



此時若シ初メヨリ第二陣地ヲ占ムル時ハ敵ハ本日夕我陣地前ニ來リ明拂曉ノ攻撃ヲ準備シ我ハ拂曉ヨリ正午迄後續隊ナシニ戦ハサルヘカラサルモ初メ第一陣地ヲ占メ日没後第二陣地ヲ占ムルトキハ敵ハ

第一陣地前ニ來リ攻撃ヲ準備スルノミニシテ夜間行動ヲ中止シ明拂  
曉後更ニ行軍シ第二陣地前ニ來リ前同様攻撃ヲ準備スルニ至ルヘク  
我ハ後續部隊ノ來着迄單獨ニ戦ハサルモ可ナリ

第一、第二ノ兩陣地ニ據リテ歩々ノ抵抗ヲナスヘキカ又ハ初メヨリ第二  
陣地ノミニヨリテ抵抗スヘキカト云フ事ヲ決定スルニ當リテハ宜シク  
右ノ様ナ事モ充分考エテカカラネハナラナイ乍併右ハ單ニ距離ト時間  
ノ關係カラ計リ云フタノテアツテ陣地ナルモノカ如斯簡單ナル理由ノ  
許ニ決定セラルルモノテナイ夫レハ試ミニ次ノ様ナ疑問ヲ抱イタナラ  
ハ直ニ了解カ出來ルテアロウ

一 夜間ハ我ノミ行動シテ敵ハ行動セヌテアロウカ

著書ニ記シテ曰ク敵ヲシテ夜間行動ヲ中止セシムルニヨリ時間ヲ  
得ト而シテ我ノミハ日没後夜暗ヲ利用シテ退却行動ヲ行フモノト

立論シテアルノテアルカ果シテ如斯自分ノ方ニ有利ナ狀況カ現出  
スルテアロウカ勿論夜間ハ退却ニ便利ヲ與フルニ違ヒナイ又追撃  
ハ困難テアルニ相違ナイ乍併

我歩兵操典第七十四ニ次ノ如ク教示シテ居ル

敵兵退却ヲ行ハントスルニ故ニ一部隊ヲ以テ我ニ向ヒ逆襲シ其  
機ニ乘シ戰場ノ離脱ヲ圖ルコトアリ夜間又ハ濃霧ノ際ニ於テ特  
ニ然リ此ノ如キ場合ニ在リテハ其逆襲ニ牽カレテ追撃ノ好機ヲ  
逸スルカ如キコトナキヲ要ス

即チ夜間敵カ如何ナル手段ヲ盡クシテ戰場離脱ヲ圖ツテモ之ヲ逃  
カシテハナラナイト云フコトヲ戒メテ居ルノテアル況ンヤ我増援  
部隊カ後續シテ來ルト云フ様ナ事ヲ敵カ知ツタナラハ追撃處カ夜  
間ノ攻撃モ敢テスルテハアルマイカ

以上ノ如ク翫味シ來ツタナラハ日沒カ來タカラトテ一兵ヲ劔ラサ  
ス第二陣地ニ無事ニ引キ上ケ得ル事ヲ心算シテ前方陣地ヲ占ムル  
處ノ主ナル理由トスルコトカ出來ルテアロウカ

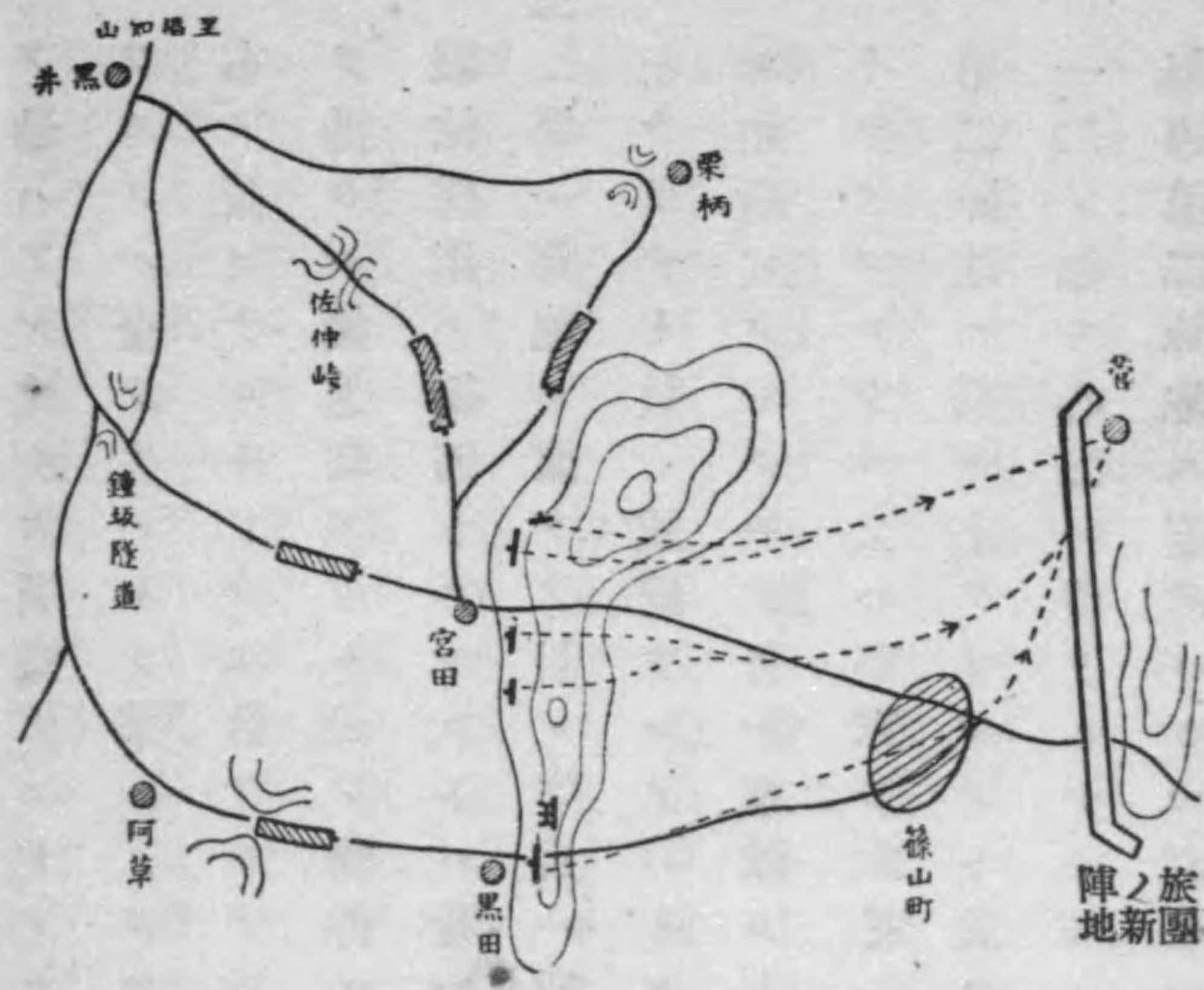
二 敵カ如何ナル程度ニ開進シ如何ナル程度ニ展開シタト云フ事ハ  
果シテ適當ナル時機ニ分ルテアロウカ

第一陣地ニ於テハ日沒前敵カ攻撃ヲ準備シタル時ニ退却シヨウト  
云フノテアルカ勿論此手段ニヨリテ敵カ開進シ展開シタル丈ケノ  
時間ヲ持久シテ無事ニ退却シ得ル場合モアルテアロウ乍併之レハ  
其開進展開ノ程度ヲ能ク看破シテノ後ノ話テアル乍併此看破ハ中  
々難カシイモノタソウシタナラハ或ハ其退却時機カ後レテ無事ニ  
退却カ出來ナカツタリ又ハ退却時機カ早クテ敵ハ全ク開進セヌカ  
若クハ一部位開進シタ時テアツテ直ニ我退却ニ踵續シテ來ルト云

フ恐ハアルマイカス様ナコトニナルト第一陣地ヲ占メタ甲斐ト云  
フモノハ全ク失ハレテ來ルノテアル

右ノ様ニナルトドウモ敵ヲシテ攻撃ヲ準備セシメタル時間ノ餘裕  
ヲ得タル後退却スルト云フ條件モ常ニ必スシモ採リテ以テ歩々防  
戰法採用ノ素因トスルコトハ考物ノ様ニ思ハルルノテアル

三 第一陣地ニ據ツテ居ル守兵ハ敵ト戰鬥ヲ交ヘテ深カ入りヲシテ  
ハナラナイ敵ニ踵續サレテハイケナイト云フ頭カ始終アルノテア  
ル如スビクビクシテ居ル軍隊カ夜間風聲鶴唳ニ驚ク様ナコトハナ  
イテアルロウカ又ハ軍隊カ衝突シタリ路ヲ失シタリ混亂シテ無事  
第二陣地ニ引キ上ケラレヌト云フ様ナコトハナイテアロウカ  
一、二ノ如キ心配ハ假リニナイモノトシタナラハ此三ノ心配モナク  
無事第二陣地ニ着クコトカ出來ル場合モアロウ併シ常ニ必スシモ



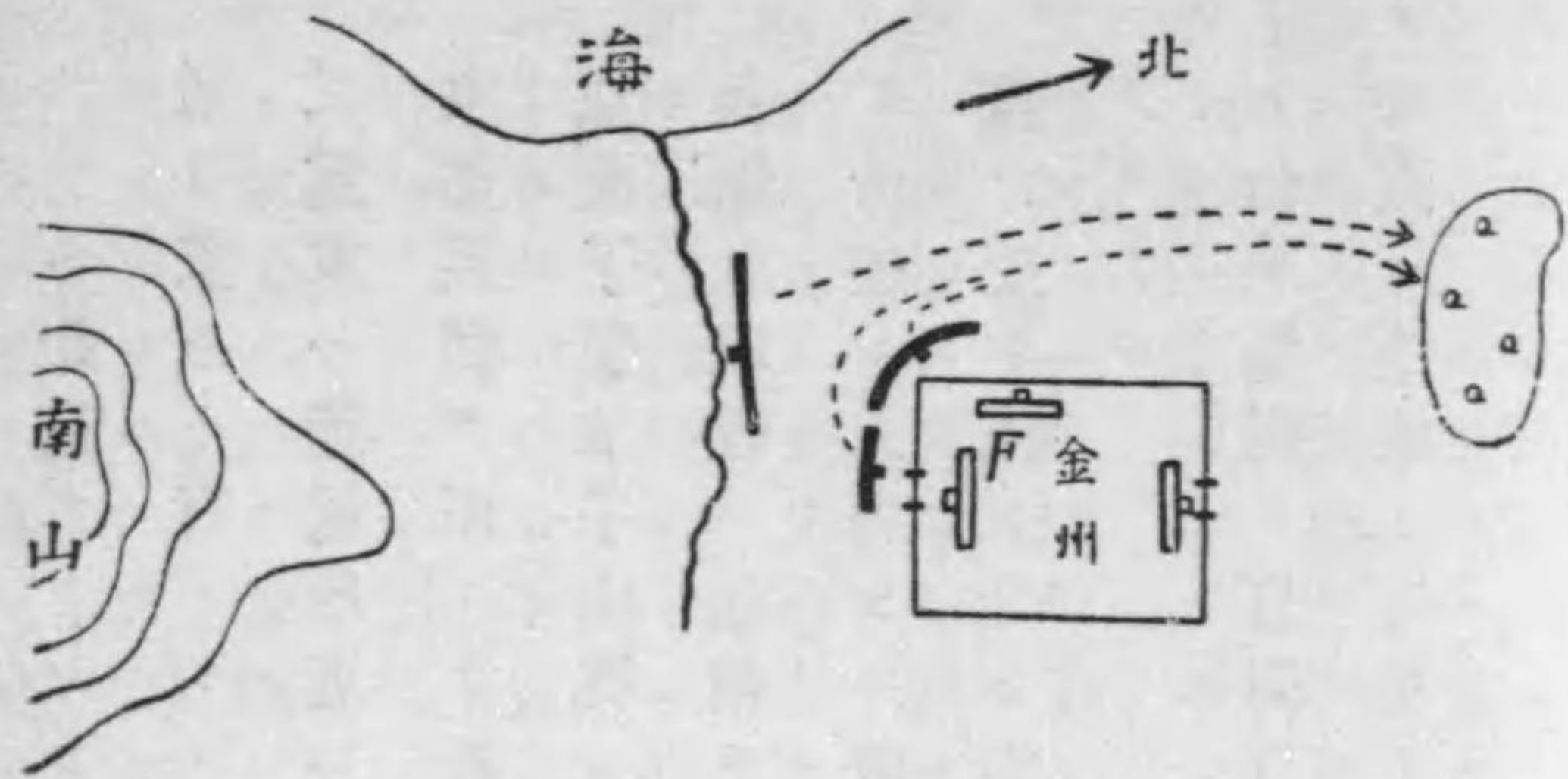
五〇  
 出來ルトハ限ラナイ  
 余ハ大正三年度秋季演習ニ際  
 シテ師團演習ニ當リ旅團ノ退  
 却ニ於テ部下大隊ト砲兵一中  
 隊ヲ以テ退却スル各縦隊ノ收  
 容ニ任シタ事カアル  
 黒井附近ノ戦闘利ナラサリシ  
 旅團ノ諸縦隊ハ圖ノ如ク栗柄  
 以西ノ諸道路ヲ採ツテ退却シ  
 テ來ルノテ余ハ宮田黒田ノ線  
 ヲ占メテ收容スヘク命セラレ  
 タノテアル而シテ大略圖ノ如

ク配備シ之カ收容ニ任シタ而シテ旅團長カラハ敵ノ甚シキ壓迫ヲ  
 受ケサル以前ニ新陣地ニ退却ヲ命セラレタノテアル然ルニ佐仲峠  
 ヲ退却シタ縦隊ノ退却カ少シク後レテ栗柄方面ヨリノ退却縦隊ニ  
 踵續シタ敵ノ爲ニ大ニ退却カ困難トナツタ關係上早ク收容隊モ退  
 却スル譯ニ行カヌ漸ク日沒少シ前ニ陣地ヲ撤スルコトカ出來タノ  
 テアル而シテ退却ノ目標ヲ管ニ取ツタノテアルカ退却ニ當リ漸ク  
 余ハ一中隊ノミヲ手裡ニ置ク事カ出來テ管ニ集合シタモノハ二中  
 隊ノミテアツタ後二中隊ハ夜ノ十一時頃ニナツテ初メテ新莊附近  
 ニ退却シテ居ルト云フコトヲ知ツタノテアル  
 此退却ハ演習上ノ都合カラ審判官カ敵ヲシテ我ニ壓迫ヲ加ヘシメ  
 ナカツタノテ退却ノ行動ハ少シモ妨害ヲ加ヘラレナカツタノテア  
 ル乍併僅カ一里半位ノ處ニ集合カ出來ナカツタノテアル勿論之レ

ハ正面カ非常ニ廣カツタノト余ノ指揮カ拙クテ目標ヲ餘リ遠距離ニ取ツタ關係カラテモアルカ僅カ一大隊ノ小ナル部隊テ而モ敵ニ妨害ヲ受ケナイ場合ニ於テ如此テアル少シ大キナ部隊テ而モ尙ホ距離カ遠ク且又到ル處土人ノ案内トカ地名ノ指示ヲ得ルコトノ出來ナイ戰場テアツタナラハ如何テアロウカ

日露ノ役南山攻撃ノ前夜金州城ノ夜襲ニ於テモ余ハ苦シキ經驗ヲ有シテ居ル

五月二十五日ノ夜安東旅團ハ其一部ヲ以テ金州ノ南方小流ノ線ニ在テ南山ノ敵ニ對シテ掩護セシメ主力ヲ以テ金州城ヲ夜襲シタルアル處カ猛雨ノ爲南門ノ爆破ハ成効シナイ城壁ハ登ルニ術ナク而モ南山ノ敵ハ盛ニ猛撃ヲ初メ夜襲ハ到底見込ハナクナツタノテ安東旅團長ハ一時隊伍ヲ後方二千米ノ森林ニ整頓シテ拂曉ニ至リ



攻撃ヲ續行スヘク企畫サレテ退却ノ命令ハ下ツタノテアル處カ極メテ近クノ森林テアルカ何處カ何處ヤラ分ラヌ續イテ退却シ來ル友軍ヲ以テ敵ノ出撃トナシ同志撃チト迄ハ行カナイカ一時大ニ混亂シタルテアル余ハ親シク其裡ノ一人テアツテ何タカ夜ノ行動ハ何時テモ斯様ナ混亂ニ陥ルモノテアルト云フ様ナ惡イ間違ツタ感覺ヲ抱ク様ニナツタノテアル

而モ此時ハ敵モ何モ退却ヲ妨害セナイテ日没後ノ前進地域内ニアツテ距離ノ近ヒ森林ヘノ退却テアル經驗ノ極メテ少ナイ余ニ於

テサヘ如斯テアルソウテアツテ見レハ常ニ新陣地ヘノ退却カ思フ  
通り安々ト行ハレルモノトハ考ヘラレナイ

又露軍ハ遼陽附近ニ於ケル集中ヲ掩護センカ爲我第一軍方面ニハ  
東部兵團ヲ派シテ持久戦闘ヲ行ハシメタノテアルカ此兵團ハ九連  
城、様子嶺、浪子山等ニ於テ歩々ノ抵抗ヲ試ミタノテアル九連城ノ此  
兵團ノ戰敗ハ如何テアツタカ有名ナ蛤蟆塘ノ追撃戰ハ決シテ彼レ  
ノ希望シテ居ツタ處テハナカッタロウト思ハレル  
輕ク受ケ流ソウト思フテモナカナカソウハウマク行カヌ者テアル  
ノテアル

以上ノ如キ疑問ヲ自問自答シタナラハ如何ニ夜間ナルモノノ援助カア  
ツテモ直ニ距離ト時間カラノ關係ノミヲ以テ數陣地決定問題ヲ左右ス  
ヘキテナイト云フコトカ分ルテアロウ

要スルニ之カ決定ニ當ツテハ歩々防戦ノ餘地ヲ得ルカ否ヤト云フ事ヲ  
判断スルノハ無論テアルカ右ノ様ニ距離ト時間ノ關係ヲモ考フル計リ  
テナク第一陣地カラスル退却ノ難否、第一陣地撤退ヨリ起ル處ノ不利ト  
第二陣地ノ一陣地利用ノ不利ノ比較特ニ又第二陣地ノ強度如何ヲ考ヘ  
テ此一陣地ヲ利用シ敵ノ前進ヲ遲滯スルカ爲ニ盡クスヘキ手段即チ前  
進哨ヲ出ストカ又有力ナル先進部隊又ハ騎兵部隊ノ活動ニヨリテ得ル  
處ノモノハ如何テアロウカ退却ニ次テ退却ヲ以テシ志氣上ニ及ホス關  
係ハトウタロウカト云フ様ナ種々ノ條件ヲ綜合シテ決定スヘキモノテ  
アル

先キニ圖示ヲ以テ説明シテアルト述ヘタ著書ト雖決シテ斯ル場合ハ歩  
々防戦スヘキモノテアルト斷定的ニハ記シテハナイカ第一陣地カ日没  
ニ撤セラレ即チ第一陣地ト第二陣地トノ占領期間ニ夜間カ狭マレテア



ツタナラハ多クノ場合ハ有利テアル様ニ記シテアル如ク感セラルルカラシテ萬一諸君カ如斯幾何學的ニ解釋ノ出來ルモノト誤解サルル様ナコトカアツテハ大變テアルカラ婆心上述ヘタニ過キヌノテアル而モ其著書タル現今青年將校諸君カ珍重シテ居ラルル處ノ本ノ様テアルカラ篤ニ其感ヲ深クシタノテアル

歩々防戦スルノ利害ハ茲ニ筆ヲ擱キテ以下單ニ之カ實行ニ當リテ注意スヘキ諸件ヲ概略述ヘヨウ

數陣地ニヨリテ持久シヨウト思フ場合ニハ次ノ如キ注意ヲ要ス

一 陣地相互ノ距離ハ決シテ攻者カ一氣呵成的ニ壓迫シ得ル様ナ近距離テアツテハナラナイ

諸君ノ作業中ニハ雲出川テ直接防禦ヲナシテ續イテ津南方附近ノ高地ヤ尙ホ次テ津北方ノ高地ト云フ様ニ一里ニモ足ラヌ距離以內

テ再ヒ陣地ヲ占メ様トスル様ナ考案カ往々アルノテアル之レハ追撃戰鬪ヲ少シ研究シタナラハ其當ヲ得テ居ナイ事カ分ルノテアル即チ雲出川ノ線テ勝利ヲ得タ敵ハドシドシ戰場追撃ヲ行フテ如何ニ短クテモ久居ノ臺上ノ北端ヤ其北方高地線ニ向フテ壓迫シ來ルテアロウソウシタナラハ津南方高地ノ新陣地占領ナトハ逆モ出來ナイ

二 退却ノ容易ト云フ事ヲ考エナケレハナラナイ

後方ノ道路ヤ橋梁ヲ開設スル計リテナク退路ヲ開放シ退却時機ノ選定ヲ適當ニスル爲諸種ノ手段ヲ盡クシテ敵情ノ偵察ニ充分力ヲ用ヒンケレハナラナイ

又配備ハ可成兵力ノ放散ヲ避ケナケレハナラヌ而シテ此ト同時ニ後方退路ノ關係ヲ考エテ兵力ヲ配シ地區ヲ區分シ退却縱隊カ彼是

衝突シタリ混亂シタリスル様ナ事ハ全力ヲ盡クシテ防遏セナケレ  
ハナラナイ

又敵ノ小部隊ト雖迂回スルカ又ハ潜入シテ我退路ヲ斷タレヌ様ニ  
特ニ注意ヲ要スルノテアル

退却命令ハ時機ヲ失セス又各部隊ニ漏レナク達セラルル様ニ通信  
連絡等ノ設備ヲ苟モ忽ニスル様ナコトカアツテハナラナイ

### 三 豫メ新陣地占領ニ關シ充分ノ知得ヲ要スルコト

爾後探ラントスル新陣地ノ結構ハ勿論テアルカ配備ニ至ル迄殆ト  
決定シ置ク位ニ準備ヲシテ置カナケレハイケナイソウテナケレハ  
陣地占領ニ當リテ時間ヲ要シテ敵ノ壓迫ヲ受クル様ナコトナリテ  
折角ノ新陣地モ役ニ立タナイ

要スル場合ニハ舊陣地カラ各部隊ハ直ニ新陣地ニ至ラシムルコト

カアルカスル場合ニハ道路ノ偵察等ヲ十分ニ行フハ勿論教導等ヲ  
附スルノ必要カアル

要スルニ歩々ノ抵抗ニヨリテ持久セントスル時ハ平素演習ナトテハ餘  
リソソナ事ハナイノテアルカ實際ニ於テハ退却ニ次クニ退却ヲ以テシ  
軍隊特ニ何モ戦理ヲ解セナイ兵卒共ニハ敗戦ノ感覺ヲ持タシメテ案外  
志氣ノ沮失ト云フ影響カ大テアルノト且又敵トノ離脱ト云フコトカ理  
想通り行カヌモノテアルカラシテ能ク能ク吟味シテカカラナケレハナ  
ラナイ吾人ハ日露戦役ニ於テ露軍カ歩々ノ防戦法ヲ敢テシ遂ニハ決戦  
ノ餘勢ヲモ失ヒ軍隊志氣ノ沮喪ノミナラス國內輿論ノ沸騰ト軍隊ニ對  
スル信頼ヲ失墜シテ千古拭フヘカラサル耻辱ヲ受クルニ至ツタ事ニ考  
エ及ホシタナラハ思半ハニ過クルモノカアルテアロウ

### 狀況

一 騎兵中隊ハ其主力ヲ以テ十二月一日夜津南端附近ニ宿營シ而シテ夜遅ク將校斥候ヨリ敵ノ騎兵約二中隊ハ本夜松坂町附近ニ宿營シアルト我將校斥候ハ阿坂村附近ニ潛入宿營シアルノ報告ヲ受領シ且又伊勢支隊長ヨリハ明拂曉迄ニ到着スヘキ歩兵小隊ヲ併セ指揮シ依然山田方面ノ敵情ヲ搜索スヘキノ命ヲ受領セリ

### 第二問題

騎兵中隊長ノ明二日ニ於ケル搜索要領

### 注意

- 一 目下騎兵隊ヨリハ山田方面ノ敵情搜索ノ爲派遣シアル將校斥候一組阿坂村方面ニアルノ他先遣シアルモノナシ
- 二 支隊長ノ明日以後ニ於ケル企圖ハ訓令ニヨリ騎兵中隊長ハ知悉シアリ

### 第二問題ニ對スル總評及原案

- 一 答案ヲ大別スルト云フト概ネ左ノ四案アリ
  - 一 直路參宮道ヲ南進シテ敵ヲ擊攘シ搜索範圍ノ擴張ヲ企圖スルモノ
  - 二 全力ヲ以テ西方山脚方面ニ前進シ敵主力ヲ避ケテ山地方面ヨリ潛入偵察ヲ企圖スルモノ
  - 三 支援歩兵及騎兵中隊ノ一部ヲ以テ參宮道方面ヨリ前進セシメ主

カハ山脚方面ヨリ前進シ潛入搜索ヲ行ハントスルモノ

四 參宮道上又ハ山脚方面雲出川南岸地區ニ於テ專ラ防勢ニ立チテ支隊ノ行動ヲ掩蔽セントスルモノ

此等ハ各理由カアルカ其利害ヲ研究スルト云フト若干價值ニ等差カナイテハナイ今カラ大略説明シヨウ

二 攻勢防勢何レニ出ツヘキヤニ就テ

騎兵ト云フ様ナ特種特ニ我國ノ如キ少キ數ノ騎兵テ而モ訓練ト其費用ニ多クノ値ヲ拂フテ居ル計リテナク補充ニモ歩兵ノ如ク容易テナイモノテハ猥リニ戦闘ナトヲ交ヘテ損耗ヲ多クシタリ又ハ一敗血ニ塗レテ回復スルコトノ出來ナイ様ナ狀況ニナルノモ考物テアル乍併夫レタトテ常ニ引キ込ミ策計リ取ツテ安全ノ計ノミヲ考エル様テハ戰場ニ於テ耳目タル役目ヲ盡クス事ハ出來マイ

攻防何レ  
ニ出ツヘ  
キヤ

攻勢ヲ採ルヘキ要求ノ多少ハ其騎兵ノ任務性質ニヨツテ差ノアルヘキハ勿論テアルカ今試ミニ二、三國ノ規定ヲ引證シヨウ  
獨逸要務令

「可成早ク敵ノ騎兵ヲ戰場ヨリ驅逐シ之ニ對シ志氣上ノ優勢ヲ占ムルハ最モ緊要ナリトス故ニ騎兵部隊ノミナラス斥候ト雖敵ノ騎兵ニ遭遇セシ時ハ任務ト狀況ノ許ス限り常ニ之ヲ攻撃スルヲ要ス如斯スル時ハ迅速ニ搜索スルコトヲ得且爾後作戰ノ經過ヲ確實ナラシメ從テ警戒勤務モ亦著シク容易ナルニ至ルヲ得ヘシ」

之カラ見ルト獨逸ノ方テハ部隊ノ大小ヲ問ハス攻撃ヲ採ルヘキ事ヲ要求シテ居ル勿論任務ト狀況ノ許ス限リトシテ若干制限ハ加ヘテアルカ兎ニ角差支ナケレハ出來ル丈ケ攻撃セヨト教ヘテ居ルノ

テアル

六四

### 英國要務令

〔戰術上ノ搜索ハ警戒騎兵英國ヲハ騎兵ヲ任務性質ニヨリテ獨立騎兵、警戒騎兵、師團騎兵ノ三ニ分チアリ〕ノ最モ重要ナル任務ノ一ニシテ敵ト觸接シ得ルニ至レハ勇猛ナル攻撃ヲ敢テシ敵ノ前進部隊ヲ驅逐シ以テ敵ノ部署、企圖ヲ發見スルコトヲ努ムヘシ〕  
此英國ノ警戒騎兵ナルモノハ軍ノ直接警戒ノ任アル騎兵（軍ノ前方ニ在テ獨立不羈ニ搜索ニ任スルハ獨立騎兵ニシテ師團ノ直接警戒ニ任スルハ師團騎兵ナリ）ニシテ元來ノ性質カラ云ヘハ防勢的ノモノナリ

乍併猛烈ニ攻勢ヲ要求シテ居ルノテアル

### 我國陣中勤務令

〔先ツ敵ノ搜索機關ヲ擊攘シ以テ搜索動作ノ自由ヲ獲得センコトニ勉ムルヲ要ス（騎兵師團及騎兵旅團ノ搜索ニ就テ）  
又我陣中勤務令ニヨリ師團騎兵及斥候ニヨル搜索ノ箇條ヲ熟讀スルト云フト此條ニ於テハ獨逸要務令ノ様ニ攻勢ヲ甚シク要求シテ居ナイ様ニ思フ即チ斥候及小部隊ハ搜索目的ヲ達スル爲ニ敵ノ小部隊若クハ斥候ヲ驅逐スルヲ必要トスルコトアリト輕ク要求シテ居リ又師團騎兵ノ如キハ專ラ直接警戒騎兵トシ使用シ任務性質カ消極的テアル

之ヲ要スルニ英國ノ警戒騎兵トカ又我國ノ騎兵旅團トカ云フ様ナ者ハ大ナル騎兵部隊テアツテ搜索上攻撃ヲ遂行スヘキ能力モアリ又搜索スルニ捷徑ヲ得ル爲ニ攻勢ヲ要求スルノテアルテアルロウカラ此支隊ニ屬スル騎兵中隊ノ様ナ小サナ者トハ自然趣ヲ異ニスル點モア

六五

ロウ乍併支隊ノ騎兵中隊ト云ツタ所ヲ搜索ト云フ事カ主テアツテ警戒ト云フコトカ主テナイ處ノ任務性質カラ見ルト云フト軍ニ於ケル騎兵集團、騎兵旅團又ハ英國ノ獨立騎兵ニ相當シテ居ルト思フ其處ヲ搜索ノ捷徑タル攻撃ヲ行フコトヲ得タナラハドシドシ行フカヨイト思フ(英國ハ警戒騎兵ニ對シテ攻勢ヲ要求シアリ獨立騎兵ニ於テハ更ニ強ク要求シアリ)

今若防勢ヲ取ツタラトウカ敵ノ騎兵ハドシドシ前進シテ來ルテアロウ此時ニ自分カ防勢ヲ取ツテ斥候位ヲ潛入セシメテ敵情ヲ得ント欲シタ所カ一方ハ山一方ハ海ト云フ様ナ狭イ地區テ斥候カ迂回シタリ敵ヲ避ケタリシテ潛入スル様ナ地區ト道カナイ縱合潛入シタ處テ此狭イ地區テハ敵中ヲ通リテ報告カ安全ニ出來ヨウトモ思ハヌ乍併一方此際敵カ進ミテ來ルカトウカ又其兵力部署ハトウカト云フコトハ

或ハ遭遇戰ヲ起シハセナイカト心配シ乍ラ陣地占領ニ出掛ツツアル支隊長ニハ一刻モ早ク知ラセル必要カアル此必要ヲ充タスコトカ出來ナケレハ中隊長ハ任務ヲ盡クサヌト云フ事ニナルノテアルソウテアルカラシテ此際自分ハ任務上トウシテモ近キ距離ノ處ニ止マツテ一地ヲ據點トシテ斥候ノ様ナモノニ依頼スルコトハイケナイト思フ又今得タ所テハ敵ノ騎兵ハ約二中隊テアル我ニハ中隊ノ他歩兵ノ一小隊カアル敵ト衝突ノ地點サヘ選ンテ我歩兵ノ援助即チ火力カ充分キク所テアレハ自分カラ攻撃ヲ求メテモ勝ツ丈ケノ自信ハナイコトハナイト思フ獨逸要務令ニ云フ處ノ任務狀況許ス處テナク任務ハ之ヲ要求シ狀況之ヲ許スト云ヒ度イ位テアル

右ノ如クテアルカラ第四案ニハ同意セヌノテアル

又第二案モ右ノ主旨カラ云フト餘リ卑怯過ルト思フ加之此狭キ地區

テ敵ノ騎兵ノ目ヲヌスミテ行コウナト云フコトハ到底敵ノ騎兵カ許サナイソレテアルカラシテ敵ヲ避ケテ山脚方面ヲ行コウト云フ案ニモ同意シ兼ネル  
勿論敵ト衝突セハ攻撃スルト云フ決心テ山手ノ方ヲ行クナラハ此ハ別々

## 兵力集結ノ必要

## 三 兵力ノ集結ニ就テ

攻勢ヲ採ルノ必要カアツタナラハ可成兵力ヲ集結スルカヨロシイ勿論是非出サナケレハナラナイ斥候ハ出サナケレハナラナイカ此斥候モ餘程兵力ヲ節約スヘキニ想到セネハナラナイ  
右ノ主旨カラ云フテ一部特ニ支援歩兵迄モ參宮道ニ進メテ主力ハ山脚方面カラ行クト云フ第二案ニモ同意スルコトハ出來ヌ  
特ニ一部ヲ以テ參宮道方面カラ攻撃セシメテ主力ヲ以テ山脚方面カ

## 前進路ノ決定

## 四 前進路ニ就テ

ラ回避シテ前進シヨウト云フ案ニ至リテハ意味カ分ラヌ或ハ參宮道方面ニ敵騎ノ主力ヲ牽制シテ其隙ニ山脚方面カラ行コウト云フ考カモ知レナイカ敵モ騎兵ト云フ搜索主任ノ部隊テアル此狭イ地域テ主力カ何レノ方面ニ來タ位ハ偵知スルモノト覺悟セネハナラヌソウシタナラハ敵カ果シテ我牽制ニ引キカカルテアロウカ敵ハ全力ヲ以テ山脚方面ニ進ム我主力ニカカツテ來ルテアロウ其時ニ大事ナ而モ歩度ノ遅ヒ支援歩兵ヲ距ツタ參宮道ニ置イタ我中隊ノ主力ハ如何ニナルテアロウカ

參宮道ハ成程捷徑テハアル乍併敵ハ已ニ松阪ニ居ル處カラ見ルト明日ハ彼我或ハ雲出川、松崎浦ノ地區テ衝突スルヤモ知レナイト判斷セナケレハナラナイ特ニ我ハ支援歩兵ノ到着ヲ待テ之ヲ手裡ニ收メテ

行コウト云フノアルカラシテ我出發ハ遅クナル心配ハアルカ早クナルト云フ様ナコトハ餘リ胸算セヌカヨイソウスルト明日或ハ雲出川近邊テフツ付カルカモ知レナイ若シソウナレハ我中隊カ將來行動ノ自由多キ雲出川上流地域ニ移ルノニ不便ヲ感スル此雲出川上流地域即チ中原村附近カラ高岡附近ニ至ル地區ト云フモノハ中隊ニ取ツテハ大事ナ處テアル即チ將來旅團カ陣地占領シタ場合ニモ一般ノ地形上騎兵ノ活動翼ハ此方面ニアルカラシテ可成此方面ハ早ク我手中ニ入レテ置イテオカネハナラナイ又敵騎カ甚シク優勢テアルトカ又ハ敵ノ縱隊カ前進シテ來タ場合ニモ歩々敵ノ前進ヲ妨害シ偵察ヲ妨害スル様ナ地形カアルノテアル而シテ萬一雲出川又其南方附近テ敵ニ衝突シテ不利ナ場合ニ於テモ參宮道方面カラ進ムニ比フルト云フト永ク雲出川南方地區ニ於ケル敵狀ヲ搜索スル處ノ便カアルノテアル

又攻撃ヲ企圖シテ進ム時ニ於テ敵ニ遠ヒ處テ而モ徒涉シ得ル公算大ナル上流テ雲出川ヲ超ユルノテアルカラシテ參宮道方面テ雲出川ヲ超ユルヨリモ心配ハ少ナイ又參宮道ヲ進ムノニ比フレハ少シハ迂回テハアルカ川迄ハ距離ニ差カナイト上述ノ利カアリ又敵トノ衝突地ト判断スル附近モ比較的開濶シテ歩兵トノ協同ヲナシ易イ利カアルカラシテ余ハ久居方面カラ初瀬街道ニ移リテ前進シヨウト思フノテアル

## 側背ノ顧慮

## 五

側背ノ顧慮竝斥候派遣ニ就テ

長野峠大峠方面ハ大シタル顧慮ハ入ルマイカ我本軍カ退却ニ當リテ一部カ鈴鹿峠大岡寺峠ナトヲ扼スルト云フト敵騎ノ一部位ハ或ハ迂回テハアルカ長野峠方面ニ現出セヌトモ限ラヌ其處テ實ハ一部ノ騎兵ヲ久居附近ニ停メテ長野大峠方面ヲ警戒セシメ又河川ハ將來ニ於



ケル支隊陣地ノ價值ニ大ナル關係カアルカラ之ヲ偵察セシメ一ハ中隊カ南進スル場合ニ遞騎哨的ノ動作ヲナサシメタイノテアルカ前記ノ通り攻撃ト云フ主旨カラ兵力ハ一兵テモ散シ度クナイカラ比較的  
本軍ノ退却路ニ近イ長野峠ノミニ斥候ヲ出シタラヨカロウト思フ而シテ大峠方面ハ本日敵ヲ擊攘シタ後カ又ハ中隊カ守勢ニ立ツト云フ  
コトニナツテカラテヨカロウト思フ

## 前進目標

## 六 前進目標

明日ハ直ニ敵騎ト衝突スル心配カアルカラシテ一寸目標ハ定メヌテモヨイ様テアルカ中隊長ノ希望通り敵ヲ擊攘スルコトカ出來タナラハ先ツ何處迄行コウカ位ノ事ハ考ヘテ置カナイトイケナイ余ハ第一ノ目標ヲ先ツ松阪ニ取ロウト思フ夫レハ松阪迄行ケハ松阪―相可道竝其東西ニ澤山ノ道路カ山地ニモ平地ニモ通シテ居ツテ中隊カ松阪

ヲ搜索據點トシテ居レハ夫レカラ先キハ斥候ヲ以テ下有爾、山田方面ノ敵情ヲ搜ル事カ出來ルカラシテ此カラ先キハイチカバチカト云フ様ナ危ヒ戦闘ヲ豫期セヌテモ任務ヲ達セラルルヤニ思ハルル(好機アラハ敵騎ニ對シ攻撃スルハ勿論テアルカ雲出川附近ニ衝突セシ程之ヲ要求シナイ)又此カラ先キハ直接下有爾ノ方ニ行クカ又ハ相可ノ方ニ行クノカ下有爾及山田附近ノ敵情ヲ搜ルノニ都合ヨイカト云フ事ハ敵騎兵ノ動作及下有爾附近ノ敵ノ行動(例ヘハ支援隊ヲ出スカ如キ)又敵騎カ主力ニテ相可方面ニ退却シテ山地ヲ扼スルカ如キ)ニヨリテ決スルノ必要カアル以上ハ山田方面ノ敵カ依然停止シ居ル場合テアルカ若シ之カ前進シタ場合ニハ中隊ハ如何ニ努メテモ主力ヲ以テ松阪カラ以南ニ行クコトカ出來ナイノテアル以上ノ理由カラシテ自分ハ明日ノ目標ヲ先ツ松阪ニ取ルノテアル

以上述へタ所ヲ約言シテ余ノ原案ヲ示ソウ

七四

### 原案

- 一 中隊ハ明二日敵騎ヲ擊攘シテ先ツ松阪附近ニ前進ス而シテ前進路ハ久居方面ヨリ雲出川ヲ渡リテ初瀬街道ニ出テ後參宮道ニヨルヲ可トス
- 但支援歩兵ハ中隊ノ前進路ヲ跟随シ來ラシム
- 二 參宮道上及長野峠方面ニ下士斥候ヲ派遣ス
- 三 可成速ニ雲出川ノ狀況ヲ詳細ニ偵察ス
- 四 不得止場合ハ逐次川合村方面ニ退却シテ可成永ク雲出川右岸地區ニ現存シ敵情搜索及敵ノ前進妨害ニ努ム

### 狀況

- 一 騎兵中隊ハ午前六時宿營地ヲ發シ前記原案ニ示ス如ク斥候ヲ派シ又一分隊ヲ將校ニ率ヒセシメテ尖兵トナシ前進ヲ起セリ
- 二 支援歩兵小隊長ハ本日ノ搜索ニ關スル中隊長ノ企圖ヲ詳細ニ告知セラレ且歩兵小隊ハ騎兵中隊ニ跟随シ須瀬(久居南方)宮古ヲ經テ初瀬街道ヲ先ツ俚稱六軒ニ向テ前進スヘク命セラレ
- 三 歩兵小隊長ハ途中ニ於テ敵ノ騎兵約二中隊午前七時久米附近ヲ北進シツツアルノ通報ヲ受領シツツ午前八時川方北端ニ達シ左ノ狀況ヲ目撃ス
- 1 小川南方高地上ノ森林ハ甚タ疎ナル低樹ナルカ如ク權現前北方ノ頂界線ヲ超ヘテ我騎兵中隊ハ中隊縱隊ノ如キ隊形ヲ以テ小川村ニ向ヒ退却シ來ル而シテ初瀬街道兩側ノ草地ヲ通過シ終ルヤ土地低キ爲視線ハ小川、黒田等ノ部落ノ爲ニ妨ケラレ其後ニ於ケル騎兵

七五

中隊ノ行動ヲ目視シ得ス

權現前北方ノ神社及其西方頂界線附近ニハ彼我何レナルカ明ナラサルモ點々騎兵ラシキモノアルカ如シ

2 望遠鏡ヲ奈良街道方面ニ轉スルニ中林ニハ體ニ有力ナル敵騎兵進入シアリテ半小隊位ノモノハ急進シテ小村ニ入レリ

新屋庄及見永附近ニハ彼我ノ斥候入り亂レツツ馳驅シアリ而シテ我騎兵ラシキ一騎ハ河原小造ノ上流約二百米ト思ホシキ地點ヲ北ニ向ヒ盛ニ水煙ヲ舉ケテ徒涉シ來リツツアリ

四 右狀況ヲ目撃スル稍以前小隊長ハ權現前方面ニ於テ稍激シキ數回ノ一齊射撃ヲ聞キシノミナラス尙目下西小野江南方面ニハ不規律ノ銃聲ヲ聞ク

五 小隊ハ前夜ニ於ケル睡眠ノ不足ト強行軍ノ爲兵卒等ハ皆首ヲ垂レ

テ疲勞ノ體ヲ現ハシツツアリ

### 第三問題

支援歩兵小隊長ノ處置

支援歩兵  
小隊長ノ  
處置

#### 原案竝説明

#### 處置

小隊ハ見永ニ向テ急進ス

#### 説明

一 我騎兵中隊カ權現前北方ノ頂界線ヲ退却シ來ルノハ敵ト衝突シテノ後ノ敗退テハアルマイ若シ敗退トスレハ其衝突ノ時間カ嚮キニ得

タ敵騎ノ前進時刻ニ對照シテ少シ早イ様ニ思ハルルハカリテナク我騎兵ノ中隊ノ後方ニ直接追踵シテ來ル敵騎カナケレハナラナイニ之ハ無クテ遙カ見當違ヒナ中林方面ニ有力ナル敵騎カアル處ヲ見ルト敵ノ追撃ト云フ様ハ少シモ見エナイソウシテ見ルト我騎兵中隊ハ權現前附近ニアツタ者カ敵カ中林方面ニ迂回シタ爲退キテ更ニ之ニ對セントスルノテアルカ若クハ退キテ一地ニ停リ支援隊ノ到着ヲ待トウトスルカニツノ内一ツテアロウト思フ

若シ後者テアレハ中隊ハ宮古又ハ其西南方高地カ又ハ八太村附近ニ停マルテアル乍併支援隊モ間近カニアルシ又敵ヲ擊攘シ不利ノ形勢ニ陥リテモ可成永ク搜索範圍ヲ廣ク雲出川右岸ニ得ンコトヲ企望スル中隊カ一舉ニスツト下カリテ八太附近ニ停マルコトハセマイソレテ停マルトスレハ宮古附近テアツテ又或ハ中林方向ニ來タ敵ニ對シ

テ川北方面カラ川北若クハ其西方高地ニ運動ヲ掩蔽セラレ新ニ對スルノ備ヲナソウトスルノテハナイカト判斷スルノカ至當テアロウ然ラハ從前ノ行進路ヲ小隊ハ依然前進シテ背後ヨリ中隊ニ合スルヨリモ敵騎ノ側面若クハ側背ヨリ之ニ攻撃ヲ加ヘ中隊ヲシテ襲撃ノ好機ヲ捉ヘシムルカヨロシイ

## 狀 況

一 支援歩兵小隊ハ急行見永ニ達セシトキ敵騎ハ小村南端附近ニアリテ我騎兵中隊ニ對シ將ニ襲撃セントスルノ形勢ニアリ又我騎兵中隊ハ川北西方高地ノ西脚ニアリテ襲撃ノ準備ヲ整ヘアリシカ小隊カ見永ヨリ其東南約百米ノ無名部落ニ向テ前進ヲ開始シ其際二三回激シキ射撃ヲ小村南側ニ集團セル敵騎ニ向ヒ加ヘタルヨリ敵騎ハ直ニ南

方ニ向テ退却ヲ開始セリ而シテ我中隊ハ須賀方面ヨリ進出シテ先ツ六軒屋ニ向ヒ追撃ヲ行ヘリ

二 爾後我騎兵隊ハ第二問題ニ對スル原案ノ要旨ニ從ヒ松阪附近ニ一舉進出シ敵情ヲ得ンコトヲ努ムルナラン

三 二日支隊ハ第一問題原案ニ示ス部署ヲ以テ前進シ午前十一時其前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ下部田南端橋梁ニ達ス

支隊長ハ前衛本隊ノ先頭ニ行進ス其出發以來此時迄ニ得タル諸狀報ヲ綜合スレハ左ノ如シ

一 我騎兵隊ハ午前八時過中林附近ニ於テ敵騎約二中隊ヲ壓迫シテ松阪町附近ニ進出セリ

二 午前十時迄櫛田川以北ニハ敵ノ歩兵前進シ來ルナシ

三 諜報ニヨルニ山田附近ニ進入シ來ル敵ノ兵力ハ微弱ナル一師團

ナルモノノ如ク目下下有爾附近ノ高地ニアルモノハ歩兵約二大隊砲兵一中隊ヲ基幹トセルカ如シ

四 右側衛ハ午前十一時ニハ納所出屋ニ達セリ

五 雲出川ハ鐵道橋以東ハ橋梁ノ他全ク徒渉ヲ許ササルモ其以西ハ徒渉容易ナリ

#### 第四問題

午前十一時ニ於ケル支隊長ノ處置

#### 原案

一 前衛ニハ一部ヲ以テ本村相川北方高地及垂水附近ヲ占領シテ支隊ノ開進ヲ掩護スヘキヲ命ス

- 但シ工兵將校一ハ塔世橋附近ニ殘置シ砲兵大隊長ノ區處ヲ受ケシム
- 二 右側衛ハ八町東南側ニ於テ本隊ニ合スヘキヲ命ス
- 三 本隊ニハ八町東南側干田ニ開進シ開進結了後各隊長ハ本村相川北方約四百米ノ無名神社ノ高地附近ニ集合スヘキヲ命ス
- 四 砲兵大隊長ニ砲兵陣地ヲ偵察シ結了後前項無名祠ニ來ルヘキヲ命ス

但シ塔世橋附近ニアル工兵將校ヲ隨伴セシム

(旅團長ノ希望スル陣地ヲ概示スル筈ナルモ後ノ研究ニ關係アルヲ以テ特ニ示サス)

- 五 支隊長ハ副官ノ一名ニ本隊開進地ヲ偵察シタル後本村相川北方無名祠ノ高地ニ來ルヘキヲ命シ自ラハ掩護ノ許ス限リ先行シテ岩田一本村相川道ヲ進ミ本村相川北方無名祠ニ至リ地形ヲ偵察ス

陣地占領  
準備ノ爲  
支隊長ノ  
處置

狀況

- 一 前記處置ハ直ニ行ハレ支隊長ハ午前十一時四十分過キ本村相川北方無名祠附近高地ニ達シ地形ニ就テ左ノ事ヲ目撃ス
  - 一 大體ノ地形ニ關シテハ地圖ト大差ナシ唯タ左ノ諸點ノ異ナルヲ見ル
- 久居東方地區及東北方ノ平地上ノ松林ハ目下皆畑地ニ化シアリ而シテ本村横山同洗瀨同野村北方小高地等各所ノ小高地ノミハ低ク且疎ナル松林ヲ形成シアリ垂水西方高地上ノ松林モ亦然リ
- 二 圖上ノ片點線路ハ工兵ノ僅少ナル補修ニヨリ野砲ヲ通スルヲ得

第五問題

## 伊勢支隊津南方高地附近ニ於ケル陣地占領要圖

但シ砲兵陣地其他諸偵察ハ適宜作業者ニ於テ要求スル條件ヲ得ラレタルモノトシテ立案スヘシ

## 第五問題ニ關スル總評

細部ニ亘リ述フル時ハ各人ノ作業ニ於テ澤山不備ノ點モアルカ先ツ比較的肝要ナ事テ共通的テ又ハ比較的多クノ諸君ノ作業ニ現ハレタ不充分ノ點ヲ二三述ヘル事ニシテ細部ハ原案ヲ示スト共ニ説明スルコトニシヨウ

- 一 地區ノ區分又ハ兵力分付ノ濃淡ニ關シテ敵ノ主攻方面ト判斷セル方面ニ於テ充分ナル考慮ヲ拂ハサルモノ多シ
- 例ヘハ敵ノ主攻點ヲ本村相川北方ノ凸角ト判斷シテ居リ乍ラ此地點ニ兩地區ノ境界ヲ置イタモノノ如キ又ハ此方面ニ對シテ第一線ノ兵

力カ充分テナイカ如キテアル

如斯コンナ肝心ナ處ニ地區ノ境界ヲ置イタナラハドウナルテアロウカ此方面カ主攻地區ト判斷シタ(此判斷カ正當テアルヤ否ヤハ別問題トシテ)ナラハ將來戦闘ハ最モ激烈ニ此方面ニ行ハルル事トナルテアロウ從テ狀況ノ變化ガ多イ事テアロウ此時ニ當リテ異ツタ二ツノ指揮官カアツテ此變化スル數多ノ狀況ニ應スル如ク戰線補綴ノ處置ヲ取ツタトシタナラハ如何テアロウ或ハイロイロ行違ヒカ出來タリ又ハ已ニ一方カ援兵ヲ送ツテ不用テアルノニ更ニ一方カラ援兵ヲ送ツタリ又ハ肝要ナ地點テアルカラシテ攻者ノ攻撃カ猛烈テアレハアル程兩地區ノ指揮官ノ心配モ強クナツテ來ルト云フ次第テ各其地區内テドンドント戰線ノ補綴ニ努メテ此方面ニ一時不用ナ程兵力ヲ注キ込ンテ來テ從テ他方面ノ兵力弱クナリ換言スレハ必要以外ナ兵力ヲ

知ラス知ラス此一點ニ吸收セラルルト云フ有様ヲ呈スルト云フ事ニナルノテアル又一方カラ云フト人間ト云フモノハ責任ヲ課セラレテ使ハルルト云フト此職責ヲ盡クスト云フ氣慨カ非常ニ出テ來ルモノテ又此責任ヲ盡シ終ツタ時ハ實ニ他ニ語レヌ程ノ愉快カ出テ來ルモノテアル此方カラ云フテモ成ル事ナラハ斯ル重要ナル地點ハ同一地區ノ指揮官ノ受ケ持チニスルカヨイ又萬一斯ル肝要ナ地點カ敗レタラドウナルテアロウカ敗戦ノ責任ノナスリ合ヒト云フモノカ初マル勿論日本軍人ニハ斯ル不徳ノ行爲ハアルマイカ日露戦役ノ露軍ノ敗戦史ヲ見ルト此事ハ非常ニ多イ又縱令斯ル責任ノナスリ合フスルト云フ深キ考エカナイニシタ處テ先キニ云フタ不用ナ兵力ヲ持チ來ルト反對ニ各地區ノ他方ノ戰鬪カ激シクナルト云フト或ハ互ニ他ニ依頼シ過キテ此肝要ナ方面ノ戰鬪ニ不知不知手落チヲ出來カシタリ或

ハ支隊長カ此要點ノ補綴ノ爲ニ二個處ニ一々命令ヲ下シタリ要スルニ主攻ト判斷サルル様ナ要點ナトニ地區ノ境界ヲ置クト將來ノ戰鬪指揮上ニ面白カラヌ影響ヲ及ホスモノテアルカラシテ如斯地點ハ可成一ツノ指揮官ノ地區内ニアラシムルカ宜シイ  
又斯ル要點ニ於ケル第一線地區ノ兵力ヲ寡少ニ過キルト云フト如何ナル結果ヲ來スカト云フニ直ニ支隊長ノ持テ居ル總豫備ヲ此方面ニ向ケナケレハナラスト云フコトニナル元來總豫備ト云フモノハ多クノ戰鬪ニ於テハ主攻撃方面ニ使用セラルル場合カ多イモノテハアルカ持久防禦ニ於ケル處ノ總豫備隊ハ全線ニ於ケル狀況ノ變化ニ備フルト云フカ主旨テアル乍併主攻點ト判斷シタ地區ニ兵力カ初メカラ少ナカツタナラハ直ニ此總豫備ヲ主攻ヲ受ケタ地點ニ使ツテ仕舞ツテ其後ト云フモノハ全線ノ各部ニ於ケル狀況ノ變化ニ備フヘキ豫備



專守的防禦ニ於ケルハ、兵隊ハ、前線ニシテ、射撃ヲ得ルニ要ス。

隊カナイト云フ事ニナルノテアル從テ或方面カラ云フト殆ト總豫備ヲ持タヌ事ニナルノテアル防禦而モ萬事カ攻者ノ意圖ヲ忖度シテ戰鬪ヲセナケレハナラナイ即チ大ニ戰鬪動作ノ自由ヲ保留スルノ必要カ大テアル處ノ此專守的持久防禦ニ於テ如斯總豫備ヲ持タヌト云フコトカ正當テアルヤ否ヤ一考ヲモ要セナイ事テアロウト思フソレテアルカラシテ勿論第一線ノ兵力ヲ無茶苦茶ニ放散シテハイケナイカ其地區ヲ守ルニ必要ナ兵力ハ地區指揮官ニ與ヘテ總指揮官ノ過早ノ心配ヲ惹起セナイ様ニセネハナラナイ

二

防禦砲兵ヲ以テ陣地直前ヲ攻撃シ得ルノ觀念ニ乏シキ者多シ一時的ノ持久戰例ヘハ後衛力僅ニ本隊ノ某隘路ヲ退却セシメヨウトスルトカ又ハ前哨部隊如キモノカ本隊ニ戰鬪準備ノ時間ヲ與ヘヨウトカ若シクハ數陣地ニヨリテ持續戰ヲ行フテ時間ノ餘裕ヲ得ヨウト

カ云フ戰鬪テハ殆ト近キ距離ヲ射撃シ得ル必要ハナイ之レ敵カ近距離ニ接近スル前ニ陣地ヲ撤スヘキテアルカラテアル故ニ如斯戰鬪法テハ一般ニ近距離ノ處ハ撃テナイテモ遠距離ノ地點カ撃テサヘスレハ砲兵陣地ハ宜イノテアル(斯ル戰鬪ニテモ狀況ニヨリ近接戰ヲ必要トスル特別ノ場合ハ勿論現出スルコトアルモ)カ本狀況ニヨリ專守的持久防禦テアツテ而モ此一陣地テ飽ク迄踏ミ止マツテ本軍カ無事退却スル迄ハ此陣地ハ撤退シテハナラナイ而モ其レカ二三時間ヤ半日ト云フ様ナ短キ時間ヲナク或ハ戰鬪ヲ開始シテカラ夜間カ續キ來ルカ又ハ敵ハ拂曉攻撃テモシテ夜間ニ或砲兵ノ有効射界ヲ前進シテ來ルト云フ恐レカアル場合ハ決シテ遠距離計リ射撃シテヨロシイカト云フニソウテナイ時ニ狀況ニヨリテハ敵カ何回陣地ニ突入シテ來ル様ナ事カアツテモ或時機迄ハ陣地ノ撤退ヲ許サナイ防禦ニ於テハ陣

一時防禦的持  
久防禦的持  
專防禦的持  
於防禦的持  
兵陣地砲  
能差異性

地前近距離ノ地ヲモ射撃スルコトカ出來ル様ニ工風ヲセナケレハナ  
ラナイ處カ多クノ作業ニハ敵ノ歩兵カ已ニ本村野村又ハ久居北方地  
區ニ進出スルト最早射撃カ出來ナイト云フ様ナ陣地ヲ選ンテ居ルモ  
ノカ多イ此レハ大ニ一考ヲ要スヘキ事ト思フ  
或ハ二、三ノ戰術書ニハ持久防禦テハ遠距離ノ地ヲ射撃シ得ル處ノ砲  
兵陣地ヲ選ハネハナラナイ近距離ヲ射撃シ得ヘキ必要ハ比較的少ナ  
イト云フ様ナコトカアルカ此ハ敵カ展開シタラ直ニ退却スルトカ又  
ハ攻撃ヲ起シテモ近距離迄來ル迄ニ退却スルトカ又ハ其以前ニ増援  
隊カ來テ攻撃ニ轉スルトカ云ハハホンノ一時的ノ持久的防禦ニ就テ  
云フモノテアツテ決シテ諸君ハ一ツノ場合ヲ以テ如何ナル場合テモ  
十遍一律ニ行フモノテナイト云フコトヲ忘レテハナラナイ  
已述ノ様ニ砲兵ヲシテ近キ前地ヲ射撃セシメヨウトシタナラハ本問

歩砲同線  
ノ害ヲ避  
クルノ手  
段

題ノ如キ山地トカ高地トカ云フ處テハ勢ヒ高地ノ端ニ出サネハナラ  
ヌ從テ歩砲同線ノ害ヲ生シ易イノテアル即チ砲兵戰カアル時ハ砲兵  
近處ノ歩兵迄カ砲彈ヲ被ツタリ又戰鬪カ進ミテ敵ノ歩兵カ近ツイテ  
來ルト云フト砲兵ハ小銃彈ヲ盛ニ被ツテ充分ニ働キカ出來ヌト云フ  
コトニナルノテアルカ萬事ヲ盡クシテ此歩砲同線ト云フコトハ避ケ  
ネハナラナイ例ヘハ地形ヲ探查シテ砲兵ヲ依然後方ニ置イテ或ハ分  
置シテ交叉射撃トカ何トカシテ重要點ヲ射撃スル様ニシタリ又ハ側  
防砲兵ヲ特ニ配置シ又ハ敵歩兵カ近ツイテカラ射撃シ得ル豫備陣地  
ヲ準備シタリスル様ナコトテアル乍併トウシテモイカヌ歩砲同線ニ  
セナケレハ止ムヲ得ヌト云フ時ハ歩兵線ノ選擇ニ許ス限りノ變更ヲ  
與ヘタリ又ハ砲兵陣地ノ掩護ヲ缺カヌ限り可成砲兵陣地近處ニ歩兵  
ノ配備ヲセナイトカ又ハ少クシタリ或ハ工事ニヨツテ充分ノ掩護ヲ

與ヘタリセナケレハナラナイ  
要スルニ諸手段ヲ盡クシテ砲兵ヲシテ近距離ノ地ヲ射撃スルコトニ  
努メ此レカラ從テ起リ來ル處ノ不利ハ配備ヤ工事ニヨリテ補フヲ要  
スルノテアル

迂回ニ對  
スル顧慮

## 三 迂回ニ對スル顧慮乏シ

今迄得タル處ノ情報ニヨルニ敵ハ遙ニ我ニ比シテ兵力カ多イ今我陣  
地ヲ見ルト東翼方面ハソウテナイカ西翼方面ハ戸木村方面カラ片田  
地方ニ進出迂回シテ支隊ノ右側背ニ迫ル事カ容易テアル勿論此方面  
ニハ敵ノ主力トカ又ハ大キイ部隊ハ來ハスマイカー一中隊ヤ二中隊テ  
アツテモ若シ來タナラハ支隊ノ爲ニハ事テアルソレカト云フテ第一  
線ノ配備ヲ以テ之ヲ防止シヨウトスルト正面カ過大ニナツテ到底出  
來ナイカラ何トカ工風ヲセナケレハオラナイ此事ニ關シテハ原案ヲ

淡配  
備ノ濃

述フル時ニ詳述スルコトニスル

## 四 第一線ニノベツニ陣地ヲ作ツテ配備ニ濃淡カナイモノカ多イ

本狀況ノ様ナ專守的持久防禦ニアツテハ如何ニシテ小シンマリト陣  
地ヲ占ムヘキカ如何ニシテ守兵ヲ節約スヘキカト云フ點ニ於テハ特  
ニ大ナル力ヲ用ヒナケレハナラナイ如斯スルニハ能ク地形ノ要否ヲ  
考察セナケレハナラナイ諸子ノ作業ヲ見ルト何ノ爲ニ敵主攻ヲ表ス  
ヘキ朱ノ矢標ヲ書イタノカ譯ノ分ラヌモノカ澤山アル即チ敵ノ攻撃  
ノ重點テアロウカアルマイカソソナコトニハ關係ナク何處ノ山ト云  
ハス山ト云フ山ハ何テモ彼テモ山サヘアレハ部隊ヲ配置シタモノカ  
多イ其處テ已述シタ重點ニ於ケル兵力カ寡少ヲ來シタリスルコトニ  
ナルノテアロウト思ハレル勿論敵ハ我カ判斷シタ通り重點ヲ置イテ  
必スシモ攻撃シ來ルモノテナイカラ種々ノ場合ニ應スル様ニ工事ヲ

ナスノハ必要ナコトテアル

操典第六十一ニ曰ク

工。事。ハ。縦。令。必。要。ノ。程。度。少。キ。方。面。ニ。於。テ。モ。全。ク。之。ヲ。忽。ニ。ス。ヘ。カ。ラ。ス。ト。アル。此。文。句。ノ。中。ニ。アル。處。ノ。工。事。ト。云。フ。事。ト。全。ク。ト。云。フ。字。ニ。力。ヲ。入。レ。テ。見。ナ。ケ。レ。ハ。ナ。ラ。ナ。イ。工。事。ヲ。ナ。シ。タ。ト。テ。必。ス。兵。力。ヲ。配。備。セ。ヨ。ト。云。フ。タ。ノ。テ。ナ。イ。又。忽。ニ。ス。ヘ。カ。ラ。ス。ト。云。フ。テ。何。カ。ラ。何。迄。一。切。工。事。ヲ。セ。ヨ。ト。云。フ。ノ。テ。ナ。イ。全。ク。忽。ニ。シ。テ。ハ。イ。ケ。ナ。イ。即。チ。必。要。ノ。度。少。キ。方。面。ハ。輕。ク。考。ヘ。テ。ヨ。イ。カ。ソ。レ。ト。テ。全。然。工。事。ヲ。セ。ヌ。ト。云。フ。様。ナ。コ。ト。カ。ア。ツ。テ。ハ。ナ。ラ。ヌ。ト。戒。メ。タ。ノ。テ。アル。

操典第五十八ニ曰ク

地區ノ數及之ニ備フヘキ兵力ハ狀況ニ依テ同シカラス  
孫子虛實篇ニ曰ク

吾所與戰之地不可知、不可知則敵所備者多、敵所備多則吾所與戰者寡矣、故備前則寡、備後則前寡、備左則右寡、備右則左寡、無所不備則無所不寡、寡者備人者也、衆者使人備己者也

同篇ニ又曰ク

天兵形象水、之形避高而趨下、兵之形避實而擊虛、水因地而制流、兵因敵制勝、故兵無常勢、水無常形、能因敵變化而取勝者、謂之神

古人ト雖能ク兵ニ常勢カナイ勝利ノ要ハ變化應用ノ妙ニアルヲ述ヘテ居ル夫レテアルカラシテ能ク地形ヲ相シテ所謂無所不備則無所不寡ノ弊ニ陷ツテハナラヌ

四 陣地前方ニ於ケル守兵ナキ僞工事ハ値少シ

本村野村カラ本村横山附近ニ亘ル線ニ僞工事ヲ設ケ而モ守兵ヲ置カサルモノアリ敵ノ斥候又ハ部隊等一度久居附近ニ進出セハ我陣地ノ

状態ハ偵知シ得ヘク偽工事等ハ直ニ其真相ヲ看破セラルルテアロウ  
 況ンヤ敵ノ偵察斥候驅逐ノ兵力配シナキニ於テオヤ  
 偽工事ハ陣地ノ近邊即チ例ヘハ實際ノ陣地ハ山脚又ハ山腹ニアル場  
 合等ニ山頂等ニ設クルトカ實際ノ散兵壕ノ側方ニ設クルトカスルト  
 云フト敵ヲシテ何レカ真ナルヤノ偵察ヲ困難ニシ砲彈ヲ招クコトカ  
 少ナカツタリ又ハ小銃射撃ト雖免ルルコトカ少クナイモノテアル

五 附屬設備ヲナセシモノ少シ

宮田川テアルトカ又ハ安濃川テアルトカ云フ様ナ後方ノ河川ハ何時  
 テモ又何處テモ渡ルコトカ出來テ退却ニ混雜ヲ來タサヌ様ニシテ置  
 カナケレハナラヌ特ニ支隊ノ退却ハ津北方ニ於テ殆ト隘路ノ中ニ入  
 ル様ナ工合テアルカラシテ此點ニ注意セナケレハナラナイ又陣地前  
 ノ小流ヲ利用シテ范濫ヲ作ツテ陣地ノ強度ヲ高メタリスルコトヲモ

別示要圖ノ通

第五問題ニ對スル原案

忘レテハナラヌ又此ノ様ナ山地テハ總豫備隊若クハ地區豫備隊ハ何  
 處ニテモ直ニ増援カ出來ル様ニ交通路等ヲ設ケテ置カネハナライ

防禦配備原案ニ關スル説明

一 敵ノ攻撃重點判斷ニ就テ

防禦ノ配備ヲ決定シヨウトシタナラハ先ツ敵カ如何ナル方面カラ攻  
 撃ノ重點ヲ持テ來ルテアロウカト云フ事ヲ判斷スルノ必要カアル即  
 チ敵カ攻撃重點ヲ持ツテ來ソウナ處ハ防者カ尤モ要心ヲセネハナラ  
 ナイ處テアツテ勝敗ノ決カ此處テ岐ルルノテアルカラシテ防禦ノ工

事ヤ又兵力ノ配備モ充分ニシテ置イテ此ナラハ大丈夫ト云フ風ニ構ヘテ居ラナケレハナラナイ乍併又一方カラ考フルト云フト敵ハ必スシモ我判斷通り來ルモノテナイ自分カ右カラ來ルテアロウト判斷シテ居ツテモ左カラ來ル様ナ事カアルテアロウカラ敵ノ攻撃重點ヲ判斷シテ置イテモ何ノ役ニ立タナイ寧ロ敵カ何レノ方面カラ來テモ差支ナイ様ニ防備ヲ整フレハヨイテハナイカト云フ議論モ立ツノテアル然ルニ果シテ斯ク萬能的ニ配備スルコトカ出來レハ之ニ越シタコトハナイ萬事攻者ノ行動ニ附隨シテ行動スル防者ニハ其必要カアルカラシテ出來ル丈ケ之ヲ努メルノテアル乍併實際ニ當ツテ見ルト云フト中々斯ク重寶ニ配備ヲナシ得ルコトハ尠ナイモノテアル即チ二、三之ヲ述ヘテ見タナラハ次ノ様ナ關係カアルカラテアル

一 敵カ何レノ方面カラ來テモ差支ナイ様ニ工事ヤ設備ヲ四方八

方ニ面シテ設ケ度イカ其時間ヤ勞力ヤ材料ヲ得ナイ場合カ多イ

二 防者ノ有シテ居ル兵力ト陣地ノ正面ノ關係上四方八面ニ對シテ配備ヲスルト云フト兵力ニ不足ヲ來スカ又ハ各點カ薄弱トナル場合カ多イ

三 砲兵ヤ豫備隊ハ敵カ何レノ方面カラ來テモ之ニ應スル様ナ處ニ置キタイノテアルカスル理想ノ位置ハ得難ヒモノテアルカラシテ最モ心配ナ敵ノ主攻點ヲ判斷シテ之ニ應シ得ル様ニ準備セサルノ不得止モノテアル

以上ノ様ナ關係カアルカラシテ陣地ノ各部ニ就テ其要否ノ程度ヲ考ヘテ要點テナイ處ニ費ス處ノ兵力ヤ設備ノ勞力ハ之ヲ節約シテ要點ニ於ケル強度ヲ嵩ムル様ニセナケレハナラナイ而シテ重要ノ程度カ低イト判斷シタ方面ニハ比較的輕イ兵力ヤ設備ヲ置イテ萬一我判斷

ニ相違シテ敵ノ主力カ其方面カラ來タ即チ陣地要否ノ判斷ニ就テ防者ノ目論見カ外ツレタナラハ其豫備隊ヲ以テ之ニ應シ此豫備隊カ來ル迄ハ最初ニ置イタ處ノ輕イ設備ヤ兵力ヲ支ヘテ居ナケレハナラナイ

勿論防者ハ守兵ヲ陣地ニツケル時機トカ又ハ陣地前方ニ於テハ搜索ニヨツテ敵主力ノ方向ヲ確メルト云フ様ナコトヲ考ヘテ敵カ何レヨリ來ルモ支障ナイ様ニ努メテセナケレハナラナイカ敵主力ノ來ソウナ處ハ充分考ヘテ萬事落チカナイ様ニシテ置カナケレハナラナイ津南方高地ニ向テスル攻者ハ何レニ主攻ヲ向クルテアロウカ之ニハ二ツノ方向カアル一ハ久居方面一ハ其東方本村野村方面テアル久居北方地區カラ稍東北方ニ本村相川方面ニ向フト云フトドウテアルカ戰略上ノ關係ハ宜シクナイ即チ攻者ハ己ノ背後連絡線ヲ一時

捨テテカカルニ拘ハラス防者ハ安全ニ其背後連絡線ヲ保持シテ居ルノテアル本村野村方面カラ正北ニ本村相川附近ノ地區ニ向テ來タナラハ其戰略關係ハ防者ノ爲ニ甚タ宜シクナイ即チ攻者ハ己ノ背後連絡線ヲ安全ニ保持シテ居ルカ防者ノ背後連絡線ハ東北方ニ向イテ居ルカラシテ敗戦ト同時ニ奪ハルルコトニナル又本村野村方面カラ壓迫セラレルト云フト退却ニ際シテハ防者ハ安濃川河谷ヲ關町方向ニ退却セナケレハナラヌ而モ此方向ハ我本軍ノ後方ニ踵續シテ敵カ進出シテ來ル方向テアツテ如何ニモ攻者カラ本村野村方面ノ地區ヨリ壓迫セラレルノハ苦シイ云ハハ津南方高地テハ此方面ハ危險ナル方面ト云フテヨロシイ

サテ戰術上カラハトウテアルカ  
攻者カ蔭蔽近接シ得ルトカ又ハ砲火ヲ及ホスノ程度如何ハ餘リ大差

カナイ蔭蔽近接ト云フハ若干久居方面ノ方カ易イカモ知レナイ之レ本村洗瀬、同横山附近ノ小高地迄ハ殆ト射撃ヲ受クルコトカナクシテ來ラルルカラテアル併シ之ハ敵カ若シ其第一線ヲ本村相川西方ノ小高地カラ本村横山東北方ノ小高地上ニ出シテ居ルト此利ハナクナルシ又敵カ本村相川西北方一帶ノ高地上ニ置クト正面攻撃ニナルノ不利カアル又久居方面カラ主力ヲ持ツテ來テ本村相川附近又ハ其西方地區ニ攻撃重點ヲ向クルト云フトトウシテモ本村横山西方高地上カラジリジリ攻メ寄セテ之ト連繫攻撃スルノ必要カアルノミナラス又久居東方地區ニハ有力ナル部隊ヲ配シテ攻者カ背後線ヲ暴露シテ居ルノニ乗シテ本村相川東方地區ノ守者カ出撃スルノヲ防止シ又制壓スル爲有力ナル部隊ヲ配備シナケレハナラナイソウスルト久居方面カラ本攻ヲ施ソウトスルナラハ自然戰鬪正面カ廣大トナツテ從テ重

點ニ用ユル威力カ減シテ來ル大不利カアル

久居東方地區カラ攻撃シタ場合ハドウテアルカ戰鬪正面ノ過大トナル恐ハナイ即チ主力ヲ久居東方ニ展開シ一部ヲ久居方面ニ展開スル時ハ決シテ防者陣地ノ右翼方面ニ迫ル山手ノ方ニ部隊等ヲ出ス必要カナイ晝間テアツテモ新屋カラ東北方ニ延長シテ居ル凹地ヤ小森西方本村野村南方ニ彎入スル凹地等ヲ利用シテ本村小邊又ハ本村野村等ノ線ニ進出シテ直ニ歩兵火戰ヲ用ユル事カ出來ル

又砲兵トノ關係ハドウカ奈良街道ヲ進メタ砲兵ハ此本道ヲ餘リ遠ク距ルコトナク久居東方附近ニ布陣シテ而モ主攻擊點トノ關係カ都合ヨロシイ

以上ノ様ニ戰略的關係計リテナク戰術關係カラモドウモ久居東方地區カラ本攻撃ヲ施スノカ有利ナ様ニ思ハルル



右ノ判断ニヨツテ余ハ本村相川北方高地附近カラ以東本村小邊北方ノ地區ニ防禦ノ施設ヤ又配兵ヲ充分ニシヨウト思フノテアル

## 二 陣地一般ノ線決定ニ就テ

自分ハ陣地ノ正面ヲ次ノ如ク取ツタノテアル

垂水ノ西方高地カラ本村相川東北方高地ヲ經テ本村相川ト同横山間ニアル小高地ヲ經テ本村横山北方約千米ノ高地

即チ右翼ノ方面ノ地區ヲ少シ張り出シタノテアル其理由ハ次ノ如クテアル

若シ本村相川北方ノ高地カラ高キ山ノ縁端ニ沿フ本村横山ノ北方約千米ノ高地附近ニ亘ルト云フト次ノ様ナ不利カアル

い 本村相川ノ北方高地ヲ凸角トシテ右左ニ折レテ陣地カ「へ」ノ字ニ折レテ而モ戰略上又戰術上危險ナリト判断スル此凸角ノ東方

地區カ獨リ敵ニ飛ヒ出シテ敵ノ集中火力ヲ受ケ易キ形ニナルコト

ろ 本村相川北方ノ凸角ハ甚シキ弱點ヲ形成シ而モ西側ノ高地縁ハ後方ニ下カツテ居ルカラ此凸角ニ對シテ側防トカ何トカ弱點ヲ補フニ不便ナルコト

は 砲兵ヲシテ陣地前近距離ノ地ヲ射撃セシムル爲ニハ高地縁端ニ出スヲ要シ而モ尤モ肝心ナ本村野村同小邊北方地區ヲ射撃スル爲ニハドウシテモ砲兵ハ本村相川西北方約六百米ノ高地カ又ハ本村横山東北方千米位ノ高地ニ配セサルヲ得ス然ルトキハ歩砲同線ノ害ハ勿論テアルカ而モ敵ノ歩兵ハ本村相川、本村横山間ノ小高地ニ初メカラ現出スルカラシテ砲兵ハ初メカラ四、五百米ノ地點ヨリ小銃火ヲ受ケテ充分ナル働キカ出來兼スル

に 右翼方面ヲ本村相川西北高地以西ノ高地縁ニ設クルト云フト  
 歩兵ハ本村相川、本村横山間ノ小高地ニ敵ノ歩兵カ現出スル迄ハ  
 射撃カ出來ナイ從テ射界ハ僅ニ四百カ五百米シカナイソウスル  
 ト云フト敵ノ突撃トカ何トカ近戰ヲ惹起シ易クテ持久ノ目的ヲ  
 達スルニ心苦シイ

勿論此不利ハ右翼地區ノ方面カラ側射テモシテ援助カ出來レハ  
 醫スルコトハ出來ルノテアルカ悲シイコトニハ左翼地區ハ反對  
 ノ方ヲ向イテ居テ充分援助カシ兼ネル

以上四個ノ不利ヲ補フ爲ニ右翼ノ線ヲ前ニ出シタノテアル  
 此前ノ線ニ出シタナラハ然ラハ少シモ不利ハナイカト云フニソウハ  
 行カヌ矢張り若干ノ不利ハ免レナイ故ニ之ヲ醫セナケレハナラナイ  
 之ハ後ニ述フルコトニスル

## 三 陣地ノ翼ニ就テ

陣地ノ左翼ハ限界セラレテ居ルカラ譯モナイカ六カシイノハ右翼テ  
 アル即チ敵カ包圍的行爲又ハ側背脅威ヲシヨウトシタナラハ戸木カ  
 ラ片田ニ至ル道路附近ニ至ル迄ノ地區ハ之ヲ許スノテアルソレテ若  
 シ之レ迄第一線ノ配備ヲ以テ防キ止メ様トシタナラハ戰線ハ七八千  
 米ニナツテ到底旅團位ノ兵力テハ手ニ追ヘナイ勿論山地テハ山ヤ谷  
 ヲウマク利用スレハ少々ハ廣ク正面ハ取り得ルモノテアルカ一旅團  
 テ一里半ヤ二里近ヒ正面ト云フモノハ一時的持久ナラハイサ知ラス  
 專守の持久ニアツテハトウシテモ保ツコトハ出來ナイソコト何トカ  
 工風ヲシテ兵力ニ相應スル様ニセネハナラヌ此處カ實ニ難カシイ處  
 テアル

然ラハ如何シタナラハヨロシイカ現狀況ニ宛テ箝メテ若干研究シヨ

先ツ方法トシテハ地形其他ノ狀況ニヨツテ澤山アルテアロウカ一、二ヲ舉ケテ見ヨウ

い 敵情ヲ判断シテ適當ニ思ヒ切リヲナスコト

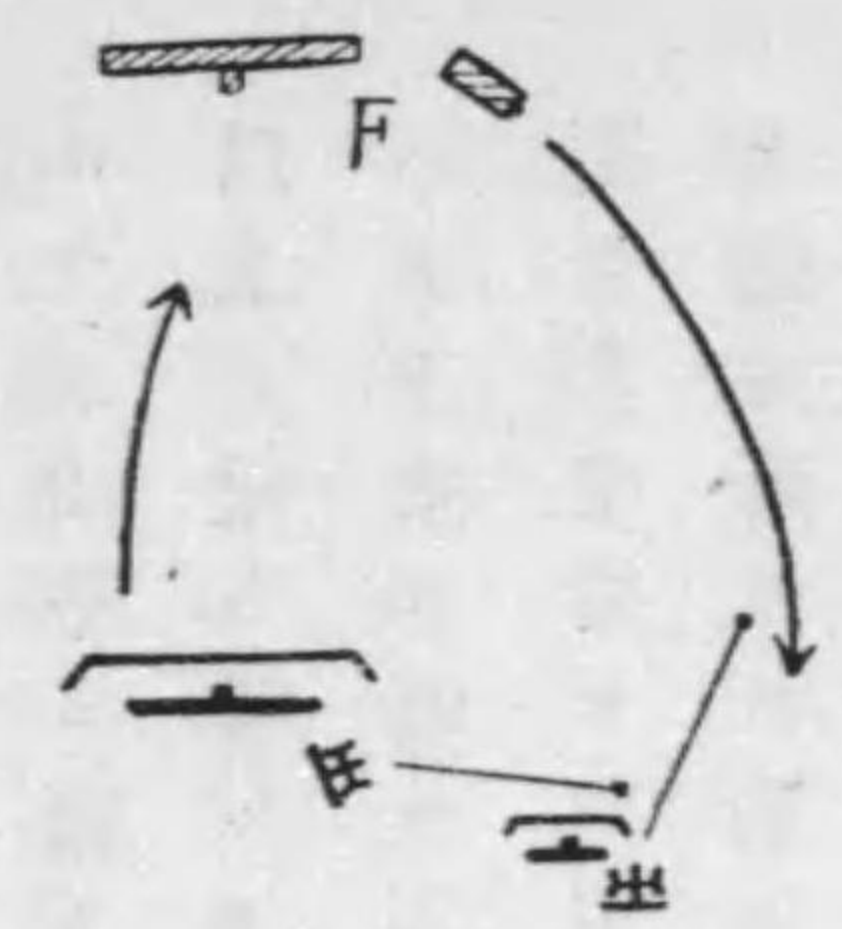
即チ本狀況テ野田竹原附近ノ高地ヤ風早池附近ノ高地ハドウシテモ默テホツテ置ク譯ニ行カヌ様ニ思フ乍併トウテアロウ攻者ニナツテ見タナラハ久居東方カラ來ル本攻ニ對シ此處迄即チ殆ト二里モ二里半モ攻撃ノ手ヲ擴ケ得ルテアロウカ又參宮道ヲ進シテ敵カ全ク其背後ヲ捨テテカカツテ二里モ二里半モ西ノ方ニヨルテアロウカ而モ兵力ハ彼我ハ一聯隊位ノ差シカナイ餘程優勢テナケレハ斯ル大膽ナコトハ出來マイ攻者トテモ防者カ逃ケ尻ヲ構ヘテ防禦シテ居ルト云フコトハ知ルマイソウシタナラハ

如何ニ夜間ヲ利用シテ運動ヲ秘スルニシテモ斯ルコトハ出來マイ又若シ之ヲ敢テシタナラハ縱令逃ケ尻ハ構ヘテ居ツテモ防者ハ攻者ノ運動中テアツタラ勿論運動ヲ終ツタ後テアロウカ何タロウカ攻勢ニ轉スヘシテアル

以上ノ様ニ考ヘタナラハ野田竹原方面ニハ敵ノ主力ノ來ル恐れハナイ來タ處カ一部テアル故ニ其一部ノ爲ニ戰線ヲ無茶苦茶ニ擴ケテ主要ナル正面ノ兵力ヲ減スルト云フコトハ宜シクナイ唯タ此方面カラ來タ一部ノ爲ニ陣地ノ防備カ搖カサレヌ様ニスレハヨロシイ

ろ 翼側後ニ於ケル編成ニヨリ包繞ヲ防止ス

翼側後ニ堅固ナル據點ヲ編成スルト云フト敵ノ包繞防止ニハ大ナル效果ノアルモノテアル



露軍ハ日露戰役ニ於テ多ク其翼ヲ包繞セラレ陣地撤退ノ止ムナ  
 キニ至リシ實際ニ鑑ミ殆ト極端ニ之ヲ賞用スルノ傾向ヲ生シテ  
 居ル彼ノ戰鬪教令等ニヨルニ敵ノ包繞防止ノ爲ニ翼側後ニ有力  
 ナル歩砲部隊ヲ配置シ本陣地ニ於ケル砲兵ノ援助區域内ニアラ  
 シメ其梯形陣地ニアル砲兵ニヨリ其射程外ニ  
 於テシヨウトスル攻者ノ包圍行爲ヲシテ愈々大  
 規模ナラシメ此時機即チ正面ニ於ケル攻者ノ  
 力ノ弱リシニ乘シテ攻勢ニ轉スルノ機會ヲ捉  
 ヘヨウトシテ居ル

如斯ハ自ラ敵ヲシテ我ニ出撃ノ機會ヲ與ヘシムル如ク餘リ努メ  
 過キテ我ハ却テ翼側ニ於ケル梯形陣地而モ本陣地カラ餘程距レ  
 タ處ニ大ナル兵力ヲ配置シテ從テ正面ニ於ケル守兵ヲ減シ正面

ヲ突破セラレル心配モ起ツテハ來ルカ儘ニ包繞防止ノ策ニハ相  
 違ナイ即チ防者ノ如斯布陣ニ對シテ包圍シヨウトスルト云フト  
 其規模カ甚シク大テアラネハナラヌ然ルニ防者ノ出撃ヲ恐レテ  
 其大規模ノ包圍ヲ斷念セスニハ居ラレヌコトニナルノテアルハ  
 ルクハ前進哨ニ關シ其利害ヲ説キ本陣地ヘノ退却カ困難又好機  
 ヲ得サルモノナルヲ痛論シタ後此ニ關シ次ノ如ク云フテ居ル

陣地ノ側方ニアル地物ハ迂回的攻撃ヲ困難ニス是ヲ守備スル  
 時ハ眞ニ占領セラレタル陣地ノ識別ヲ困難ニシ且迂回縱隊ヲ  
 シテ遠ク迂回ヲ行フニ至ラシムヘケレハナリ該地物ハ自己ノ  
 射撃ニヨルニセヨ防禦砲兵カ久シキニ亘リテ支撐點ト齊頭面  
 ニ駐止シ得ルニセヨ正面的防禦ヲ援助シ其他陣地ヲ延長スル  
 カ爲ノ小地區點ヲ形成シ逆襲實施ノ爲必要ナル守護ヲ與ヘ梯

段トシテ後方ニ向ヒ彎曲シアル時ハ包圍ニ對シテハ彎曲セル  
 鉤形ヨリモ有力ナル守護ヲ與フ是鉤形ハ容易ニ縱長ニ攻撃セ  
 ラルルヲ得攻者ノ火力優勢ハ先ツ線ノ破壊點ニ生スレハナリ  
 前ニ前進陣地ニ於テ抱カレタル杞憂ハ此側方ノ支撐點ニ在ッ  
 テハ同一ノ程度ニ存在スルコトナシ之レ守備隊ハ決シテ本陣  
 地ニ向ヒ退却スルノ止ムヲ得サルニ至リ爲ニ其射撃ハ遮蔽セ  
 ラルルコトナケレハナリ此翼支撐點ノ守備隊ハ爲シ得ル限り  
 永ク固守セサルヘカラス若シ此陣地ヲ撤去スルノ止ムヲ得サ  
 ル時ハ退却シ以テ絶ヘス攻撃ヲ側射シ隨テ逆撃ヲ實施スルノ  
 便ヲ與ヘサルヘカラス

バルクハ右ニ就キ「サンプリバー」ノ戰鬪ニ於ケル「ロンクール」ヲ戰  
 例ニ擧ケテ居ル之カラ見ルト重ニ側方ニアル一支撐點ニ就テ述

ヘテ居ル様テアル「ロンクール」ハ「グラベロツト」「サンプリバー」附近  
 佛軍陣地ノ右翼「サンプリバー」ノ北方ニ於テ第一線ト同線ニアリ  
 カ右記事ニ云フテ居ル通り此支撐點カ梯段トシテ後方ニ向ヒ  
 彎曲シアル場合ヲモ述ヘテアル處ヲ見ルト單ニ側方ノ支撐點計  
 リテハナイ露軍ノ所謂梯形陣地ト同意味ニナルノテアルコトハ  
 明テアル

山地ナトテハ本陣地ト此梯形陣地ト相互援助カ充分ニ出來ヌ様  
 ナ場合カ多イ之ハ中間ニ山ヤ稜線ナトカアツテ射撃ヲ邪魔スル  
 カラテアルソレテ大規模ニ此梯形陣地ヲ利用スルコトハ出來マ  
 イカ丁度翼側後方ニ此附近一帯ヲ瞰制スル様ナ高地テモアルト  
 云フト至極便利ナモノテアル  
 要スルニ迂回防止ノ爲ニハ有効ナル手段テアル

は 比較的の多クノ豫備隊ヲ蓄へ之ヲ利用シ隨處ニ防止シ又ハ攻勢  
ニ出ツ

之ハ敵ノ來様ニ從テ隨處ニ防止セヨウトスルノハ時ニ或ハ時機  
ヲ失シタリ又本狀況ノ様ニ專守ヲ主トスル防禦ニアリテハ攻勢  
ニ出ツルト云フ様ナコトハ餘リ好マシクナイカラシテ可成ナラ  
前以テチャント陣地ヲ編成シテ置イテ待ツテ居ル方カヨイノテ  
アルカ之カ出來ナカツタリ又ハ陣地ノ正面カ非常ニ擴カツタリ  
スルト自然ニ此等ノ方法ニヨラネハナラヌコトニナルノテア  
ル

奉天戰ニ我乃木軍ノ繞回ヲ防止スル爲ニ二度モ三度モ露軍カ奉  
天西南又ハ西方地區ヨリ攻勢ニ轉シタノハ適例ト見テヨカロウ  
ト思フ

今本陣地ノ右翼ヲ野田竹原東方ノ高地ニ止ムルト云フト一寸堅  
固テアル様テアルカ戰線カ右ニ延ヒルノト一部ノ敵兵カ風早池  
方面カラ包繞ヲ企テタ時分ニ少シ都合カ惡イ何故カト云フト右  
翼ヲ野田竹原東方高地ニ置クト之カ防護ノ爲梯形陣地ヲ取ロウ  
トスレハトウシテ田中東南方高地テナケレハナラナイ而モ之ハ  
總豫備ノ位置カラ一里以上モアリテ若シ敵カ來タ時分ニ豫備ノ  
内カラ一部ヲ送ロウトスルト時機ヲ失シ易ク又前以テ此距レタ  
而モ果シテ敵カ來ルカドウカ分ラヌ處ニ置クト云フコトハ萬一  
敵カ來ナイ時分ニ必要ナル正面ニ於ケル守兵ヲ減シテ能クナイ  
ソレテアルカラ敵ノ大規模ノ包繞ヤ又ハ迂回ヲ防止スル爲ニハ  
總豫備ヲ臨時派遣シテ之ニ備フルト云フ考案テナケレハイケナ  
イソウスルト總豫備カラ可成手近ニアル地區ニテ之ヲ行フカヨ

ロシイ即チ自分ハ之ヲ神戸村西南方高地ニ於テシヨウト思フ即チ此處ニ豫備ノ工事ヲ據點ヲ作ツテ置イテ必要ナ時ハ何時テモ必要ナル兵力ヲ總豫備ノ内カラ送ルノテアルソウスレハ第一線ノ右翼ハ本村洗瀬東北約千米兩池ノ中間ノ高地位テヨロシイト思フ

神戸村西南ノ據點ハ一面野田竹原東方高地方面カラ我陣地右翼ノ側背ニ迫ラウトスル敵ヲ制火シ又一面遠ク風早池方面カラ田中東方高地方面ニ現出シテ我右側背ニ迫ロウトスル敵ヲ防止スル目途ニヨリ編成セネハナラヌ

## 分地區ノ區

## 四

地區ノ區分ニ就テ

步兵操典第五十八ニ曰ク

地區ノ數及之ニ備フヘキ兵力ハ狀況ニヨリテ同シカラス例ヘハ攻

勢ヲ企圖スル方面又ハ射界不良ナル地區ニハ其兵力ヲ大ニシ陣地内ノ交通困難ナルトキハ地區ノ數ヲ増加スルカ如シ

地區ヲ分ツト云フコトハ高級指揮官カ各其部下第一線ノ指揮官ニ責任ヲ與ヘ其責任ヲ盡クス爲ニ第一線ノ指揮官カ全力ヲ奮フノニ便利ナラシムルノト高級指揮官ノ防禦指揮ヲ容易ニスル爲テアルノテアルカ偕テ陣地ニ於テ幾何ノ地區ニ分チ又此各々ニ幾何ノ兵力ヲ配スルカト云フ事ハ操典カ云フ通り全ク狀況ニヨリテ定ルモノテコウセナケレハナラヌト云フ原則ハ定メ難ヒノテアルソコテ余ハ多ク遭遇スル場合ヲ若干具體的ニ述ヘテ置コウト思フ

い 地區ノ數ヲ餘リ無茶苦茶ニ多クスルノハ宜シクナイ  
之レ高級指揮官ノ直接命令スヘキ單位ヲ多クシテ指揮ヲ複雑ナラシムヘキ不利カアルカラテアル

ろ 交通不便ナ障碍物ヲ距ツル地帯ヲ一地區ニスルノハ宜シクナイ  
 之レ第一線ニナルト云フト横方向ノ連絡即チ報告トカ命令トカ  
 云フモノカ頻繁ニナツタリスルカ之カ充分ニ行ハレナカツタリ  
 又ハ地區豫備隊カ第一線ニ出テタリスル時ニ甚シキ不利ヲ來タ  
 シ時ニハ其カ爲ニ時機ヲ失スル等地區ノ指揮カ能ク行ハレ難ヒ  
 カラテアル

は 地區ノ指揮官ノ有スル命令機關ノ能力以外ニ廣キ地帯ヲ一地  
 區ニスルノハ宜シクナイ

地區カ廣クナルト云フト從テ命令ノ傳達モ遅クナリ之カ爲ニ或  
 ハ時機ヲ失シ又ハ反對ニ報告モ遅クナリ地區ノ指揮官ハ適時ニ  
 狀況ニ應ジ地區守備ノ爲ニ適當ナ處置ヲ講スルコトカ出來ナカ  
 ツタリ又ハ命令傳達モ永キ時間ヲ要スル關係上戰況カ迫ツテ來

ルト云フト澤山ナ傳令ヲ要シ後ニハ迎モ地區ノ指揮官ノ有スル  
 機關丈ケテハ指揮カ出來兼スル様ニナル  
 電話テモアルト云フト廣イ區域ヲ受ケ持タシテモヨイノテアロ  
 ウカ之トテ不時ニ切斷サレルコトモアルシ又縱令電話カアツテ  
 モ事カ起ツテ増援テモスル時ニ豫備隊ヲ送ル様ナ場合ニ間ニ合  
 ハヌ

に 肝要ナ地點ニ地區ノ境界ヲ置イテハヨロシクナイ  
 之レハ總評ノ處テ述ヘタ様ニ此地點ヲ取ラレマイトシテ不知不  
 知兩地區カラ兵ヲ出シテ必要以外ナ兵力ヲ配スルコトニナルカ  
 又ハ反對ニ敗レタ時責任ノナスリ合ヒカ初マリ或ハ右ノ通りノ  
 害カナイトシテモ高級指揮官ノ命令カ一要點防守ノ爲ニ兩地區  
 ニ向ツテ命令ヲ送ラナケレハナラナカツタリ又ハ一要點防止ノ



爲ニ兩地區指揮官ノ處置カ阻唔カ出來タリスルノ不利カアルカラシテ斯ル要點ハチャンスト一指揮官ノ防守責任ニスルカヨロシイ

自分ハ敵ノ主攻ヲ久居東方地區ト判斷シタカラ本村相川以東ヲ一地區指揮官ニ與ヘタノテアル

ほ 地區防守ニ當リ相互ノ援助ヲ要スルコト特ニ深キヲ希望スル

地點ヲ別地區ニスルノハ宜シクナイ

陣地ノ構成ヤ又ハ防禦ノ戰鬪ニ於テハ各據點カ相互ニ援助スルノハ必要テ又之ヲ努メナケレハナラナイカ此唇齒關係ノ深キ地點ハ出來ル丈ケ一地區ニスルカヨロシイ例ヘハ甲ノ陣地ハドウシテモ乙ノ地點カラノ援助火カナケレハドウシテモ保ツコトハ出來ナイト云フ様ナ場合ハ之ヲ一地區ニスル様ナモノテアル何

故カト云フト陣地ニ於テハ比隣相互ニ相援助スルノハ當リ前テアルカ夫レ夫レ戰況カ難カシクナルト云フト各地區ノ指揮官ハ敢テ他ヲ顧ミナイト云フ譯テハナイカ己レノ受特チタル地區ヲ保守スルカ爲ニ——己レノ責任ヲ盡サントスル道義觀念ノ嵩マルト共ニヒヨツトスルト他地區ノ方ハ留守ニナリ易イコトカルカラトウトウ甲ノ地點カ保タレナカツタト云フ事ニナル恐カルカラテアル

諸君カ敵ノ主攻ヲ久居方面カラ本村相川東北方凸角ト判斷シナカラ本道ノ西側地區ヲ別地區ニシタノハ今述ヘタほ及ヒ前記にノ缺點ヲ冒シタモノテアル

ヘ 敵ノ戰場行動ヲ展視シ難イ地テ廣キ地區ヲ與ヘルノハ宜敷ナイ

展望カキカスト云フト敵ハ不意ニ目前ニ現出ヲスル從テ戰鬪ハ初メ急速ニ起ル若シ此時ニ廣キ正面ヲ與ヘテ置イタナラハ地區ノ指揮官カ種種處置シテモ間ニ合ハヌ夫レテアルカラシテ受持正面ヲ狭ク與フルカヨロシイ操典テ射界不良ナル地區ハ兵力ヲ大ニセヨトアル即チ此ハ敵ハ損害ナク接近シ而モ近距離カラ猛烈ノ火線カ起ルカラシテ防者モ之ニ對抗スル如ク比較的濃密ナル配備ヲ要スト云フ一例ヲ教示シテアルノテアロウガ斯ル地點ハ多クハ兵力關係計リテナク地區ノ幅員モ狭クシテ此正面ニシテハ比較的の多クノ兵力ヲ配スルノ必要ナルコトカ多イモノテアル

## 五

工事ノ集團ニ就テ

操典第六十二ニ曰ク

連續セル火線トナスコトナク數群ニ分チテ設クヘシ地區ノ兵力大ナル時ハ通常大隊毎ニ集團セシムルヲ可トス而シテ各集團工事ノ間隔及其前地ハ比隣集團ヨリ有效ニ射撃シ得ルヲ要ス  
築城教範草案第十二ニモ右ト同様ノ教示ヲナシテ居ル尙之ニハ若干補足的ニ説明ヲ加ヘテ居ル即チ

集團工事ノ間隔内及其前地ハ比隣集團ヨリ有效ニ射撃シ得ル如クシ若シ地形之ヲ許ササル時ハ此間隔内ニ於テ正面射撃ヲナス爲必要ノ工事ヲ添加スルノ止ムヲ得サルコトアリ

若シ連續セル火線トシタナラハトウカ若シ一點カ敗レタナラハ此火線ハ或意味ニ於テ一ツノ線ヲ引張ツタ様ナ者テアルカラシテズルズルト他點カ敗レテ行クテアロウ恰モミシテ縫ツタ縫目カ一點切レタナラハボロボロト何ノ譯ナシニ縫目全體カ綻ヒルト同様テアル然

ルニ集團ノ工事ヲナシタナラハトウカーツノ集團カ攻落サレテモ其  
 兩隣ノ集團ハ側方ニ向ヒテ充分ニ防禦火ヲ及ホスコトカ出來ル姿勢  
 ヲ以テ頑ト控ヘテ居ル(連續セル火線ナルトキハ側方ニ對スルコトカ  
 不充分ナル故ニ斯ク頑ト構ヘテ居ルコトハ出來ナイ)カラシテ中々破  
 レヌ恰モ衣物ヲ縫フノニ一寸一寸ニ止メテ取ツテアル様ナ者テアル  
 即チ一寸ハ破レルカ決シテミシン縫ヒノ様ニ一點カ破レテズルズル  
 ト他ノ點カ破レルト云フコトハナイ  
 又斯クスルト云フト攻勢移轉ノ餘地モ得守兵モ連續ノ火線トスルヨ  
 リハ寡クテヨイ處ノ利益カアルノテアル  
 集團工事ヲナスト云フト陣地ノ或一部分ハ隣ノ集團ニ銃先キヲ向ケ  
 ル様ニナルテアロウ之ハ隣リノ集團カ破レテモ其集團ヲ保ツ様ニ若  
 クハ集團内ノ間隔ニ敵カ入ツテ來テモ射撃カ出來ル様ニスル關係上

ドウシテモソウシナケレハナラナイ然ラハ次ノ疑問カ起ルテアロー  
 即チ夜間ナトハ比隣集團テ同志撃チヲ行フ心配カアルテアロウト然  
 リ然ルカラシテ必要テナイ時機ニハ同志撃ヲスル様ナ方面ニハ配兵  
 ヲセナイノテアル又チャント夜間射撃カ出來ル様ニ同志撃ヲセナイ  
 様ニ胸牆上ニ設備ヲセネハナラヌ  
 之ハ地形ノ傾度トカ若クハ友軍位置ノ標識トカ云フモノテ充分出來  
 ルモノテアル世間ニハ此一部ノ同志撃ヲナス如キ方向ニ工事ヲ作ル  
 ノヲ非常ニ嫌フ人カアルカ若シソウスルト集團工事ノ側面ハ小シモ  
 射撃ハ出來ナイテ全ク連續シタ火線トナシタト同様ニ正面ノ射撃シ  
 カ出來ナイト云フコトニナルノテアル又縱令一部分ハ比隣ノ集團工  
 事ニ向フカモ知レナイカ其中間地區ノ防備ノ必要ト云フコトカラ考  
 フルト云フト恰モ突撃時機ニ歩兵カ友軍砲兵ノ協力ヲ期スル關係カ

テ其砲彈ヲ被ルト同様テ害ハ勿論害テアルカ利益ハ更ニ大ナルモノ  
 カアルカラシテ我慢セネハナラヌト思フノテアル  
 然ラハ其集團工事ノ間隔ハ幾何位ニシタラ良イカ之モ諸種狀況ニヨ  
 ツテ決定スルテアロウ即チ晝間ノミノ戰鬪ヲ豫期スル時ト夜間迄戰  
 鬪ヲ豫期スル時トハ自然ニ異ラナケレハナラヌト思フ一寸考フルト  
 云フト歩兵ノ小銃射撃ノ有効界ノ二倍テアツタラ數理上能ヒ様テア  
 ルカ併シ戰況ニヨリテ或ハ一集團ハ其正面ノ戰鬪ニ忙殺セラレ側面  
 ノ地區ニ充分ニカヲ用ヒラレヌト云フコトカアルカモ知レナイカラ  
 一集團カラ充分ニ射制セラルル位テナケレハナラヌト思フノテアル  
 如斯事ハ充分地形ヲ相シテ定メナケレハナラヌモノテアツテ強チ數  
 理的カラノミ割リ出サレ得ルモノテナイ  
 本狀況ノ様ナ山地又ハ彼狀地テハ射撃カ充分ニ出來ス死角ヤ安全界

## 六

前進陣地ノ占領法ニ就テ

カ澤山出來ルカラシテ前記築城教範草案ニ示ス通り集團間ニ正面射  
 撃ニ任スル工事ヲ添加スルノ必要カ多クハアルモノテアル  
 自分ノ原案ノ右翼地區テ云フト本村相川東北ノ凸角及其本道西側ノ  
 高地ヲ一集團トシ本村小邊北方ノ高地ヲ集團トシ此集團間ニ一中隊  
 ノ正面射撃ニ任スル工事ヲ構ヘ垂水西南ニ一集團ヲ作ツタノテアル  
 而シテ地形カ山テ横ニ向クル射撃カ充分キカヌト幾日モ夜間ニ亘  
 ル戰鬪ヲスル恐カアルカラシテ間隔ハ比較的少クシテ在ル  
 之レハトウセ退却ヲスルモノテアルシ又退却ハナカナカ難カシイモ  
 ノテアルカラシテ可成ナラハ小ジンマリト占メテ退却ニ便利ナ姿勢  
 ニアルカ宜シイ自分ノ此陣地ハ少シ敵ニ對シ一時本陣地ト誤認サレ  
 テ本陣地ニ對スル攻撃ヲ遅クシヨウト云フ考ヘカアルカラシテ少シ

ク擴ケテ在ル勿論可成主力ヲ久居ノ方ニ近ツケテ配備ヲシ退却ニ當  
 リテハ久居町ノ蔭蔽ヲ利用シテ行フ事カ出來易イ様ニシテアル而シ  
 テ東方ニ出シタ一部ハ退却ニ當テハ陣地ノ左翼ニ下カラス賦ツテア  
 ルカラシテ退却ニ當リテハ縱合擴カツテ居テモソソナニ困難テアル  
 マイト思フ

砲兵陣地ノ如キハ己レノ兵力ノ少イノヲ暴露セヌ様ニ遮蔽陣地ヲ採  
 用シ尙又可成多クノ兵力ト誤認セシムル様ニ砲兵モ二分シタノテア  
 ル此二分シタノハ退却ニ當リ可成輕捷ニ運動シ易イ様カラノ意味モ  
 アルノテアル

又此前進陣地コソ其線上ニ多クノ偽工事ヲ施シタナラハ其効果ヲ見  
 ルコトカ出來ルテアロウト思ハルル其レテアルカラシテ一中隊ノ歩  
 兵ハ其比隣ニ殆ト一大隊分位ニ見セル様ニ偽工事ヲ施ス考ヘテアル

局地ノ不  
利ヲ補フ  
手段

七

陣地ノ各部ニ於ケル不利ヲ補フノ手段ニ就テ

A 本村横山東北方約六百米ニアル歩兵第二聯隊第二大隊ノ右翼

此ハ突角ヲ形成シテ萬一敵ノ主力或ハ主力ヲナクトモ稍大ナルモ  
 ノカ久居西北方地區カラ來ルコトトナルト云フト弱點ヲ形成スル  
 カラシテ左ノ手段ニヨツテ補ツタノテアル

い 陣地ノ右翼即チ本村横山北方千米ニアル歩兵陣地カラ之ヲ  
 側防スル

ろ 機關銃ヲ配シ之ニヨリ本村横山北方ヨリ迫ル敵及本村洗瀨  
 西北方地區ヲ充分ニ火制ス

は 敵カ本村洗瀨西方特ニ該部落北方圖上瀨ノ字直北ノ小高地  
 ニヨリ遮蔽シ來ルコトナキ如ク該小高地ノ東西兩側及南側地  
 區ヲ本村相川西方小高地及本村洗瀨東北約六百米ノ陣地ニ配

セル機關銃ニヨリテ充分ニ火制ス

に 本村洗瀨西北方ノ砲兵ハ要スル場合本村洗瀨西方地區ヲ充分ニ射撃シ得ル如ク設備ス

## B

本村相川西方ノ小高地ハ左翼地區ヨリ稍前方ニ進出シ本村洗瀨方面及本村相川南方地區ヨリ集中火ヲ受クル恐アリ

又本村相川東北方高地ハ敵カ本村野村北方高地及本村野村ノ部落等ニ據點ヲ得テ接近シ易キ恐レアリ  
右ノ不利ヲ補フ爲左ノ手段ヲ取ル

い 本村相川北方道路西側高地ニ歩兵線及機關銃ヲ配シ本村相川西方小高地ノ東側及本村相川東北高地ト本村相川間ノ地區

ヲ充分ニ射撃シ得ヘカラシム  
ろ 本村相川西方小高地ニハ歩兵ノ二中隊及機關銃ノ主力ヲ配

シテ正面火力ヲ盛ニシ又本村相川南方ノ地區ニ充分ニ射撃ヲナシ易カラシメ敵ノ本村相川侵入ヲ困難ナラシム又縱合本村相川ニ侵入スルモ該部落東北方及北方竝西方小高地ヨリスル火制ニヨリ該部落ヨリハ一步モ進出シ得サラシムル如クス

C 本村相川東方高地ハ本村小邊同野村北方高地等ニヨリ蔭蔽シ陣地前近距離ニ敵兵現出シ得ルノ不利アリ

之ヲ補フニ次ノ様ニシタノテアル

い 本村相川西北方ノ砲兵陣地ヨリ本村野村以北ノ谷地ヲ充分ニ火制シ得ル如ク設備ス

ろ 砲兵一中隊ヲ垂水西方ニ配シ新屋ヨリ東北方ニ彎入セル淺谷ヲ充分ニ射撃スルコトヲ得セシメ又本村野村ノ東南側ヲ射撃シ易カラシメ本村相川西北ノ砲兵陣地ヨリ本村野村ノ西南

側ヲ射撃シ得ルト相俟チテ敵カ本村野村及其北方高地ヲ充分  
ニ利用シ能ハサル如クス

は。本村小邊北方ニ堰堤ヲ設ケテ小流ニヨリ氾濫ヲ設ケ此方面  
ニ於ケル敵ノ奇襲ヲ防遏スルノ補助手段トス

に。本村小邊北方及其西方高地ニハ重層射撃ヲナス如ク豫備陣  
地ヲ設ケ要スル場合ハ豫備隊ヲ以テ正面射ヲ熾盛ナラシム

要スルニ陣地ト云フモノハ何處テモ自分ノ理想ニ叶ツタモノト云フモ  
ノハ得難イモノテアルカラシテイロイロ工風ヲシテ配備ヤ施設ヲ以テ  
補ハナケレハナラヌモノテアル諸君ハ一寸見タ所ノ外形ヤ又ハ一寸シ  
タ感覺ニヨツテ陣地ノ配備ヲ決定シナケレハナラナイ前記ノ種々ノ説  
明ニヨツテ陣地決定ノ場合ニ工面セナケレハナラナイ着眼點ノ梗概ハ  
分ツタテアロウト考エラレル而シテ此工面スル事柄ト云フモノハ其時

ノ狀況特ニ地形ニヨリテ種々變化スルモノテアルカラシテ其場合場合  
ニヨツテ腦漿ヲ絞ラナケレハナラナイ

## 狀 況

一 午後〇時三十分ニハ支隊ノ本隊ハ已ニ開進ヲ結了シ步兵第二聯隊  
長、衛生隊長ハ旅團長ノ位置ニ集合シ來リ又砲兵大隊長、工兵中隊長モ  
必要ノ諸偵察ヲ終リ歸來シ偵察ノ結果ニ就キ必要ノ報告ヲナセリ  
之ヨリ先キ前衛司令官タル步兵第一聯隊長ハ步兵第一中隊ヲ以テ垂  
水西方臺上附近ヲ步兵第一大隊(第一中隊欠)ヲ以テ本村相川北方及東  
北方高地附近ヲ野砲兵中隊ヲ以テ本村相川東北方ニツ池東南側高地  
(圖上藤之字附近)ニ配シ主力ヲ二ツ池北方四百米ノ谷地ニ集結シアリ  
シカ司令官ハ自ラ支隊長ノ許ニ來リ陣地占領後行ヒシ前地偵察ノ結

果ヲ詳細ニ報告セリ

以上ノ諸報告ハ地圖上ノ判斷ト大差ナシ

三 支隊長ハ愈、已述第五問題答解原案ノ如キ配備ヲナスニ決定セリ

### 第六問題

陣地占領ノ爲ノ伊勢支隊命令

### 原案

#### 伊勢支隊命令

十二月二日午後〇時三十分  
於本村相川北方無名祠

- 一 山田方面ノ敵ハ微弱ナル一師團ニシテ下有爾附近ニアルモノハ歩兵二大隊、砲兵一中隊ヲ基幹トセルモノノ如ク本二日午前十時迄ニハ櫛田川以北ニ其歩兵部隊ヲ見ス

支隊ノ陣地占領命令

敵ノ騎兵約二中隊ハ午前八時頃中林附近ニ進出セシモ我騎兵ノ爲松阪方向ニ壓迫セラレタリ

二 支隊ハ津南方高地附近ヲ占領シ敵ヲ拒止セントス

三 歩兵第一聯隊(第一大隊欠)ハ狐塚北方臺上ヨリ本村野村西方約四百米ノ四軒屋ニ亘ル間ヲ火制シ得ル如ク本村横山東北方約千米ノ高地ヨリ其東南無名池南側ノ高地ヲ經テ本村相川西方約三百米ノ高地ニ亘ル地區ヲ占領スヘシ

本村相川西方高地ハ特ニ堅固ニ之ヲ編成シ且機關銃隊ノ主力ヲ以テ本村洗瀨西北側凹地及本村相川南側地區ヲ射撃シ得ル陣地ヲ構築スヘシ尙陣地ノ右翼ハ本村横山東北方ニ於ケル凸角ヲ側防シ且野田竹原東方地區ヨリスル敵ノ包繞ニ對シ得ル如ク編成スヘシ  
傳騎二ヲ屬ス



四 歩兵第二聯隊ハ本村野村西北方四軒屋以東ノ臺上ヲ火制シ得ル如ク本村相川北方無名祠ノ高地ヨリ垂水西南方<sup>22,2</sup>標高高地附近ニ亘ル地區ヲ占領シ特ニ本村相川東北方高地竝本村小邊北方約五百米ノ高地上ニハ堅固ナル支撐點ヲ編成シ且機關銃ヲ以テ歩兵第一聯隊陣地ノ左翼竝本村東北方地區ヲ側防シ得ル如ク陣地ヲ設備スヘシ  
津興南端ハ一小部隊ヲ以テ占領スルヲ要ス  
傳騎四ヲ屬ス

五 砲兵大隊(第一中隊欠)ハ本村横山東北無名池東北方約五百米ノ鞍部附近ニ於テ本村横山北方ノ臺上及久居東北方地區ヲ射撃シ且本村相川東南方凹地ヲ縱射シ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ尙ホ垂水西方<sup>52,7</sup>標高高地南脚附近ニ於テ新家東北方ノ凹地及木村野村ノ高地ヲ縱射シ得ル如ク一中隊分ノ陣地ヲ構築スヘシ

六 歩兵第一聯隊第一大隊長ハ部下大隊及騎兵半小隊竝野砲兵第一中隊ヲ指揮シ久居東南方ニ於ケル臺縁ヲ占領シテ支隊ノ陣地ヲ掩蔽シ且敵ノ攻撃ヲ遲緩セシムルヲ努メ不得已ニ至ラハ半田南側ニ退却シ豫備トナルヘシ

砲兵中隊ハ退却ニ際シテハ垂水西方ニ於ケル已設陣地ニ入ラシメ所屬大隊長ノ指揮下ニ復歸セシムヘシ

七 騎兵中隊(一分隊欠)ハ依然敵情ヲ搜索シ敵ノ壓迫ヲ受クルニ至ラハ漸次久居西北方地區ニ退却シ支隊ノ右側ヲ警戒スヘシ

八 工兵中隊ハ歩兵及砲兵大隊ノ陣地占領ヲ援助シタル後左ノ施設ヲナシ工事終ラハ半田南側ニ於テ豫備タルヘシ

一 雲出橋及鐵橋ノ破壊

二 本村小邊北方ノ小流ヲ利用シ氾濫ノ施設

- 三 本村相川東北二ツ池北端ヨリ垂水ニ通スル道路ノ補修
  - 四 岩田川及安濃川ニ於ケル渡河施設
  - 五 野田竹原北方地區ヨリスル敵ノ包繞ニ對シ神戸西南方高地  
上ニ於ケル歩兵豫備陣地ノ構築
  - 右施設ノ詳細ニ關シテハ別ニ示ス
  - 九 衛生隊ハ半田附近ニ於テ繙帶所開設ノ準備ヲナスヘシ
  - 十 先進輜重ノ内野戰病院ハ津町ニ進入シ開設ノ準備ヲナシ歩砲兵各  
彈藥縱列ハ岩田南端ニ前進スヘシ
  - 十一 大行李ハ依然下部田北端ヲ先頭トシ停止シアルヘシ
  - 十二 輜重ハ神戸町追分間ニ停止シアルヘシ
  - 十三 余ハ左翼ヨリ第一線ノ工事ヲ巡視シ後現在地ニアリ
- 伊勢支隊長 少 將 某

注 意

- 一 久居東南臺上ヲ占領セル部隊ハ敵ノ有力ナル部隊雲出川ヲ超ユル  
ニ至ラハ甚シキ壓迫ヲ受ケサルニ先チ狀況ノ許ス限り主力ヲ以テ久  
居西北方地區ヨリ退却スヘシ
- 二 歩兵兩聯隊本部及砲兵大隊本部ハ支隊司令部トノ間ニ又歩兵第一  
聯隊ハ支隊司令部及久居附近ニ出ツヘキ歩兵大隊間、歩兵第二聯隊ハ  
支隊司令部ト半田南方豫備隊トノ間ニ電話通信線ヲ架設スヘシ
- 三 現ニ殘存スル騎兵一分隊ハ支隊司令部ノ傳騎トス

傳達法

歩兵兩聯隊長、歩兵第一聯隊第一大隊長、野砲兵大隊長、工兵中隊長、  
衛生隊長ヘ口達筆記セシメ騎兵中隊及大行李輜重ニハ筆記セル  
モノヲ送付ス

支隊ノ陣地占領命令ニ關スル總  
評及説明

一 標題ニ就テ

標題ノ記シ方ハ種々ニ分レテ居ル旅團命令トカ支隊命令トカ又ハ伊勢支隊命令トカ甚シイノニナルト支隊陣地占領命令ト記シテ在ル旅團命令ト云フト何タカ歩兵ノ兩聯隊ニシカ威力カ及ハヌ様ナ感シカスルシ又支隊命令ト單ニ云フト軍ナトテ情報ヲ整理シタリ又ハ將來戰史編纂等ニ當リテ何レノ支隊カ一寸分ラヌ様ナコトカアルハカリテナク何タカ伊勢支隊ノ全隊ニ及ハヌ様ナ感シカスル故ニ矢張り嚴然ト伊勢支隊命令トスルカヨロシイ要務令ニモ各團隊ノ稱號ヲ冠シ或ハ軍隊區分ニヨリテ成リタル部隊等ノ名稱ヲ冠ストアル

單一ナル部隊ノ命令ナラハ各團隊ノ稱號ヲ冠スルコトカ出來ル(諸部隊カラ成立シテモ師團トカ又ハ何々混成旅團ト云フ様ニ單一ニ總括シタ團隊號ノアルモノハ別々)カソウテナイモノハ斯クイカヌ夫レテアルカラドウシテモ軍隊區分カラ成立シタ部隊號ヲ自然ニ冠スルコトトナルテアロウト思ハレル  
因ニ説イテ置クカ茲ニ若シ歩兵ノ第一大隊(他部隊ハ少シモ含マス)カ右側衛ニナツタ様ナ場合ニ第一大隊命令トスヘキカ又ハ左側衛命令トスヘキカテアル如斯場合ニハ何レトセナケレハナラナイト云フ規則ハアルマイカ素ト素ト此大隊ハ右側衛ト云フ軍隊區分上成立シタ一形團トシテ動作スルノテアルカラ斯様ナ場合ハ右側衛命令トシタ方カ穩當ノ様ニ思ハレル  
勿論如斯場合ハ大キナ部隊ニハ滅多ニナイ即チ多クハ必要ナ他兵種

ヲ混合スルカラテアル

敵情

二 敵情ニ就テ

敵ノ兵力トカ又ハ敵騎ノ我騎兵ニ壓迫セラレタル事ハ其都度都度支隊長ハ必要ナ部下ノ諸隊長ヘハ通報シテ居ルテアロウカラ此陣地占領命令テハ強イテ示スニ及ハナイノテアル乍併特更ニ合同命令ヲ以テ廣ク各隊ニ命令スルノテ特ニ輜重ヤ大行李トカ云フ様ナ部隊ヲ今迄情報ノ通報カ落チテ居勝チナ部隊ニモ與フルノテアルシ又今迄軍隊區分ニヨリテ支隊長ノ直轄テナカツタ部隊ナトハツイ此敵情ノ通報ナトカ脱落シテ居ル様ナ事カアルモノテアルカラ此カ今直屬トナル場合ニキチント綜合シタ敵情ヲ示シテ置クカヨロシイ夫レテアルカラ余ハ原案ニ示シタ通り分リ切ツタ様ナ敵情ヲモ示シタノテアル

射撃正面及守備地區ノ境界

三 射撃正面及守備地區ノ境界ニ就テ

步兵操典第六十一ニ曰ク

敵ニ安全地域ヲ與ヘサル爲高級指揮官ハ前地ヲ地區毎ニ分割シ而シテ各地區前ノ死角ハ比隣地區互ニ側防シ得セシムルヲ要ス  
 即チ之ハ攻撃ニ於テ戦闘地區トカ攻撃目標トカ云フ様ナ其隊ノ責任ノ範圍ヲ示スト同様テ苟モ陣地ニ向テ來ル處ノ攻者ニ對シテ少シモ防禦火ヲ浴セナイテ近ツクコトカ出來ナイ様ニシヨウトスル處ノ手段ニ他ナラス失レテアルカラシテ各歩兵部隊ニ其火制ノ正面ノ範圍ヲ示ス場合ハ歩兵ノ射撃距離内ニ於テ示スヲ穩當トスルノテアル然ルニ諸君ノ作業ニハ例ヘハ

「步兵第二聯隊ハ久居東端以東ヲ射撃シ得ル如ク云々」  
 ト命シテ步兵陣地カラ二千五六百——歩兵ノ射程外ノ處ヲ示シテ居ル之ハ甚タ些細ナ様テアルカ力量以外ナ事ヲ命シタノテ穩當テナイ

又時ニヨルト方法ヲ換ヘテ

守備地區ノ境界ハ何々ヨリ何々ニ亘ル線トス

ト示シテ陣地内ノ一點カラ其前方二、三千米ノ一點ヲ連ネテ線ヲ以テ示シタ者モアル之ハ一寸考フレハ良ヒ様テアルカ守備ノ第一線ノ前方而モ遙カ前方迄各地區ノ守備責任カ負ハサレタ様テ穩當テナイ又此ト同意味ヲ持タセテ賦リテアロウカ

戰鬪地區ノ境界ハ何々ヨリ何々ヲ連ヌル線トス

ト示シタモノモ澤山アル攻撃ナライサ知ラス此專守的防禦ニ於テ守備戰鬪ヲスル處ノ遙カ二、三千米前方ノ戰鬪地境迄示スノハ穩當テナイ或ハ將來攻勢ニ轉シテ必要ナ場合モアルカモ知レナイカ其時ハ其時ノ狀況ニ應シタ如ク戰鬪地境ヲ定ムルノカ至當テ今カラ定メテ置ク必要ハナイ

右ノ様ナ不都合カアルカラシテ余ハ千米位前方ノ四軒屋ヲ分界トシテ兩地區守備隊ノ火制地區ノ分界ヲ示シタノテアル以上ノ如ク單ニ火制地區ノ分界點ヲ示シタナラハ守備地區ノ境界カ分ラヌテアロウ併シ之ハ幾何學的ノ線ヲ以テ示ス必要ハナイ何トナレハ兩地區ノ境界ハ占領地區ヲ示シタ命令テ大概分ル計リテナク又若干隙カアツテモ元來戰鬪スル爲ノ受持ヲ定メルノテ其隙カラ一兵モ入レテハナラヌ入レタノハ誰ノ責任カト云フ様ナ事ヲ責ムルノテハナイノテアルカラシテ戰鬪シテ其隙カラ破レヌ様ニサヘナツテ居タナラハヨイノテアル例ヘハ要塞戰ノ様ニ此戰鬪計リテナク夜トカ濃霧トカ云フ時戰鬪本位ハカリテナク此處カラ一兵ヲモ敵ヲ入テハナラヌト云フ様ニ警戒ヲ本位トスル様ナ場合テアツタナラハ其責任ヲ明カニスル爲ニ或ハ幾何學的ノ線ヲ以テ守備ノ地區境界ヲキチ

用工兵ノ使

ント示ス必要モアルテアロウカ戦闘本位ノ時ハソシク必要ハナイト  
思フ夫レテアルカラ操典ニモ如斯事迄ハ要求シナイテ唯火制正面ノ  
分界ノ事ノミ要求シテ居ルノテアロウト思フ

四 工兵ノ使用ハ可成之ヲ統一シテ其全能力ヲ發揮スル様セシムルヲ  
必要トス我新操典明ニ之ヲ教示シアリ故ニ通常工兵隊長ヲシテ其全  
部下ヲ握リテ諸作業ノ援助若ハ指導ヲ爲サシメ得ル如クスルヲ可ト  
スルノテアル工兵能力ヲ各所ニ散漫スルノハ適當テナイ

五 大行李及輜重ニ與フル命令ニ就テ

諸君ハ大行李ヤ輜重ニ殆ト全部各別ナ而モ甚タ簡單ナル命令ヲ與ヘ  
テ居ル察スルニ要務令ノ

補給、衛生勤務、輜重ノ行動、及通信等ニ關スル事項ハ通常別ニ之ヲ命  
令シ以テ一般軍隊ノ行動ニ關スル命令ヲ補足スルモノトス

大行李、  
輜重ニ與  
フル命令

ト云フ條項ヲ適用シタ賦リテアロウト思ハルル之モ強チ惡イトハ云  
ハス乍併能ク考ヘテ見ルト云フト先進輜重ノ彈藥縦列トカ云フ様ナ  
モノハ戰線ニ近ク位置シテ彈藥ノ補充ヲスルニ當リ何處何處ニ砲兵  
陣地カアルソコテ此道路ト此方向カラハ彈藥ノ補給ニ來ルカラシテ  
之ニ便利ナ様ニ其位置モ定メネハナルマイシ又戰況ニヨリテハ獨斷  
テ前方ニ進出シテ彈藥ノ補充モセナケレハナルマイコンナ事ヲ考フ  
ル時ハ戰線ノ配備ヲ委シク知ルニ越シタコトハナイ又野戰病院テモ  
ソウテアル即チ第一線ノ配備カラシテ戰線カラ後送シテ來ル處ノ道  
路ヤ又ハ主力ノ方面テ負傷者ノ澤山出來ル方面ヲ收容シ易イ様ニ又  
繃帶所ノ位置等カラ判斷シテ傷者ノ授受カ便利ナ様ナ處ヲ選ンテ其  
位置ヲ選定セナケレハナラナイ  
又遙カ後方ニ殘ツテ居ル輜重ヲモ支隊カ生キルカ死ヌカト云フ様ナ

戦闘ヲスルノニ其狀況ヲ委シク知レハ知ル程志氣ノ引キ立ツモノテアル特ニ晝モ夜モ敵ノ顔ヲ見スニ後ロノ方テ行動シテ居ルモノニハ少シノ事カ大ニ志氣ニ影響スルモノテアルカラシテ時機カ許セハ可成戦線ノ狀況ヲ知ラシメルカ宜シイ  
加之最早支隊カ陣地占領ヲシヨウト云フ場合タトカ又ハ敵ヲ攻撃シヨウトカ云フ場合ニハ後方部隊カラ多クハ連絡者カ來テ居ルモノテアルソレテアルカラシテ合同命令ヲ各隊長ニ口達スルト同時ニ此等ノ連絡者ニモ聞カスカヨイ又縦令連絡者カ來テ居ラマトシテモ副官ヤ書記ニ傍カラ筆記サシテ出來タモノヲ送レハヨイノテアル  
以上ノ如クテアルカラシテ此際ハ合同命令ヲ送ルカヨロシイ  
又大行李ヤ輜重ノ事ニ就テ詳シイコトヲ命シナケレハナラナカツタリソウスルト戦闘部隊ニ下ス命令カ非常ニ面倒ニナルトカ又ハ單ニ

直接軍隊ニ關係セナイテ濟ム様ナ事テアツタリ又ハ時間ノ關係上合同命令ヲ下ス餘裕カナイトカ云フ様ナ場合ハ別テアルカラシテ能ク狀況ヲ玩味セヌトイケナイ特ニ甚シイノハ衛生隊ニ迄各別命令ヲ與ヘテ居ル衛生隊長ハ戦闘カ開ケソウニナルト直ニ高級指揮官ノ處ニ飛ンテ來テ爾後ニ於ケル其企圖ヲ承知シテ綑帶所ノ位置ヤ又ハ擔架、車輛中隊ノ區署ヲ決定セナケレハナラナイ衛生隊長カ第一線ノ配備ヲ知ラナイテトウシテ此等ノ區署カ出來ルカ此等ハ大ナル誤リテアル併シ之モ遭遇戦トカ云フ様ニ同時ニ命シ能ハヌ場合ハ別テアルカ可成ナラハ第一線ノ狀況カ委シク分ル様ニセネハナラヌ

## 六 陣地占領掩護部隊ニ就テ

操典第五十七ニ曰ク

陣地ヲ占メントスルヤ通常其前方ニ一部隊ヲ出シ以テ我陣地占領  
ヲ掩護セシム敵ニ近キトキハ之カ爲少數ノ歩兵部隊ヲ以テ一時ノ  
抵抗ヲナサシムルヲ要スルコトアリト雖通常騎兵ヲシテ其前進ヲ  
遲滯セシムルヲ以テ足レリトス

敵ノ歩兵カ午前迄榊田川以北ニ進出セナイト云フ狀況ナラハ今カラ  
少クモ五、六時間ノ間ハ敵ニ防害ヲ受ケルコトハアルマイソウシタナ  
ラハ此陣地占領ノ掩護ハ騎兵ノ搜索テ澤山テアロウ又縦令一部ノ歩  
兵部隊ヲ要スルトシタ處カ余ハ久居東南ノ臺縁ヲ占領スル歩兵第一  
聯隊ノ第一大隊カアツテ自然ニ陣地占領ノ掩護ヲナスカラシテ特ニ  
之ニ陣地占領掩護ト云フコトヲ命シナカッタノテアル即チ陣地ヲ掩  
蔽シ且敵ノ攻撃開始ヲ遅緩セシムルト云フ任務テアルカラ陣地占領  
ノ掩護ハ勿論更ニ深カ入りシテ占領シテ仕舞ツタ後テサヘモ之ヲ掩

蔽シ又敵ノ攻撃迄モ時ニハ阻止シテ本陣地ニ向テスル攻撃ヲ後ラサ  
セヨウトスルノテアル  
然ルニ諸君ノ中ニハ此部隊ニ本日夕迄又ハ豫定ノ工事完成迄ハ陣地  
占領掩護ト云フ任務ヲ與ヘテ其後ハ前進哨又ハ前進陣地占領部隊ト  
云フ様ナ特別ナ任務ニ就カシメテ其分界ヲ明カニシヨウト努メラレ  
タノカ往々アル併シ更ニ進ンタ任務ヲ與ヘテ置ケハ陣地占領掩護ト  
云フ様ナ淺イ任務ハ自然ニ含マルルカラシテ如斯面倒ナ命令法ハイ  
ラナイ

七

陣地占領掩護部隊ノ編組ニ就テ

前項操典ノ一項ヲ引用シタ通り此掩護部隊ハ敵ニ近キ時ト雖少數ノ  
歩兵部隊ヲ以テ足ルト述ヘテ居ルソコテ此少數トハ如何ナル部隊ヲ  
云フテアロウカ又ハ歩兵部隊ニ鈎リ合ヒノ取レテ而モ遠距離射撃テ



持久ニ適シテ居ル砲兵ハ含マヌノテアロウカ又砲兵ヲ配屬シタラ悪  
 イノテアロウカ一寸研究ヲ要スル問題テアル此問題ヲ解クニ當ツテ  
 ハ少シ根本ニ溯ツテ研究シナケレハナラナイ抑モ陣地占領ニ當ツテ  
 工事テモシテ居ル部隊ハ敵カ遠イ時ハ其時ニ應スル様ニ又敵カ近イ  
 時ハ近ヒ時ノ様ニ何時テモ敵ニ應スル姿勢テ工事ヲスル處ノ法カア  
 ルソレテアルカラ一寸考ヘテ見タナラハ掩護隊ナトト云フモノハ強  
 イテ入ラナイ様ニ思ハルル乍併何モ敵ノ方ニ氣ヲ置クモノヲ設ケナ  
 イテ一生懸命ニ工事ヤ又ハ其他ノ占領動作ヲシテ居タナラハトシテ  
 モナイ時ニ敵ノ砲彈カ青天ノ霹靂然トシテ轟キ來ル事ハナイテアロ  
 ウカ又ハ敵ノ騎兵ヤ若シクハ潜入シ來ル其斥候ト云フモノニ陣地ヲ  
 見透カサレタリ或ハ不意ノ射撃テ噪カセラルル事ハナイテアロウカ  
 又ハ陣地ノ地區カ地物ヲ偵察スルモノカ此等ノ者ニ襲ハルル様ナコ

トハナイテアロウカ又ハ敵ノ近接ノ度合ヒヲ知リテ之ニ應スル様ニ  
 工事ノ程度ヲ決定スル事カ出來ルテアロウカ此等ノ事ヲ考フルト何  
 カ敵ノ方ニ就テ注意スルモノヲ配セナケレハ心配テアル即チ狀況ニ  
 ヨリ大ナリ小ナリトウシテモ掩護隊ナルモノヲ設ケネハ不安心テナ  
 ラヌ

然ラハ此掩護隊ハ如何ナル部隊カラ成立スルヲ可トスルカト云フ問  
 題ニナルノテアルカ此レハ操典カ教ヘテ居ル通り騎兵ニ依ツタリ又  
 ハ小ナル歩兵部隊ニヨツタリスルノテアル即チ之ニハ砲兵トカ云フ  
 様ナ重クロシイ兵種ハ加ヘヌカヨイ

抑陣地占領ニ當リテ之カ掩護ト云フモノハ此陣地占領ヲナス處ノ部  
 隊ヲシテ占領ノ區署ヲナス處ノ餘裕ヲ與ヘ且占領工事中不意ノ敵襲  
 ヲ蒙ラナイ様ニスルノカ目的テアルソレテアルカラ此掩護隊ノ動作

ハ此目的サヘ達スレハヨイノテアル然ルニ此陣地占領ヲナス部隊ノ  
 狀況ハトウカト云フニ先キニモ述ヘタ通り敵カ遠ヒ時ハ遠ヒ時ノ様  
 ニ又近カケレハ近ヒ時ノ様ニ工事ヲナス處ノ方法ガアツテ若シ敵カ  
 近クテ心配ナ時ハ殆ト銃ヲ手ニシナカラ工事ヲ行フト云フ事カ出來  
 ルノテアルカラ單ニ敵カ來タト云フ事カ分レハヨイノテアル若シ又  
 愈<sub>レ</sub>工事ヲナス事カ出來ナイト云フ様ニ時機カ切迫シテ來タナラハ工  
 事ハ施サストモ天然ノ地區ヤ地物ヲ利用シテ裸カテ防禦戰闘ヲ行ヒ  
 モスルノテアル其レテアルカラ前ニ出タ處ノ工事ノ掩護隊ハ本陣地  
 ノ工事カ終ラヌカラ之ヲ終ル迄敵ヲ拒止セナケレハナラナイト云フ  
 必要ハ更ニナイノテアル又一方カラ考ヘテ陣地占領中ノ部隊ヲシテ  
 完全ニ工事ヲナサシメ様トシテ陣地占領掩護部隊カ永ク敵ニ抵抗シ  
 テモヨイ譯テハアルカスルスルト陣地占領部隊カ工事ヲ完全ニシヨ

ウトスル處ノ利益ヨリモ占領ノ掩護部隊カ各個ニ破ラレ此ノナダレ  
 カ直ニ陣地ノ防守ニ影響ヲ及ホスト云フコトニナル處ノ不利カ大テ  
 アルカラシテ之ヲ取ラヌノテアル即チ大ナル抵抗ヲ要スル部隊ヲ此  
 掩護隊ニ編組スルノ必要ハナイノテアル  
 少シク此陣地占領掩護部隊トハ意味ヲ異ニスルケレトモ掩護部隊ノ  
 編組上若干參考トナルカラシテバルクカ前進陣地占領部隊ニ配屬ス  
 ヘキ砲兵ニ就テ述ヘテ居ル意見ヲ紹介シテ置コウ  
 バルクハ前進陣地占領部隊配屬ニ關シテ次ノ様ナコトヲ云フテ居ル  
 下馬セル騎兵ハ希望ヲ達スルコト多シ單ニ歩兵ノミヲ之ニ使用ス  
 ル時ハ其防禦力ハ歩兵及砲兵ヲ有スル攻者ニ對シテハ比較的僅少  
 ナリ之ニ砲兵ヲ附スル時ハ僅ニ制限シテ之ヲ行フヲ得然レトモ微  
 弱ナル砲兵ハ「ボアー」軍ノ砲兵ノ如ク有利ナル陣地中ニ砲毎ニ分配

セラレサル時ハ短時間内ニ攻撃砲兵ノ優勢ナル包圍的射撃ノ犠牲トナルナラン而シテ攻撃砲兵ハ大害ヲ受ケ或ハ充分ニ展開スルノ已ムヲ得サルニ至ルコトナシ

又曰ク

ラングローア將軍ハ砲兵ノ前線ヲ要求ス即チ前線ニテ少數ナル歩兵ノ守護ヲ受ケツツ展開スル砲兵中隊ハ其射撃ニヨリテ敵ヲ驚カシ敵ノ前衛ヲシテ過早ニ攻撃スルニ誘致スヘクシテ中隊ハ短時間ノ火戦ヲ行ヒタル後迅速ノ歩度ニテ本陣地ニ退却セサルヘカラスト

砲兵中隊ヲ大損害ナク砲戦ヨリ却クルハ毎ニ困難ナルヘシ而シテ中隊ハ尙有效ニ砲戦ヲ實施スルノ力ヲ充分ニ有スルヤ否ヤハ疑問トス例ヘハ三中隊カ如斯前進陣地中ニ在ル時ハ恐ラク有效ニ敵ノ

同數ナル敵ノ砲兵中隊ニ對シ砲戦ニ應スルヲ得ン然レトモ攻者カ單ニ其前衛砲兵ヲ以テスルコトナク同時ニ其全砲兵ヲ擧ケテ射撃ヲ開始スル時ハ狀況ハ全ク一變ス故ニ結果ハ永ク疑ハシクアルヲ得スラングローア將軍ノ思想ハ攻者カ佛ノ操典ニ隨ヒ單ニ其前衛砲兵ノミヲ以テ砲戦ヲ開キ前衛砲兵カ敵ノ抵抗ヲ最早單獨ニテ挫折シ能ハサル時暫時ニシテ本隊ノ砲兵ニヨリテ増加スルモノト想定スルニ原因ス

即チ前進陣地ニ砲兵ヲ配スルコトハ其戰鬪中止及退却ノ困難ト此困難ヲ免レンカ爲速ニ陣地ヲ撤スルト云フト效力カ比較的少ナイト云フ關係カラ餘リ好ンテ居ラヌ様ニ思フ其ラングローア將軍ノ說ヲ駁シタ處ナトハ多少我田引水ニ傾ク感カアル何トナレハバルクハラングローアヲシテ敵ハ常ニ先ツ前衛砲兵ニヨリテ戰鬪シ後本隊砲兵ヲ

増加スルテフ想定ニ基礎ヲ置イタモノテアルトケナシテハ居ルカ自分自身ニ於テハ敵ハ常ニ其前進陣地タルカ又ハ兵力寡少ナルヲ知レリトノ想定ヲ基礎トシテ立論シテ居ルカラテアル今日ノ如ク兵器カ改造サレテ發射速度カ非常ニ増加シタリ又ハ陣地ノ占領モ敵眼ヲ避クル地點ニ於テスル様ニナツタ以上ハ強チバルクノ云フ様ニ戰闘中止カ困難テアツタリ又ハ敵ヲシテ充分ニ展開セシムルコトカ出來ナイト云フコトハ絶對ニナイ様ニモ思ハルルノテアル又前進陣地占領ノ其時ノ目的カラトウシテモ砲兵カ入用テアツタリ又ハ地形上配屬シテモ害ノ少クナイ場合モアロウ

元來獨逸ト云フ國ハ前進陣地ヲ餘リ好マナイ現今テハ陣地前ノ前哨即チ監視部隊ハ出來得ル限り永ク偽裝陣地ヲ占領セシメテ攻者ノ偵察ヲ妨害セントスルノ傾向ヲ生シテ來タ様テアル(往時ハ此等監視隊

ハ本陣地ノ準備完了ト同時ニ撤退スルヲ主義トシタリ)カ佛國ノ様ニ規模ノ大ナル前進陣地占領ハ今テモ排斥シテ居ル位テアルカラシテ自然ニ上述バルクノ如キ砲兵配屬ニ關スル議論モ出ルノテアロウト思ハルル

以上ノ如クテアルカラ徹頭徹尾右バルクノ説ニ首肯スルコトハ出來ナイカ兎ニ角或害ノ伴フモノテアルト云フ事ハ言ハレルノテアル敵ヲ迷ハシタリ又ハ之ヲ展開セシメタリ攻撃ヲ遲緩セシメヨウト云フ大キナ目的ヲ有スル前進陣地ニ於テサヘモバルクノ様ナ餘リ砲兵配屬ヲ好マナイ人カ出テ來ル處ヲ見ルト單ニ陣地占領ノ掩護ト云フ單一ナ任務ヲ有スル掩護部隊換言スレハ甚タ小ナル企圖ヲ遂クヘキ輕微ナル前進陣地ニハ其目的ト砲兵配屬ノ害カラ推及シテ來ルト云フト如斯者ニハ普通ノ場合ニ砲兵ヲ配屬スヘキテナイト云フコトカ分

ルテアロウト思ハルル

以上ノ原理テアルカラシテ歩兵操典第五十七ノ少數ノ歩兵部隊ト云  
フ事ハ敵ノ斥候ハ勿論偵察ノ小部隊ハ之ヲ撃退スルコトノ能力アル  
部隊ナルト共ニ高級指揮官ノ意圖外ノ戦闘ヲ惹起スル様ナ能力ヲ有  
セナイ様ナ部隊テアツテ縦令之カ戦闘ヲ初メタトシテモ之カ爲本陣  
地ニ於ケル戦闘ニ影響ヲ及ホスコトノナイ様ナ部隊ト解シテ居レハ  
ヨカロウト思ハレル  
右ニ述ヘタ處ハ普通ナ場合ヲ云フタモノテアツテ敵情ヤ地形ヤ又ハ  
本陣地占領ニ於ケル特別ノ狀況又ハ本陣地ノ兵力トカ若クハ此陣地  
占領ノ掩護部隊ニ附隨シテ或特別ノ任務ヲ與フル様ナ場合ナトテハ  
或ハ大ナル部隊ヲ用ヒタリ又ハ砲兵ヲモドシドシ加フルヲ必要トス  
ル狀況カアルノテアル夫レテアルカラシテ何時テモ陣地占領掩護部

隊ト云フタナラハ小ナル歩兵部隊ノミヲ出スモノト一律ニ考ヘテハ  
イケナイ即チ水ニ常形ナシ兵ニ常勢ナシテアルカラシテ此點ハ吳々  
モ斷ツテ置ク  
余カ此編組ニ就イテクドク述ヘタノハ實ハ諸君ニ操典ノ示シ  
テ居ル文句ノ根本ヲ説クト同時ニ演習ニ於テ多クハ餘計ナ掩護部隊  
ヲ出シテ前進陣地ノ害ヲ犯ス傾向カ多イカラ特ニツマラヌ事ヲ云フ  
タノテアル

八 前進陣地占領部隊(又ハ陣地占領掩護部隊)ノ退却時機ニ就テ  
歩兵操典第五十七ニ曰ク

掩護隊ハ適宜ノ時機ニ於テ退却スヘシ然ルトキハ本陣地ヲ占領ス  
ル我カ部隊ノ射撃ヲ妨ケサルコトニ注意スルヲ要ス

此適宜ノ時機ト云フノハ本陣地ニ準備完了ノ時間ヲ與フルト同時ニ

敵ニ甚シク壓迫ヲ受ケサル前テアツテ退却ヲ敵ニ抑留セラレタリ又ハ退却ニ踵續シテ本陣地ニ敵ヲ誘導シナイト云フ様ナ時機ヲ云フモノテアツテ之ヲ説明スルノハ譯ハナイカ楮テ實際ニ前方ニ出テ居ルト云フト中々難ツカシイモノテアル何時退却シタラヨカロウカ今退却シタラ自分ノ都合ハヨイカ本陣地ノ都合ハ悪クハアルマイカ尙暫時止マツタナラハ敵ニ踵續セラルル恐レハアルマイカナドノ感想ハ實ニ指揮官ヲ惱マセルモノテアツテ非常ニ難カシイノテアル加之實際ノ戰場テハ責任問題カ起ツテ來ル様ナ事モアルノテアルソレテアルカラシテ此難事ヲ輕クスルニハ電話カ其他ノ通信テ本陣地ノ指揮官ト極メテ密接ナル連絡ヲ保持シ前方ニアル部隊長ハ時々刻々狀況ノ變化ヲ本陣地ニアル指揮官ニ報告シテ恰モ本陣地ノ指揮官カ前方陣地ニアル様ニ狀況ヲ明ニセシメテ此兩指揮官ノ意志カ一致スル様

ナ退却時機ヲ選フノカヨイノテアル

一寸操典ノ文句ヲ見ルト云フト此退却時機ハ前方ニアル指揮官カ隨意ニ判斷シテ決定セラルル様ニ思ハルルカ果シテソウテアロウカ士官學校教程ニハ此退却時機ハ高級指揮官ヨリ命令セララルルヲ例トスト説明シテ居ル之レハ余カ已述シタ處ノ前方部隊ノ指揮官ノ心配モ減スルシ又ハ本陣地指揮官ノ意圖外ナ時機ニ退却スル様ナ患カナイノト且ハ又陣地占領掩護部隊ノ如キ輕キ任務ヲ帶ヒテ居ルモノハ多クノ場合深カ入りノ戦闘ヲスルモノテナイカラシテ本陣地指揮官ノ命令ノ時機ニ退却カ出來ルト云フ様ナ處カラソウ云フコトニナツテ居ルノテアロウト思ハレル

乍併前進陣地ヲ占メテ尙深イ任務ヲ有スル部隊テアルトカ又ハ單ニ陣地占領掩護ノ輕キ任務ヲ有シテ居ルモノテモ時ニハ其様ニウマク

行カヌ事カアル例ヘハ諸君カ三日ノ拂曉迄久居ノ線ヲ支持シテ退却セヨト命シテ居ルモノカ澤山アルカ二日ノ夕頃ニ敵カ近ク現ハレテ夜間ニ此前進陣地ヲ奪略シヨウトシタラドウカ到底命令通り翌日ノ拂曉迄前進陣地ニ居ルコトハ出來ナイノテ居レハ孤立敵ニ當ルカ又ハ本陣地ニ敵ヲ誘入スルノ害ニ陷ルノテアル又余カ示シタ原案テハ敵ノ有力ナル部隊雲出川ノ線ヲ越ヘタラ退却セヨト命シテアルカ前進陣地ノ指揮官ハ有力トハ幾何位ノ兵力ヲ意味スルノテアロウカナトト心配スルテアロウ又夜間位テアツタナラハ實際幾何位ノ兵力何時渡河シテ來タト云フコトカ分ラヌカモ知レナイソレテアルカラシテ如斯事ハ命令シテモ實行カ難カシイカモ知レナイ又前以テ命令セスニ其時ニ至テ今カラ退却セヨト命シテモ前進陣地カ未タ戰鬥ヲ交ヘナイ中ハヨロシイカ交エテ居レハ實際退却カ出來ルカドウカ疑ハ

シイ場合モアルテアロウス様ナ心配カアルカラシテ余ハ原案ニ於テハ退却時機ハ示スコトハ示シタカ之ハ命令文句ノ内カラ特ニ除キテ注意トシテ絶対的ノ命令ニセスニ多少前方ノ部隊長ニ撰擇ノ餘地ヲ與フル様ニシタノテアル

ソレテアルカラシテ此前方ノ部隊カ戰鬥テモスルヲ要スル様ナ場合ナトテハ多クハ前方ノ指揮官ニ任セル場合カ多ク起ルテアロウト思ハレル夫レ故コンナ場合ハ次ノ様ナコトニ着眼スルカ宜シイ

- 一 前進陣地部隊長ハ特ニ有爲ノ隊長ヲ選拔スルコト
- 二 本陣地ト連絡ヲ確實ニシ本陣地及前進陣地指揮官ハ相互ニ時機ヲ失セス狀況ヲ知悉スルコト

三 前進陣地ノ任務達成トハ如何ナルコトヲ意味スルカノ意圖ヲ充分前進部隊長ニ了得セシムルコト

以上ノ様ニシテ置ケハ本陣地トノ連絡カ充分ニ取レヌ時ハ前進陣地  
部隊長カ獨斷ニ機宜ニ適シタ退却ヲ行フテアロウシ又連絡カ取レテ  
居レハ特ニ命令モ出來ルノテアル

### 狀 況

- 一 支隊命令受領後各隊長ハ各其任務遂行ノ處置ニ着手セリ  
步兵第二聯隊長ハ工兵中隊長ニ半小隊ヲ二ツ池北端附近ニ送ルヘキ  
ヲ要求シ更ニ傳騎ヲシテ聯隊ハ古參大隊長ノ引卒ニヨリ二ツ池北端  
附近ニ來ルノ命令ヲ傳達セシメ己レハ聯隊ノ占領地區偵察ノ爲馬ヲ  
驅レリ
- 二 地形ハ地圖上ノ判斷ト大差ナク步兵第二聯隊長ハ三十分ヲ要セス  
シテ偵察ヲ終リ二ツ池南側高地(圖上藤ノ字南方)ニ在リテ聯隊ノ到着

ヲ待ツ

午後一時二十分聯隊ハ所命地ニ達セルヲ以テ聯隊長ハ各大隊長機關  
銃隊長及工兵小隊長ヲ招致セリ

### 第七問題

支隊命令ニ基キ步兵第二聯隊長ノ下スヘキ命令

### 注 意

聯隊ノ占領區署ハ概ネ第五問題原案ニ示セル要領ニヨルモノトス

### 原 案

### 步兵第二聯隊命令

十二月二日午後一時二十分  
於本村相川北方二ツ池南側高地

步兵聯隊  
陣地占  
領命令



- 一 山田方面ノ敵ハ微弱ナル一師團ニシテ下有爾附近ニアルモノハ歩兵二大隊及砲兵一中隊ヲ基幹トセルモノノ如ク本二日午前十時迄ニハ櫛田川以北ニ其歩兵部隊ヲ見ス
- 敵騎約二中隊ハ午前八時頃中林附近ニ進出シ來リシモ我騎兵ノ爲松坂方向ニ壓迫セラル支隊ハ津南方高地附近ヲ占領ス
- 砲兵大隊ハ其主力ヲ以テ本村相川西北方約六百米鞍部附近ニ陣地ヲ占領シ尙垂水西方高地脚附近ニ一部ノ陣地ヲ構成スル筈ニシテ歩兵第一聯隊ノ主力ハ本村相川西方約三百米ノ高地以西ノ地區ヲ占領シ其第一大隊ハ騎兵半小隊、砲兵一中隊ト共ニ久居東南臺縁ヲ占領シテ支隊ノ陣地ヲ掩蔽シ且敵ノ攻撃ヲ遲緩セシムル筈
- 二 聯隊ハ本村相川北方高地以東ノ地區ヲ占領セントス
- 三 第一大隊ハ本村野村西方四軒屋ヨリ本村野村北方無名祠ニ亘ル間

ヲ射撃シ得ル如ク本村相川北方高地ヨリ本村相川東北方約五百米ノ高地ニ亘ル間ヲ占領スヘシ

- 四 第二大隊ハ本村野村北方無名祠ヨリ本村小邊東側茶畑東端ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク二ツ池南側高地(圖上藤ノ字西南)ヨリ標高<sup>52.7</sup>西南約三百米ノ高地ニ亘ル間ヲ占領シ特ニ本村相川東北方高地前ヲ側防スル如ク設備スヘシ
- 機關銃一小隊ヲ屬ス

- 五 第三大隊(第十一、第十二中隊欠)ハ本村小邊東側茶畑東端ヨリ小森北端橋梁ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク標高<sup>52.7</sup>高地南方約三百米ノ地點ヨリ標高<sup>22.2</sup>附近ニ亘ル間ヲ占領スヘシ
- 津興南端ハ半小隊ヲ以テ占領セシムヘシ

- 六 第十一、第十二中隊、機關銃隊(一小隊欠)及工兵半小隊ハ豫備トス左ノ

工事完了ノ後二ツ池北側ニ位置スヘシ

機關銃隊

第一大隊長ノ區處ヲ受ケ步兵第一聯隊陣地ノ左翼ヲ側防シ且本村相川及本村小邊間ノ地區ヲ射撃シ得ル如ク本村相川北方高地ニ於テ四座其東南方高地ニ於テ二座ノ機關銃掩體構築

第十一、第十二中隊、工兵半小隊

第十一中隊長ノ指揮ヲ以テ二ツ池南側高地及本村小邊北方約五百米ノ高地ニ於テ第二大隊散兵壕ト共ニ重層射撃ヲナシ得ル如ク各一中隊ヲ容ルヘキ簡易ナル野堡ノ構築但シ野堡ノ位置ニ關シテハ第二大隊長ノ區處ヲ受ケ決定スヘシ

七 電話班ハ支隊司令部ト聯隊本部及支隊豫備隊間並第一、第三大隊本部間ニ電話通信線ヲ架設スヘシ

八 衛生隊ハ半田ニ野戰病院ハ津町ニ開設シ步兵彈藥縱列ハ岩田南端ニ前進スル筈

九 余ハ第一線ノ工事ヲ巡視シ後現在地ニアリ

步兵第二聯隊長 大 佐 某

此命令ハ各大隊長、機關銃隊長、通信係將校、工兵小隊長ニ口達ス備考地點ハ目視シ得ル限り總テ現地ヲ指示シテ命令ス

總評並說明

本問題ハ別ニ難ツカシキモノニアラス要スルニ的確ニ命令ヲ下セハ可ナリ二、三之ニ關シ注意スヘキ事項ヲ説明セン

一 火制地區ノ分界

此分界ヲ明瞭ニ示スヲ要ス作業中或ハ本村野村北方高地ニ亘ル間

ヲ射撃シ得ル如ク云々又ハ本村小邊附近ニ至ル間ヲ射撃シ得ル如ク云々ト示シ劃然タラサルモノアリ此等ノ分界ハ部隊カ愈小トナルニ從ヒ換言スレハ射撃ヲ實施スル部隊ニ近ツケハ近ツク程明瞭ニ示ササレハ陣地構築ニ不便ヲ感スヘシ

步兵操典第一部第九十九ニ曰ク

聯隊長ハ各大隊ニ其分擔スヘキ任務ヲ命ス之カ爲攻撃ニアリテハ通常各大隊ニ聯隊ノ攻撃目標及大隊ノ戦闘地域ヲ示シ云々防禦ニアリテハ大隊ノ占領區域ヲ指定スルヲ常トス

ソコテ諸君カ火制地區ノ分界ヲ確實ニ示サレナカツタカモ知レナイ

步兵操典第一部第七十七

防禦ニアリテハ通常第一線ノ各中隊ニ占領地及前地ヲ分割シテ

任務ヲ與フルモノトス

ト對照シテ如何ニモ大隊ヲハ示ス必要アルカ聯隊ヲハ示ス必要カナイ様ニ解釋セラルル乍併操典第二部第六十一ノ

敵ニ安全地域ヲ與ヘサル爲高級指揮官ハ前地ヲ地區毎ニ分割シ云々

ノ精神ハ何處迄モ失フテハナラナイ防禦ノ要ハ火力ヲ以テ敵ニ安全地帯ヲ與ヘスコトテアルトシタナラハ大隊内ノ中隊ニハ示シテ聯隊内ノ大隊ニハ示ス必要カナイト云フコトハ出來ヌト自分ハ思フ

二 工事ノ直接掩護ノ爲小部隊ヲ出ス必要ハナカラシ蓋シ久居附近ニ友軍アルヲ以テ工事實施ニ當リ銃前哨的ノモノヲ出セハ充分ナラン

問

聯隊命令受領後第一大隊長ノ處置如何

答

- 一 副官ヲシテ古參中隊長ニ左ノ命令ヲ傳達セシム  
某大尉ハ大隊ヲ引卒シテ本村相川北方無名祠東南乾田ニ來レ
- 二 副官ニ大隊所命ノ地點ニ到達セハ小行李ノ彈藥ヲ各中隊ニ分配シ  
且又土工、木工器具ヲ卸下シテ直ニ分配シ得ルノ準備ニアルヘキヲ命  
ス
- 三 機關銃隊長ヲ伴ヒ先ツ本村相川東北方高地ヨリ逐次本村相川北方  
無名祠ノ高地ニ至リ大隊ノ陣地ヲ偵察ス

大隊長命  
令受領後  
ノ處置

問

第一大隊長陣地偵察ニ當リ着意スヘキ事項如何

答

- 一 本村野村北方高地上ノ松林ハ清掃ヲ要スルヤ否ヤ
- 二 本村相川ノ部落カ陣地ヨリスル射撃ニ及ホス關係
- 三 各中隊工事線ノ概略竝火制地區ノ分界
- 四 機關銃陣地ノ詳細特ニ本村相川東北方高地ノ凸角ニ於テハ敵ノ視  
目ヲ避クヘキ良好ナル地區アルヤ竝此等陣地ト步兵陣地トノ關係
- 五 比隣地區側防ノ爲火線ノ屈折ヲ如何ニスヘキヤ又ハ特ニ陣地ヲ設  
クヘキヤ

大隊長ハ  
陣地偵察  
ニ當リ着  
意スヘキ  
事項

六 各中隊工事難易ノ觀察  
七 大隊長ノ位置

大隊長ノ陣地偵察ニ關スル説明

陣地偵察ニ於テ着意スヘキ事項ハ時間ノ有無ニヨリ甚シキ差異アルヘシ本狀況ノ場合ハ充分ニ時間ヲ要スルヲ以テ可成詳細ニ偵察スルカヨロシイ然ラサレハ往々中隊カ工事ヲ始メタル後ニ於テ之カ變改ヲ要スヘキ場合ヲ生スルコトカアルモノテアル乍併此偵察ハ能ク順序ヲ定メテ又着眼點ヲ決定シテ機敏ニヤラストイケナイ時間カアルカラトテ其偵察迄モ緩漫ニナルノハ宜シクナイ

時間ノナイ時例ヘハ急イテ收容陣地ヲ占ムルトカ又ハ後衛陣地ヲ占ムルトカ又ハ防禦戰鬪シテモ敵カ目前ニ迫ツテ居ルトカ云フ様ナ場合ハ

大隊長陣  
地偵察ニ  
關スル注  
意

射界ノ關係ト各中隊ノ概略ノ占領線位シカ見ラレヌ場合モアルカラ其都度必要ナ事項ヲ脱落シナイ様ニ着眼事項ヲ定メネハナラナイ

自分ナトハ時々此偵察テ失敗シタ經驗カ澤山アル例ヘハ時間ノナイ時ニ急イテ馬上テ驅ケ回ツテイイ加減ニ偵察ヲシテ命令ヲシテ置クト云フト實際馬上カラ見ユル地區カ火線カラ見エヌ様ナ事カアツテ機關銃隊長カブウブウ云フテ陣地變更ノ意見具申ヲシテ來テ又々慌テテ陣地ヲ捜シタリ又ハ某中隊ニ他ノ中隊前方ノ死角ヲ側防スルコトヲ命シテ中隊ヲ陣地ニ送ルト云フト此處カラハ側防出來マセヌト中隊長カ言フテ來ル様ナコトカ度々アツタ夫レテアルカラ大隊長ノ如キ直接射撃部隊ヲ配置スルモノハ出來ル丈ケ要點々々テハ下馬シテ射撃關係ヲ見ルコトヲ忘レテハナラナイ此コトハ至テ易イコトノ様テアルカ忙カシイ時ニハツイ此テヨカロウト下馬ノ勞ヲ惜シムモノテアルカラシテ特ニ

注意ヲ述ヘテ置クノテアル

尙ホ簡單ナ事ヲ能ク失念スルコトカアルカラ注意シテ置ク之ハ偵察ノ補助者ヲ伴フコトテアル大隊長ナトハメツタニ傳騎トカ云フ様ナ者ハ賞ヘナイカラシテ可成ナラハ副官ヲ伴フカヨイ又傳騎テモアレハ勿論之ヲ伴ハナケレハナラヌ何故カト云フト一寸隔ツタ處ノ或物ヲ偵察スル場合ニ一人テハ中々時間モカカルシ又ハ偵察ノ順路カ悪クナツタリ加之大隊長カ餘リアセツテ走り回ルト云フトツイノボセテシマツテ良大隊長ハ然ラサランモ能イ考カ浮ヒ悪イモノテアルカラタ例ヘハ本狀況ノ場合ニ本村野村北方高地ノ松林カ茂ツテ居テ清掃ヲ要スル様ナコトカアツタラ之ニ用ユル器具トカ人員トカ云フモノヲ定ムル爲ニ是非共此高地迄行カナケレハナルマイ又本村相川ノ東方ヲ流ルル水流モ敵カ易ク渡ルコトカ出來ルカ否カヲ偵察スル必要アリトセハ(本狀況ニテ

ハ必要ナキモ)誰カ補助者カ居ナイト大隊長ノ偵察順路カ甚迂ニナルテアロウコンナ場合ニ副官テモ居ルト便利ナ者タ併シ原案テハ大隊長ハ副官ヲ伴ハナカツタ之レハ不注意カモ知レナイ併シ機關銃隊長カ居ルカラ萬一ノ場合ニハ之ニ依頼スル考ヘテ副官ニハ彈藥ノ分配トカ又ハ器具ノ準備ヲ命シタノテアル  
右ノ様ナ些細ナコトハツマラヌ様テアルケレトモ實際ニ當ツテ困ルカラ特ニ述ヘタノテアル

## 狀 況

- 一 第一大隊長偵察ノ結果ニヨルニ本村野村北方高地上ノ松樹ハ高サ二三米ナルモノノ如ク且枝ハ繁リ人影ハ充分ニ遮蔽シ得ルモノノ如シ而シテ樹木ハ頂上ノミニテ歩兵ノ一小隊カ一時間モ要スレハ清掃

シ得ルモノノ如ク又本村相川東北方高地及北方高地ヨリ本村相川ヲ  
間シテ前地ヲ展望スルニ本村相川ノ南方約百五十米位迄ハ射撃シ得  
ルノ關係ニアリ  
又本村相川北方高地ハ處々石礫露出シ他地點ヨリハ掘開困難ナル如  
ク見ユ

其他圖上ノ判斷ト異ル處ナシ

二 大隊長偵察ヲ遂ケテ本村相川北方高地ニ來リシ時ニハ大隊ハ已ニ  
其北脚乾田ニ到着シアリテ中隊長ハ總テ路側ニ集マリ在リ

### 第八問題

工事ノ爲第一大隊長ノ下スヘキ命令

### 原案

工事ニ關  
スル大隊  
命令

### 第一大隊命令

十二月二日午後一時五十分  
於本村相川北方高地 口演

- 一 支隊ハ津南方高地附近ヲ占領ス  
步兵第一聯隊ノ主力ハ本村相川西方三百米ノ高地以西ノ地區ヲ第二  
大隊ハ本村相川東北ニツ池南側高地以東ノ地ヲ占領スル筈
- 二 大隊ハ本村相川北方及其東南ノ高地ヲ占領セントス
- 三 各中隊ハ次ノ如ク先ツ立射散兵壕ヲ構築スヘシ

彼四軒家(本村野村西北方ヲ指示ス)西端

ヨリ彼高地(本村野村西北ニツ池北側ノ

高地ヲ指示ス)巔頂ニ亘ル間ヲ射撃シ得

ル如ク現在地ヲ左翼トシ西方ニ約百八

十米ノ散兵壕

機關銃隊ニ於テ散兵壕ノ左翼附近ニ於テ掩隊四座ヲ設クル筈

第二、第三中隊第一小隊缺 彼高地(本村東北方高地ヲ指示ス)

第四中隊 彼高地(本村相川東北方圖上村ノ字高地ヲ指示ス)

第二中隊以下ノ工事ニ關シテハ現地ニ於テ詳細ニ示ス中隊長ハ中隊ヲ率ヒ直ニ工事地點ニ到ルヘシ

四 第三中隊ノ一小隊ハ本村野村北方高地上ニ於ケル松林ノ清掃ヲナシ工事終ラハ本村相川東北方約四百米ノ三叉路ニ來リ後命ヲ待ツヘシ

五 左ノ如ク器具ヲ配當ス直ニ受領者ヲ小行李ノ位置ニ出スヘシ  
第一中隊 鶴、、、、、、、、

第三中隊第一小隊 木、、、、、、、、

各中隊 携、、、、、、、、

備考

- 一 必要ナル敵情ヲ示ス
- 二 機關銃隊ニ鶴、、、、、、ヲ配當ス

歩兵大隊長工作指揮ニ關スル説明

一 中隊ニ對シ工作任務ヲ命令スルノ要領

中隊ニ對シテ工事ノ地點目的等ヲ示スノ方法ハ時機ト狀況ニヨリテ種々ナル方法カアルテアロウカ先ツ尤モ多クナサレ易キ場合ヲ大別スルト次ノ様ナモノテアロウ  
い 各中隊長ヲ一地點ニ集メテ同時ニ各中隊ノナスヘキ工事ノ地點、

歩兵大隊長ノ工作指揮ニ關スル説明  
中隊ニ對シ工作任務ヲ命令スルノ要領



種類、目的其他ノ要求ヲ示スモノ

大隊ノ陣地構成ニ當リテ細カイ事ヲ示スニハドウシテモ地形ノ微細ナ變化ヲ應用シテ之ニ適セシムル様ニセナケレハナラナイノテアルカラシテ一地點ニ於テ全部ノ要求ヲ示シテ大隊長ノ意圖通りニ作り上ケルト云フコトハ甚タ難カシイ夫レテアルカラシテ此ノ方法ヲ用ヒタ時ニハ大隊長ハ中隊長ニ命令ヲ與ヘタラハ直ニ各中隊ノ工事區域ヲ巡視シナケレハナラナイソウシテ中隊ノ經始ノ惡ヒ處ヤ又ハ注意ノ足ラヌ處又ハ大隊長ノ意圖通りニナツテ居ナイ處ナトヲ修正シテヤラネハナラヌ

處カ經驗ニヨルト一ツノ中隊テ右ノ様ナ修正ヲシタリ又ハ要求ヲシタリシテ居ルト不知々々時間ヲ取ツテシマツテ他ノ中隊ノ處ニ行ツタ時分ニハ已ニ此中隊ハ經始ヲ終ツテ掘土ヲ始メタリ又ハ中

隊長ノ考ニヨツテ班別ナトヲシテ居ルト云フコトニナル夫レヲ大隊長カ後カラ行ツテ修正スルト折角掘リ掛ケタ處ヲ止メテ更ニ掘リ變ヘタリ今迄ノ班別ヲ壞シタリスルノテ餘計ナ勞力ヲ費スハ勿論テアルカ兵卒ニ對シテ中隊長ノ威信ヲ失スルコトカ甚シイソレテアルカラシテ此方法ヲ用ユル時ハ餘程中隊長ニ委任スル賦リテナイトイケナイ

ソレカト云フテ各中隊ノ經始ハ大隊長ノ巡視シ來ル迄待テト云フコトニスルト時間ヲ要スル計リテナク夫レテハ折角初メニ中隊長ヲ集メテ詳シイ要求ヲシタ甲斐カナイノテアル

ろ 各中隊ヲ直ニ工作地點ニ到ラシメ大隊長ハ現地ニテ詳細ニ示スモノ

之レハ各中隊ニ現地テ詳シイコトヲ示スノテアルカラシテ大隊長

ノ要求通りニナルノハ自然テアル例ヘハ射撃地區ハ彼ノ小叢カラ  
 彼ノ小松迄ト云フ様ニ小サイ地物テモ示サレルシ又ハ翼ヲコウユ  
 ウ風ニ曲ケテ彼ノ地點ヲ側防スル様ニト細カイ處迄大隊長ノ思フ  
 通りニナルノテアル此方カラ言フト此<sup>ろ</sup>ノ法ハ大ニヨイノテアル  
 カ一方カラ云フト各中隊工事ヲ初ムル時機カ差異カ出來テ後カラ  
 示サルル中隊ナトハ永ク大隊長ノ來着ヲ待ツ爲無爲ニ過コサネハ  
 ナラヌ不利カアル夫レテアルカラ之ハ餘裕ノアル時テナイト行ハ  
 レ惡ヒ

自分ハ原案ニ於テハ此法ニ出タノテアル之レハ少シ時間カカカツ  
 テモヨイ狀況タカラ充分ニ自分ノ意圖通り工作セシメヨウトスル  
 考カラ起ツタノテアル右ト同趣旨テアルカ若シ中隊長カ都合能ク  
 居合ハシタリ又ハ大隊長ト同行カ出來ルト云フ場合ニハ大隊長ノ

偵察ニ中隊長ヲ同行セシメテ片ツ端カラ工事ヲ定メテ其中隊ニハ  
 直ニ工事ニ着手サスコトモアルカ之レハ大隊長カ折角馬ヲ持チナ  
 カラ徒歩ノ中隊長ト同行スルノテアルカラシテ偵察ニ餘計ナ時間  
 ヲ要スル不利カアルバカリテナク中隊長ノ勞力ヲ甚シク要求スル  
 又大隊長カ一部ヲ見テ其處ノ工事ヲ中隊ニ命シテカラ全般ヲ偵察  
 シテ見ルトドウモ先キニ命シテ置イタ工事ニ對スル要求カ惡ヒ様  
 ナコトカアルソナ時ニトント都合カ惡ヒ

は 各個又ハ合同的ニ各中隊ニ工作スヘキ地點並大隊ノ射方向ヲ示  
 シ直ニ工事ニ着手セシムルモノ

之ハ工事ニ關スル細部ヲ殆ト中隊長ニ委スルモノテアツテ工事ス  
 ヘキ概略ノ地點ト其射撃首線及側防其他特ニ大隊長ノ要求スヘキ  
 二、三ノ事項ヲ示スニ止マリテ時ヲ追フテ必要ナル事柄ヲ追加セナ

ケレナラヌ此方法ハ大隊長トシテハ極メテ簡單テアルカ其カハリニ中々大隊長ノ思フ通りニ行カヌ大隊長カ巡視シテ工事ヲ見テア  
 | 此處ハコンナニ修正シタイト思フテモ其時ニハ工事カ進捗シテ  
 居テ已ニ時機カ後レタリ又ハ初メニ中隊長ニ任シタノテアルカラ  
 シテ如何ニモ干渉カマシク見エタリスルコトカ多イ夫レテ此法ハ  
 時間ノナイ時例ヘハ戰鬪中ニアツタ豫備隊カ忙イテ收容陣地ヲ占  
 メタリ又ハ退却中ノ後衛カ急ヒテ陣地ヲ占メタリスル様ナ場合ニ  
 取ラレルコトカ多イ

要スルニ右ノ様ナ方法ヲ採ツタ時ハ大隊長ハ甚タ機敏ニ迅速ニ大  
 隊ノ工事地區ヲ回リテ大體ノコトニ就テ修正ヲ加フル様ニセナケ  
 レハナラナイ

## 二

各中隊工事完成時間ノ齊一ヲ計ル手段

工事完成  
 期ノ齊一  
 ナ計ル手  
 段

工兵隊カ大作業ヲナス時ニハ能ク詳シク試掘ナトヲ行フテ土質ニ從  
 ツテ器具ノ配當モ適當ニ行ヒ夫レ夫レ断面ナトモ決定スルカラシテ  
 殆ト計算シタ様ナ進度テ工作カ行ハルルテアロウカ歩兵カ忙シイ時  
 ニ行フ工事ナトハソウハ行カヌ特ニ經驗ト智識ノ乏シイ歩兵ニアリ  
 テハ萬事行キ違ヒノ出來ルモノテアルソレテアルカラ土工作业ヲ行  
 フ場合ニハ大隊長ハ絶ヘス各中隊ノ景況ヲ見テ其作業中ニ彼是融通  
 フシテ各中隊ノ工事完成ノ時期ニ大差カナイ様ニセナケレハナラナ  
 イ之ヲ一方カラ云フト中隊ノ勞力ヲ平均スルコトニモナルノテアル  
 之ニハ作業ノ進ンタ中隊カラ一部ノ人員ヲ作業ノ後レタ中隊ニ割キ  
 與ヘテ援助ヲサストカ又ハ最初配當シタ土工ヤ又ハ木工ノ器具ナト  
 カ實施ニ當リ不適當テアルコトヲ發見シタナラハ機ヲ失セス之ヲ變  
 換シタリ又ハ早ク工事ヲ終ツタ中隊ヲ他ニ援助セシメタリスルノテ

アル唯此工事完成期ノ齊一ヲ計ル爲ニ餘リ頻繁ニ工事ノ進ンタ中隊ノ人員ヲ引キ抜イタリ又ハ其中隊ノ工事カ終ツタラ直ニ終ラヌ中隊ニ工事ノ援助ヲナサシメルト云フコトハ猥リニセヌカヨロシイ何トナレハ初メニ各中隊ニ各其受持ツヘキ區域ヤ範圍ヲ命シテアルカラシテ各中隊ハ大ニ其部下ヲ督勵シテ大ニ勉強セシメ之ヲ終ツタナラハ休憩ニ移ラセヨウト云フ様ナ考ヘヲ持ツテ居ル様ナ場合モアルテアロウ又兵卒ハ此サヘ濟メハ休憩カ出來ルテアロウト一生懸命ニ仕事ヲスルテアロウ然ルニ折角勉強シテ終ルト否人ヨリモ餘計ニ勉強シテ人ヨリモ早ク終ツタト思フ間モナク直ニ又他ノ工事ヲヤレト云ハルルト云フト餘リヨイ氣持ハセヌ從テ援助ニ行ツテモ相當ノ援助ヲセヌト云フ様ナ事ニナル此等ハ崇高ナル國家的觀念ナトカラ云フタナラハソソナ筈ハナイノテアルカ其處ハ人間テアル勿論命令テア

ルカラ行フニハ相違ハナイカ中隊長モ之レテハ部下ヲ勵シ様ハナク又兵卒ハ餘計働ケハ餘計ニ使ハルルト云フ下劣ナ考ヘヲ出シテ來ル様ニナルカラ實際云フタナラハ初メカラ詳シク考究シテ各中隊ノ完成時期カ略ホ同一ナ様ニ努力カ平均スル様ニセヌハナラヌカ已述シタ様ニ初メカラ詳シク偵察シタリ計畫シタリスルコトノ出來ナイ場合カ多イカラコンナ時ハ大隊長ハ各中隊ノ工事ヲ必要ニ應シテ援助スル處ノ豫備部隊ヲ持ツコトカヨロシイ之レハ最初カラコレコレヲセヨトキチント定マツタ工事カナイノテアルカラシテ或時機ニハ甲中隊ニ又或時機ニハ乙中隊ト云フ様ニ轉々ト援助ヲ加ヘル様ニ大隊長カ隨意ニ使フノテアル即チ余カ本村野村高地ノ射界清掃ニ用イタ小隊ハ此清掃カ終ラハ右ノ様ナ用途ニ使ハントスルノテアルコンナヤリ方ハ四中隊全部ニ工事ヲ行ハシムル時ハ出來ナイカ四中隊皆工